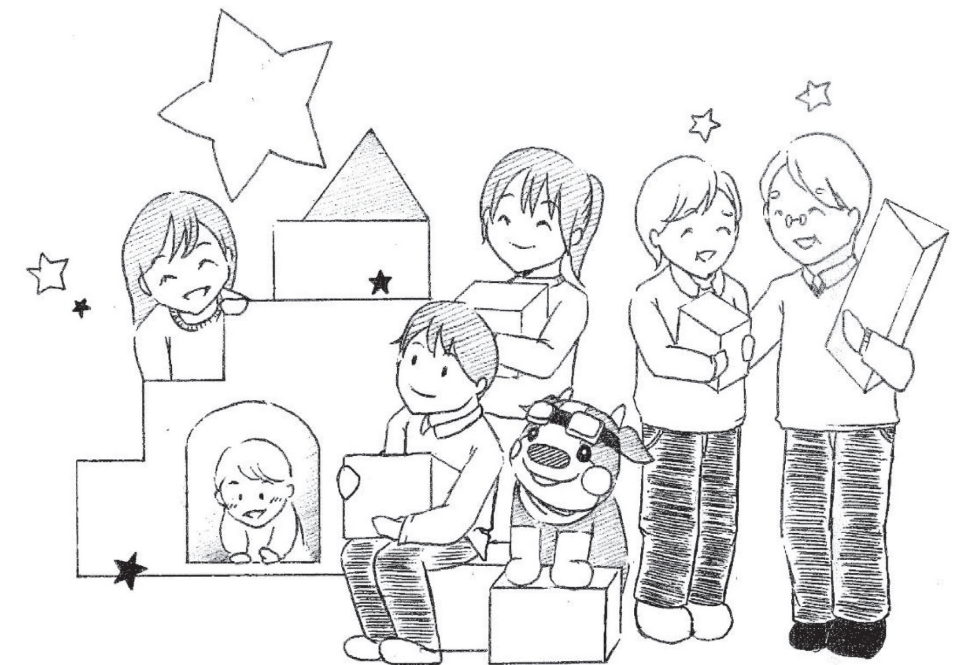


# 第4次地域福祉活動計画

実施期間 令和4年度（2022年度）～令和8年度（2026年度）

## 【別冊】

第4次地域福祉活動計画策定における福祉ニーズ等の把握



第4次地域福祉活動計画 【別冊】

令和4年（2022年）3月発行

編集・発行 社会福祉法人 真庭市社会福祉協議会

〒719-3201 岡山県真庭市久世 2928

TEL (0867) 42-1005 FAX (0867) 42-2263

<http://www.maniwa-shakyo.or.jp>



真庭市社協ホームページ

令和4年（2022年）3月

社会福祉法人 真庭市社会福祉協議会

## 【第4次地域福祉活動計画策定における福祉ニーズ等の把握】

### ◇アンケート・ヒアリング調査

#### 1 アンケート

##### ■地域福祉関係

番号	ページ	実施時期	対象者・団体等	目的（内容）
①	1	令和3年（2021年） 10月初旬～中旬	地区社協代表者 (送付数：34 回収：29)	目的に沿った地区社協活動の実施、意識した取り組みがされているか 相談窓口の周知状況等
②	8	令和3年（2021年） 10月初旬～中旬	ふれあい・いきいきサロン代表者 (憩い型Ⅱ：155サロン・憩い型Ⅰ：1サロン ・運動型：12サロン) (送付数：168 回収：111)	担い手の負担感や状況、ふれあいから支え合いの活動転換、サロンの推進等
③	18	令和3年（2021年） 9月中旬～10月	民生委員・児童委員(定数149名中1名欠員) (民生委員・児童委員148 主任児童委員19) (送付数：167 回収：121)	民生委員・児童委員と福祉委員との連携 地域課題の抽出、困窮世帯に対する支援方法等
④	35	令和3年（2021年） 10月初旬～中旬	地域助けあい事業協力会員 (送付数：184 回収113)	見守りネットワークの構築について
⑤	41	令和3年（2021年） 10月初旬～中旬	ボランティア団体代表者 (送付数：60 回収：37)	加入団体の減少や高齢化などによる課題がある中、解決に向けた取り組みについて 効果的な情報発信の方法について
⑥	45	令和3年（2021年） 9月中旬～下旬	夏のボランティア体験参加者 (送付数：121 回収：90)	若年層等のボランティア活動の取り組み (中学生・高校生)
⑦	50	令和3年（2021年） 10月初旬～11月	子育て中の親 (送付数：117 回収：94)	子育て世帯のニーズ把握
⑧	54	令和3年（2021年） 9月～10月	小・中・高等学校 (送付数：30 回収：22)	福祉学習の取り組みや課題について
⑨	61	令和3年（2021年） 10月上旬	介護支援専門員、病院相談員、保健師 (送付数：103 回収：77)	貸出事業についての現状把握
⑩	65	令和3年（2021年） 10月上旬	介護支援専門員、病院・施設相談員、 保健師（施設、事業所） (送付数：165 回収：113)	日常生活自立支援事業、成年後見制度、法人後見事業について制度理解、相談対応

##### ■介護事業関係

番号	ページ	実施時期	対象者・団体等	目的（内容）
⑪	82	令和2年（2020年） 10月	訪問入浴介護利用者 (送付数：18 回収：15)	利用者満足度調査

番号	ページ	実施時期	対象者・団体等	目的（内容）
⑫	85	令和2年（2020年） 10月	通所介護利用者 （送付数：42 回収：31）	利用者満足度調査
⑬	88	令和2年（2020年） 10月	訪問介護利用者 （送付数：103 回収：90）	利用者満足度調査
⑭	92	令和3年（2021年） 8月	居宅介護支援事業 南事業所 （送付数：103 回収：91）	利用者満足度調査及び要望等
⑮	96	令和3年（2021年） 8月	居宅介護支援事業 北事業所 （送付数：83 回収：72）	利用者満足度調査及び要望等
⑯	101	令和3年（2021年） 7月～9月	特養やすらぎ入所者 家族 （送付数：27 回収：23）	入所者の施設環境及び要望等
⑰	103	令和3年（2021年） 7月～9月	特養やすらぎ入所者・業者・担当ケアマネ （送付数：17 回収：11）	入所者の施設環境及び要望等
⑱	106	令和3年（2021年） 8月	障害者総合支援事業利用者 （送付数：34 回収：31）	利用者満足度調査
⑲	110	令和3年（2021年） 8月	障害者訪問入浴利用者 （送付数：1 回収：1）	利用者満足度調査及び要望等
⑳	112	令和3年（2021年） 10月	居宅介護支援事業所 真庭市地域包括支援センター （送付数：54 回収：39）	利用者・家族からの意見・要望等

## 2 ヒアリング

### 【地域福祉関係】

番号	ページ	実施時期	対象者・団体等	目的（内容）
㉑	117	令和3年（2021年） 10月下旬	地域助けあい事業有料サービス申請登録者 （対象：5）	生活ニーズ把握
㉒	119	令和3年（2021年） 10月	障がい者・児支援団体（放課後デイサー ビス、作業所、障がい者関係団体会員等） （対象：10）	必要な支援についてのニーズ把握 社会参加や日常的なニーズ把握
㉓	126	令和3年（2021年） 10月中旬	社協各支所専門員 （対象：9）	貸出機器、車両貸出等現状及びニーズ把握
㉔	127	令和3年（2021年） 10月中旬	真庭市福祉課	困窮世帯に関するニーズ把握
㉕	129	令和3年（2021年） 11月	子育て支援ボランティア （対象：8団体のうち7団体）	子育て支援団体の活動状況及びニーズ把握

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ①

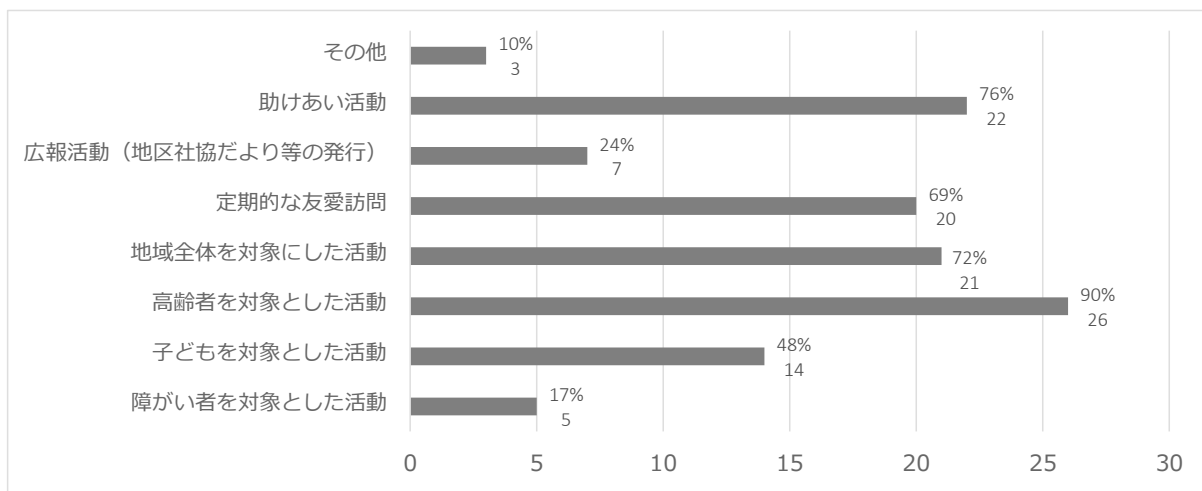
対象 34 回収 29

調査対象	地区社協代表者
------	---------

地区社協名	地区社協設置数		アンケート回答数	回答率
北房	5	全域設置	5	100%
落合	7	全域設置	6	86%
久世	9	全域設置	7	78%
勝山	5	全域設置	4	80%
美甘	1	全域設置	1	100%
湯原	4	全域設置	3	75%
中和	1	全域設置	1	100%
八束	1	全域設置	1	100%
川上	1	全域設置	1	100%
合計	<b>34</b>	<b>100%</b>	<b>29</b>	<b>85%</b>

問1. 現在どのような分野の活動をしていますか。

障がい者を対象とした活動	子どもを対象とした活動	高齢者を対象とした活動	地域全体を対象にした活動	定期的な友愛訪問	広報活動（地区社協だより等の発行）	助けあい活動	その他
5	14	26	21	20	7	22	3
17%	48%	90%	72%	69%	24%	76%	10%



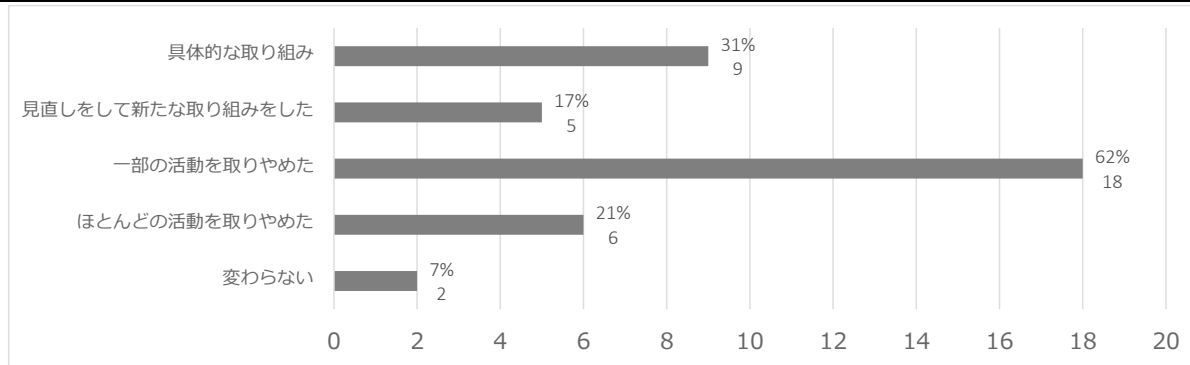
- ・子ども会活動、資源ゴミ回収、慰問品配布しかできなかった
- ・（高齢者交流）地域内の3地区で高齢者を対象に交流会を行っております。内容は、DVD鑑賞、地域で活動されている舞踊・歌のボランティア公演、ピンゴゲーム、最後に熱々のうどんを食べてもらっています。
- ・本年度7月より外出支援サービスの一環として、月一回の「お出かけツアー」を開始しました。対象：外出手段のない高齢者（免許証返納者など）。久世ゆめタウン近辺へ。8人乗り（参加者6名、ボランティア運転手、補助者）

問1 分析

高齢者を対象とした活動や助けあい活動は充実してきている。一方で、子どもや障がい者を対象とした活動や広報活動ができていない状況である。

問2. コロナ禍で計画していた活動が変わりましたか。

変わらない	ほとんどの活動を取りやめた	一部の活動を取りやめた	見直しをして新たな取り組みをした	具体的な取り組み
2	6	18	5	9
7%	21%	62%	17%	31%



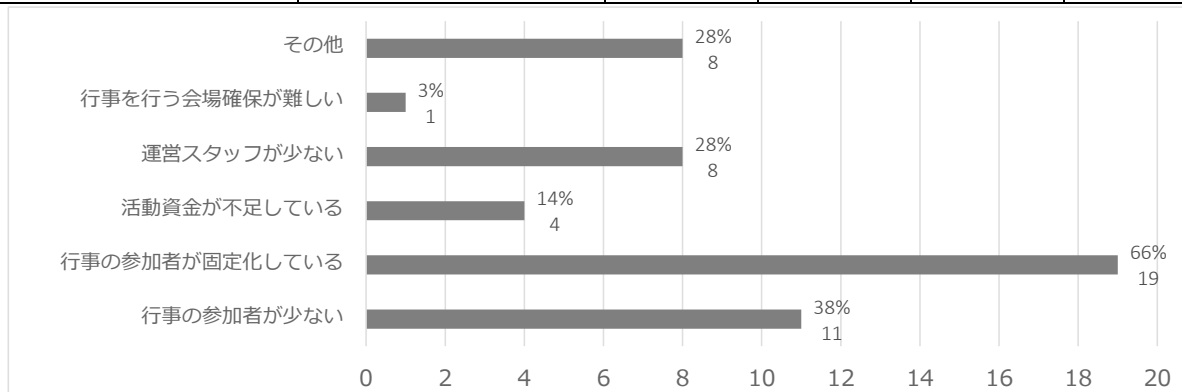
- ・会食無し、ペットボトルのお茶のみ、一方向を向いてのDVD視聴。
- ・他の活動を行った。ハンドソープ配布など。
- ・配食による見守り活動
- ・年度後半の事業について会議をする予定。
- ・ふれあいまつりの中止とそれに代わる別事業の策定（10/14現在は予定）講演会の中止。
- ・熱中症予防にと、お茶とお便りを持参しての友愛訪問の実施。
- ・友愛訪問活動の実施
- ・前述の高齢者交流会を中止し、特製の弁当を業者へ依頼し、趣味で折り紙をしておられる方に千代紙で折り紙を作っただき、メッセージを添えて役員が手分けし1軒1軒声かけし配って手渡ししました。

問2 分析

計画していた地区社協活動がコロナウイルスの影響でほとんどの活動を取りやめた、または一部の活動を取りやめた地区社協が多くを占めていた。少数ではあるがコロナ禍でも感染対策をしながら、活動をつづけた地区社協も見受けられた。縮小や休止の場合の推進方法など見直しが今後必要となる。

問3. 地区社協活動を推進するうえで、どのような課題がありますか。当てはまるもの、すべてに☑をしてください。

行事の参加者が少ない	行事の参加者が固定化している	活動資金が不足している	運営スタッフが少ない	行事を行う会場確保が難しい	その他
11	19	4	8	1	8
38%	66%	14%	28%	3%	28%



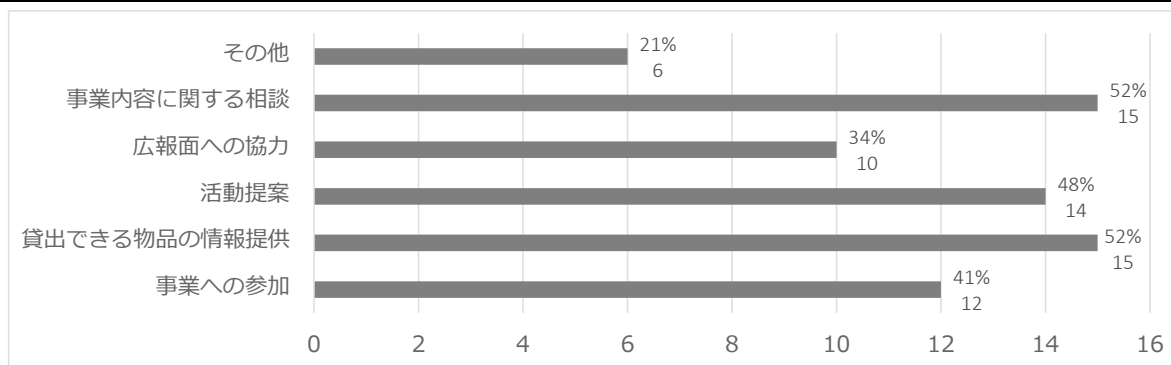
- ・コロナ禍の為活動が制限されて思う通りに資金運用できない。
- ・予想できない。
- ・若い世代が増えている中で小さい子供がいる家庭はいくつか参加してもらえらるが、30～40代の参加が限られているのが残念。
- ・参加者の移動支援。具体的には、サロンへの移動手段がないため参加したくてもできない現実があります。
- ・スタッフが気楽に寄れる場があればと考えています。
- ・いつも同じ顔ぶれになる
- ・役員OBが会場の準備、うどんの温め等、手慣れた手順で手伝ってくださいます（和気あいあいと）。高齢者交流会において、参加者が少ないわけではないが毎年同じ参加者に固定している。運営スタッフは役員と福祉委員で行っておりますが、自治会長と兼任されている自治会の福祉委員さんの参加ができてない地区があると思われます。

### 問3 分析

地区社協活動を推進するうえで課題として、行事の参加者の固定化66%ついで行事の参加者が少ないが38%と行事参加者についての課題が多く占めている。移動支援の問題やコロナ禍の為、活動が制限され資金運用が思うようにできないところもあった。

問4. 地区社協活動を推進するうえで、真庭市社協職員に関わってほしいことはどのようなことですか。あてはまるもの、すべてに☑をしてください。

事業への参加	貸出できる物品の情報提供	活動提案	広報面への協力	事業内容に関する相談	その他
12	15	14	10	15	6
41%	52%	48%	34%	52%	21%



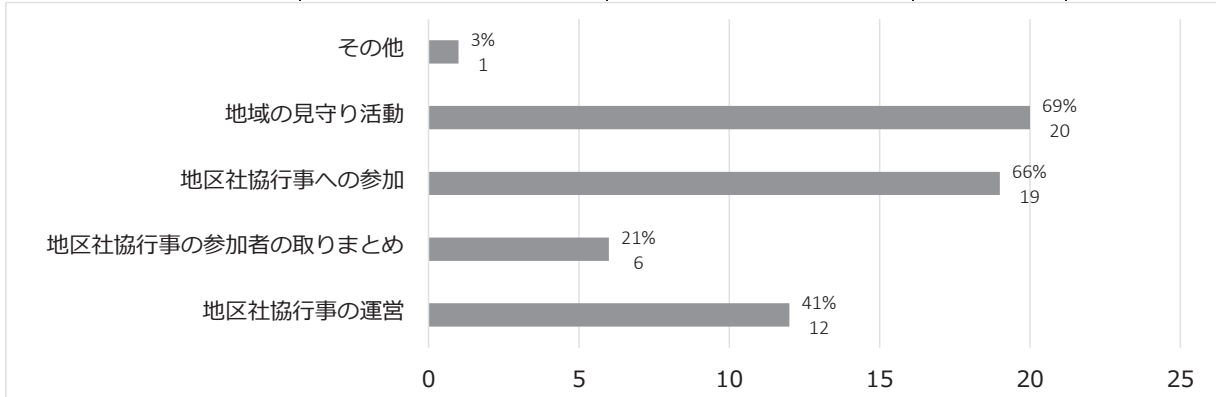
- ・社協職員による行動が地域を動かし共感し活動も活発化される。
- ・社協として出来ることは協力してもらっている。
- ・現在十分に関わってもらっている。（2地区）
- ・サロンへの送迎（週一回中和地区社協：すずのこハウスで開催しているサロン、サロンの代表者が2名程度の送迎を行っている。事故を起こしたら・・・と不安でいっぱいです）
- ・サロンにつきましては全地域で行っているわけではありませんが、社協職員さんから活動の内容等、色々アドバイスをいただき、活動を始められた地区も増えております。
- ・高齢者交流会では、当地区社協では2月に3会場で、しかも日曜日に開催しておりますが、社協職員さん毎回参加して下さり、高齢者へ防犯等の広報、又活動のお手伝いをいただいております。一体感があって信頼しております。

### 問4 分析

社協職員に関わってほしい内容として、貸出できる物品の情報提供、事業内容に関する相談や活動提案に関わってほしいとの回答が多かった。積極的に社協職員が活動提案を行ったり、地区社協活動に毎回参加している職員もいるとの意見もあった。

問5. 地区社協活動において福祉委員の関わりを教えてください。

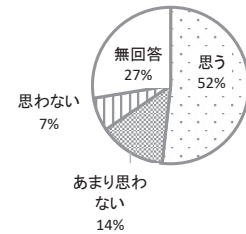
地区社協行事の運営	地区社協行事の参加者の取りまとめ	地区社協行事への参加	地域の見守り活動	その他
12	6	19	20	1
41%	21%	66%	69%	3%



問5 分析  
地区社協活動での福祉委員の関わりは、69%が見守り活動、66%が地区社協の行事へ参加している結果となっている。  
地区社協の見守りや行事で福祉委員の関わりが高いことがわかった。

問6. 助けあい会議を実施して地区社協の見守り活動は充実してきたと感じますか。また、その理由を記入して下さい。

思う	15
あまり思わない	4
思わない	2
無回答	8

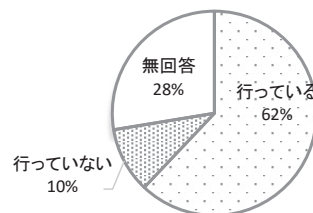


- ・印（しるし）をしていると意識するため。
- ・見守りが必要な人については、助けあい会議をしなくても近所の人が見守っている
- ・主となる活動は民生委員・児童委員が行っている。
- ・コロナで活動があまりできない。
- ・毎回、情報交換が行われ、気を付ける必要のある方など共有できている。
- ・但し、R2・3年度。うまく機能していたが、コロナにより活動が止まった。
- ・助けあい会議で助けあいマップを作成し気に掛けてあげたい人を割り出し担当を決めて見守り、地域助けあい事業活動報告書を提出しております。

問6 分析  
助けあい会議を実施しての見守り活動は、5割が充実してきているが、2割は見守り活動の充実を感じていない状況である。しかし近所の人や民生委員・児童委員の関わりがある状況が見受けられた。

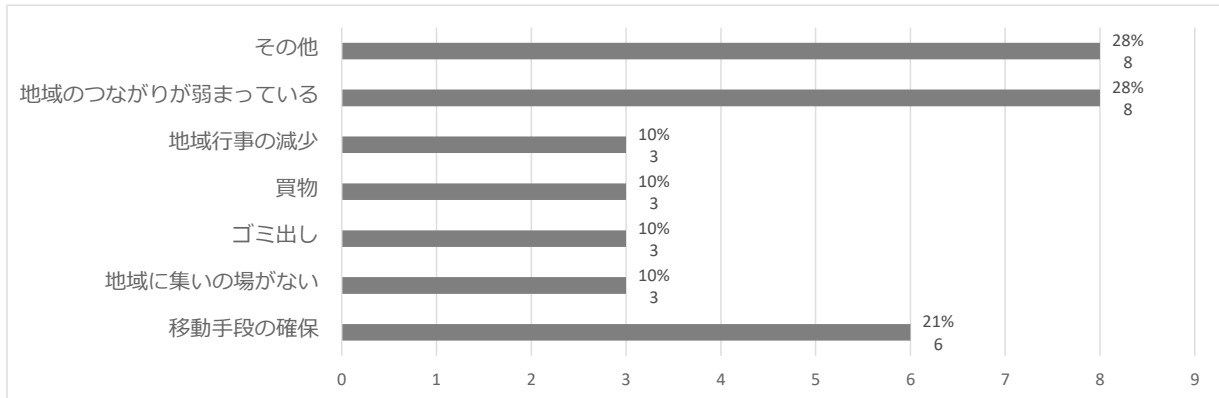
問7. 地域課題を把握するための話し合い（座談会や助けあい会議等）を行っていますか。

行っている	18
行っていない	3
無回答	8



問8. 問7で『行っている』地区は、どのような課題を把握しましたか。当てはまるもの、すべてに☑をしてください。

移動手段の確保	地域に集いの場がない	ゴミ出し	買物	地域行事の減少	地域のつながりが弱まっている	その他
6	3	3	3	3	8	8
21%	10%	10%	10%	10%	28%	28%



- ・一人暮らし高齢者のみの世帯が増えている。
- ・災害時の援助を依頼した。
- ・子どもとの関わりが少ない
- ・津田住民会の中で津田互助の会を作っています。（ゴミ出し、お墓の掃除など）
- ・福祉委員、ボランティアを出来るだけ活用する。
- ・課題が出ていない

#### 問7.8 分析

地域課題を把握するための話し合いは62%が行っているが、10%はできていない。地域課題の把握としては、地域のつながりが弱まっているが28%と最も多く、ついで移動支援になっている。

問9. 把握した地域課題の解決にどのように取り組んでいますか。具体的にご記入ください。また、コロナ禍で工夫している点などがあればご記入ください。

- ・皆さんが参加しやすい行事を考え開催している。
- ・集会の場でのアルコール消毒、検温器の設置・換気
- ・個別の担当者による見守り活動
- ・推進委員会で課題解決に向けて取り組んでいる。コロナ禍で、助けあい会議を分散して開催している。
- ・マスクの徹底、消毒など。
- ・福祉委員に、ひとり暮らしの人に対し援助の依頼をした。
- ・TEL等による相談対応、地域全体で問題解決。
- ・内容によって、役員相互、行政、社協、その他の関係機関に連絡、相談しながら、課題解決に取り組んでいる。
- ・各地区サロンが中止となっている。普通に続けている地区もある。特に対策はない。
- ・課題はあるものの対策案が出てこない。
- ・現在においてはコロナ感染防止のため活動を控えるしか方法がありません。サロン等身近の方との交流をしています。
- ・福祉委員を中心に地域全員で日頃から気に掛けて見守ってあげる。少しでも異変があれば民生委員・児童委員、行政等と連携して対応していく。
- ・マスクを着用する。

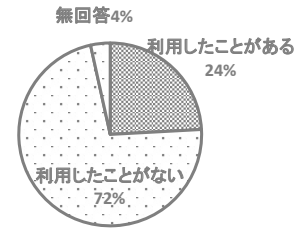
#### 問9 分析

コロナ対策を行いながら見守り訪問や少人数でのサロン等を開催し、地域のつながりを無くさないようにしている。また、民生委員・児童委員や地区社協の役員等で連携しながら地域課題の解決に向けて取り組まれているところもある。しかし、問8であがった移動支援に対する対策は見られなかった。



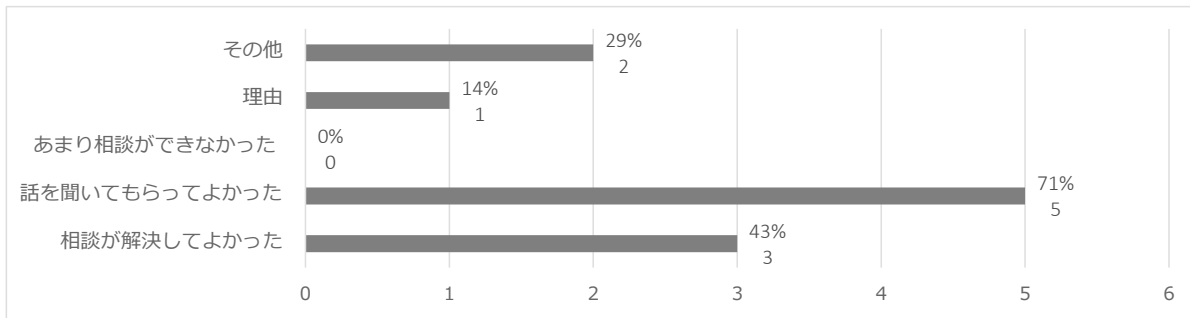
問10. 真庭市社協の「ふくし巡回相談」を利用したことがありますか。

利用したことがある	7
利用したことがない	21
無回答	1



問11. 問10で『利用したことがある』と回答された方に利用について伺います。

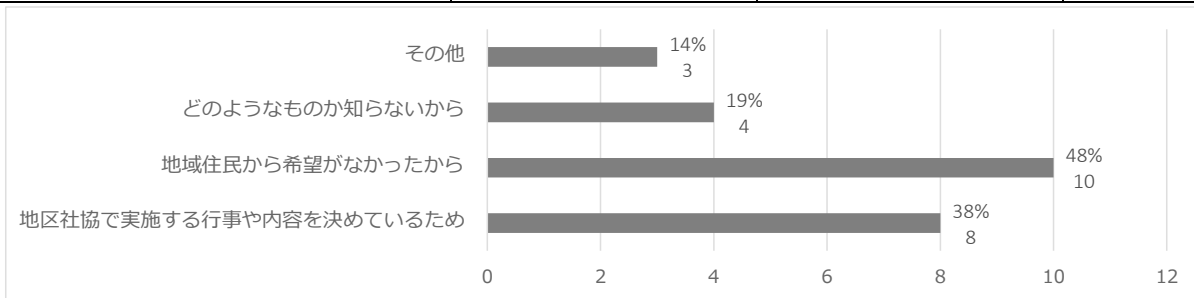
相談が解決してよかった	話を聞いてもらってよかった	あまり相談ができなかった	理由	その他
3	5	0	1	2
43%	71%	0%	14%	29%



- ・それぞれ小地区の事が把握できていない。不明。
- ・今後利用を考えていきたい
- ・サロンを立ち上げることができた。

問12. 問10で『利用したことがない』と回答された方に理由について伺います。

地区社協で実施する行事や内容を決めていないため	地域住民から希望がなかったから	どのようなものか知らないから	その他
8	10	4	3
38%	48%	19%	14%



- ・まずは、やってみる事が必要かと思っている。
- ・あれば真庭市社協に行き相談させていただきます。

問10.11.12 分析

ふくし巡回相談を「利用したことがない」との回答が全体の72%あった。その理由として「地域住民の希望が無かった（48%）」「地区社協で実施する行事や内容を決めていないため(38%)」となっている。ふくし巡回相談についての利用イメージが分かりづらいことも考えられる。一方、利用した方は71%が「話を聞いてもらってよかった」43%が「相談が解決してよかった」と回答され、利用した方の満足度は高かった。

## 考 察

- ・コロナウイルスの影響で地区社協事業が縮小した為、コロナ禍でも出来る事業提案が必要と考える。
- ・地区社協活動での課題は、参加者の固定化が一番多く、行事の参加者が少ないことも課題にあがっており、貸出できる物品の情報提供や、活動内容の提案などで社協職員が積極的に関わっていく必要がある。
- ・助けあい会議を実施して、5割が見守りが充実してきたと感じているが地域のつながりの継続や支え合いの構築の為に、もより充実していく必要がある。
- ・地域の課題解決のため、福祉委員に独居高齢者への援助依頼の実施、電話相談対応、関係機関との連携など、問題の解決に向けた取り組みに継続して関わってもらいたい必要がある。
- ・「ふくし巡回相談」の利用は、住民の希望がない等の理由から、75%が利用をしておらず、利用が広がっていないことがうかがえるため、利用のイメージが湧くチラシ等の作成など広報・啓発活動が必要と考える。

まずは、福祉活動専門員が住民の集まる場所に出向き、福祉に関して相談を受ける「ふくし巡回相談」を知っていただくことが必要である。

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ②

対象 168 回収 111

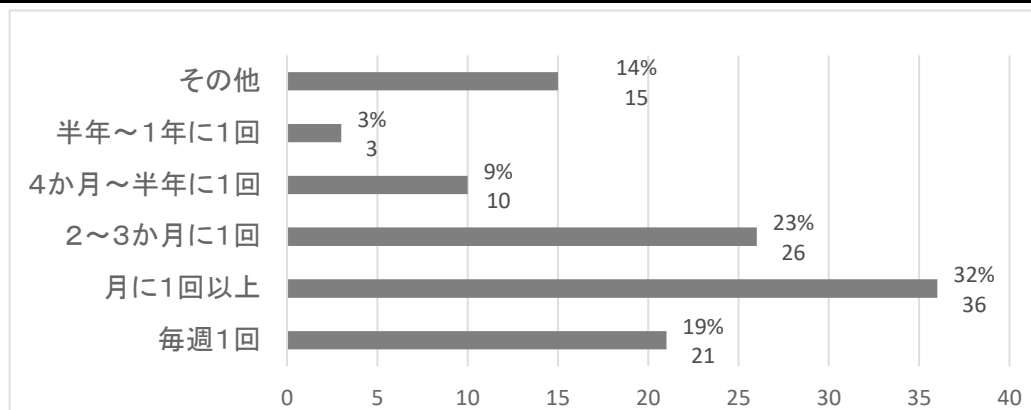
調査対象	ふれあい・いきいきサロン代表者
------	-----------------

地区	憩い型Ⅰ (サロン)	憩い型Ⅱ (サロン)	運動型 (サロン)	合計 サロン数	アンケート回 答数	アンケート回 収率
北房	0	18	0	18	10	56%
落合	1	34	4	39	24	62%
久世	0	21	4	25	16	64%
勝山	0	37 (内、子育てサロン2)	2	39	27	69%
美甘	0	6	0	6	5	83%
湯原	0	15	1	16	11	69%
中和	0	1	0	1	1	100%
八束	0	12	1	13	9	69%
川上	0	10	0	10	7	70%
全域	0	1	0	1	1	100%
合計	1	155	12	168	111	66%

- 1、 貴サロンの頻度と内容について教えてください。内容については当てはまるもの、すべてに☑をし  
てください。

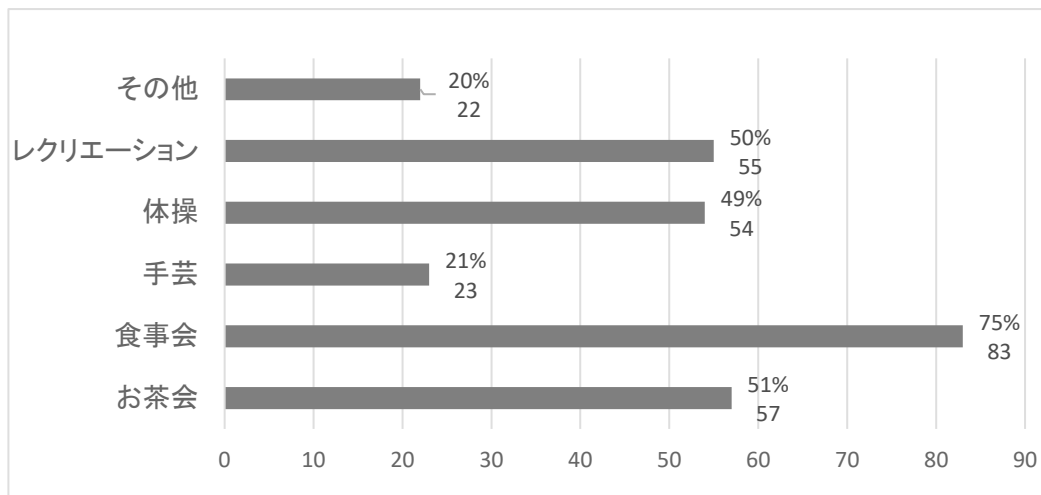
頻度

毎週1回	月に1回以上	2～3か月に1 回	4か月～半年に1回	半年～1年に1回	その他
21	36	26	10	3	15
19%	32%	23%	9%	3%	14%



その他

コロナ禍のため、休止中						
コロナ禍の為、年2～3回弁当配り						
内容	お茶会	食事会	手芸	体操	レクリエーション	その他
	57	83	23	54	55	22
	51%	75%	21%	49%	50%	20%

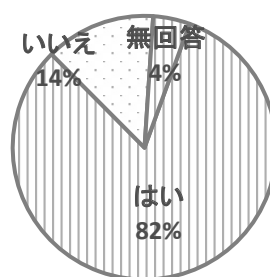


分析

サロンの開催回数は、「月1回以上」が32%で一番多く、次に「2～3カ月に1回」だった。  
 サロンの内容については、食事会が28%で一番多く、次にお茶会やレクリエーションが多かった。

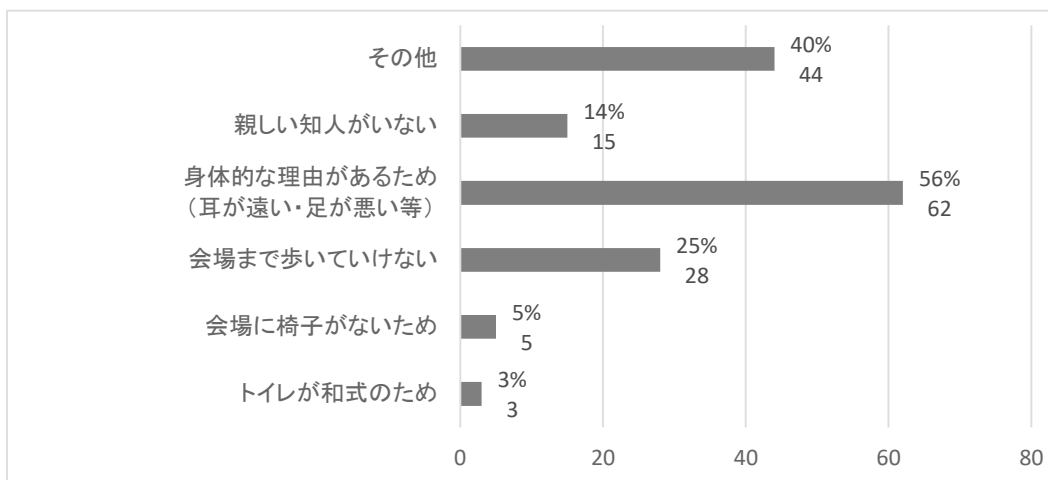
2、サロンに参加しにくい方について伺います。参加しにくい方の把握をしていますか。

内容	はい	91
	いいえ	15
	無回答	5



3、「はい」に回答した方は、参加がしにくい理由を把握していますか。当てはまるものすべてに☑をしてください。

トイレが和式のため	会場に椅子がないため	会場まで歩いていけない	身体的な理由があるため (耳が遠い・足が悪い等)	親しい知人がいない	その他
3	5	28	62	15	44
3%	5%	25%	56%	14%	40%



- ・ 集まっておしゃべりが苦手。気の合う仲間だけの集まりが良い。(5)
- ・ 車で迎えに来てもらうような大げさな事までしてほしくない
- ・ レクリエーション、体操が苦手な人がある
- ・ 性格的に一歩踏み出せない
- ・ グラウンドゴルフが週2回以上あり、元気な方はそちらへの参加が主体
- ・ コロナ感染の心配や、参加人数が減ったため少人数で楽しくない
- ・ 車で迎えに行つてあげたいが、事故があれば困るので送迎方法を教えてほしい。
- ・ 会場に段差がある、イスがない。
- ・ 男性の参加が少ない(2)
- ・ トイレがない
- ・ 人間関係(3)
- ・ 仕事がある(3)
- ・ デイサービスの時間と重なる。(2)
- ・ コロナ禍にあつて高齢者の参加自粛、入院中
- ・ 農繁期は家業手伝いがある
- ・ 高齢者ばかりなので活動的でない
- ・ 「おっくうだ」とよく言われる
- ・ 歩行の補助をしても「世話をかけるから」と遠慮する。
- ・ 若い人に参加してもらえない
- ・ まだ参加する気にならない
- ・ 認知気味のため家族が反対する、送迎車の乗降が不自由(2)
- ・ 高齢のため時々しんどくなるので来るのを控えてもらう。(100歳男性)
- ・ 病人の看護がある為
- ・ 送迎はありますが、いざ参加しようと思うと迷われる方があり、度々の声かけと訪問に行き、困っていること、地域の様子などお話しするようにしています。
- ・ 家庭の事情(2)

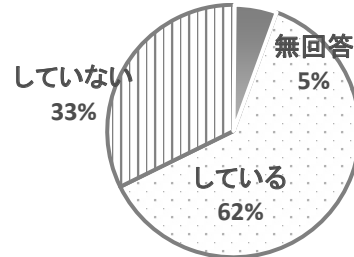
## 分析

86%のサロンが、サロンに参加しにくい方の把握をしており、不参加者の半数は「身体的な理由があるため」参加されていない。

その他の参加しにくい理由は、仕事や家庭の事情、気の合う仲間だけで集まりたい等の理由のほか、会場まで歩いて行けない、トイレが和式のため、高齢のため、などであった。

- 4、サロンに参加できなかった方もしくはできない方へ見守りや何か働きかけを行っていますか。下記の①・②についてもお答えください。

内容	している	69
	していない	36
	無回答	6

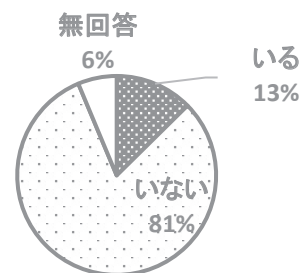


- ①「している」サロンは具体的にどのような働きかけをしていますか。

- ・ 配食（9）
- ・ 見守り、訪問（14）
- ・ 民生委員や福祉委員が訪問している。
- ・ 本人には会えませんが家族に様子を聞いています。3回程続けて休んだら家を訪ねています。
- ・ 回覧による案内、ご近所へのお誘い
- ・ 送迎（8）
- ・ 声かけ（26）
- ・ 電話
- ・ サロンは自主的に参加してもらうものだと思う
- ・ 近所の人に様子を聞くようにしています。（3）
- ・ 年齢も様々なので、仕事のスケジュールを優先したり、いつも相談しながら行っています。
- ・ チラシの作成（2）
- ・ 男性の方の見守りはしていません。
- ・ 道で会ったときに話をする（3）
- ・ 不参加者の家族の方が参加して、集会の状況を報告したり、土産があれば託したりと安否を伺っています。
- ・ サロンとしての具体的な活動はしていませんが、畑に出られたりする時声をかけたり様子を見たりしています。
- ・ 全員に声かけをするが、来れない人にしつこい誘いはしにくい。
- ・ 欠席の場合、連絡して下さるので、体調について困っておられる事が無いかなど尋ねさせてもらっている。
- ・ その日のおやつのお届け
- ・ 歩行の補助等を提案するが、本人の気持ち次第
- ・ 10日に1回声かけ洗濯物干しが困難な場合の手伝い
- ・ 当日本人家族へ連絡
- ・ サロンへ参加できなかった人へ、その会合のことをお知らせしています。作ったものがあれば持っていくようにしています。
- ・ 耳が遠い人の横に座りよくわかるように教えてあげる。
- ・ 連絡なくお休みされた方は、強制的でなく気楽に参加できるように声かけをし、病気やけがで休まれた時はみんなでお心配します。良くなって参加されるとみんな喜んでいきます。

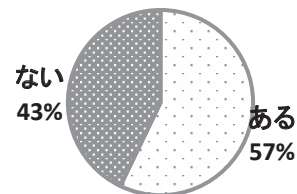
②サロンの中で気になる方、真庭市社協等に相談したい方がおられますか。

内容	いる	14
	いない	90
	無回答	7



「いる」と答えられた方にお尋ねします。真庭市社協に相談したことがありますか。

内容	ある	8
	ない	6



③見守りや働きかけをする中で真庭市社協で支援できることがありますか。

- ・ 生活に役立つ情報の提供
- ・ サロンと関係なくても良いので、高齢者の見守りにつながる行事があるのが望ましい。
- ・ 何かあれば、保健師さんやコーディネーターの方に相談している（2）
- ・ その方の事情や意思があるので余りしつこくはしていない。支援は難しい。情報は必要。
- ・ 研修会の形だと参加しやすいのでは？
- ・ 参考になる事、事業の内容等の情報を下さい。
- ・ たびたび訪問し確かな実態を把握した上で行政の支援を受けることができれば、少しは安心かと思います。
- ・ 支援できる内容を知りたい
- ・ 体操の指導や話をしてほしい。
- ・ 参加できない人にチラシ等あったら持っていきたいのでほしい。（2）
- ・ サロン会場の出入り口の相談をしたい

### 分析

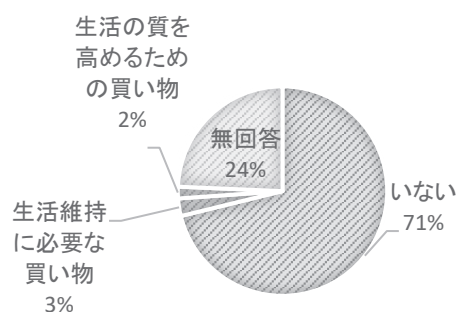
66%のサロンが、サロンに参加できなかった方、もしくはできない方への見守り等の働きかけを行っており、出会った時や畑にいる時等に声をかけたり、チラシやサロンで出したお菓子を渡す等の活動を行っていた。

13%のサロンは、サロンで気になる方を社協に相談したいと回答した。その中で社協に相談したことがあると回答したのは57%であった。社協に相談したい人がいても、43%は社協に相談していなかった。

見守りや働きかけをする中で、社協ができる支援として、支援できる内容や情報の提供等があった。

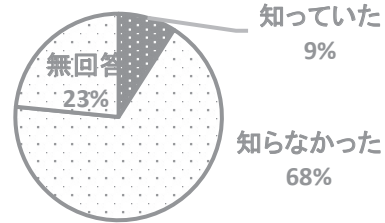
5、 サロンの参加者の中で買い物に困っている方がおられますか。

内容	いない		79
	いる	生活維持に必要な買い物	3
		生活の質を高めるための買い物	2
	無回答		27



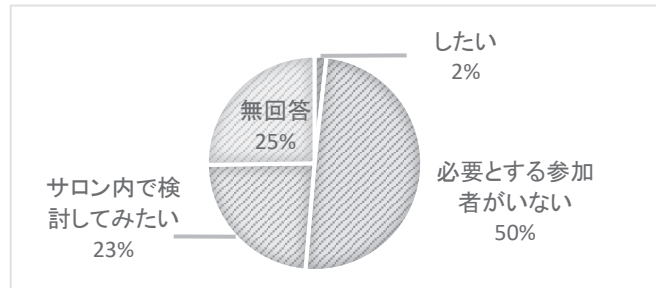
6、 サロンの開催日に合わせて移動販売が利用できる取り組みをご存知でしたか。

内容	知っていた	10
	知らなかった	75
	無回答	26



7、 サロン参加者の為に、『サロンへの移動販売』を活用したいですか

内容	したい	2
	必要とする参加者がいない	55
	サロン内で検討してみたい	26
	無回答	28



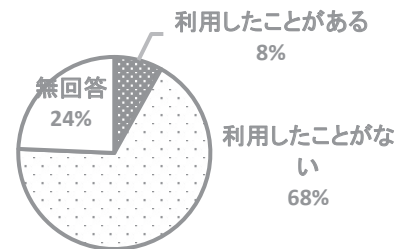
分析

サロンの中で買い物に困っている人は6%しかおらず、サロンへの移動販売も必要とする参加者がいないと回答したのは66%だった。

サロンの開催日に合わせて、移動販売が利用できる取り組みを知っているサロンは12%しかおらず、サロン内で検討してみると回答したサロンや、利用してみたいというサロンもあった。

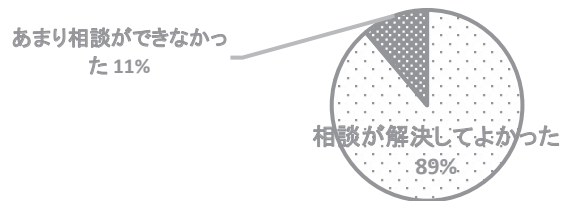
8、 真庭市社協の「ふくし巡回相談」について伺います。「ふくし巡回相談」を利用したことがありますか。

内容	利用したことがある	9
	利用したことがない	75
	無回答	27



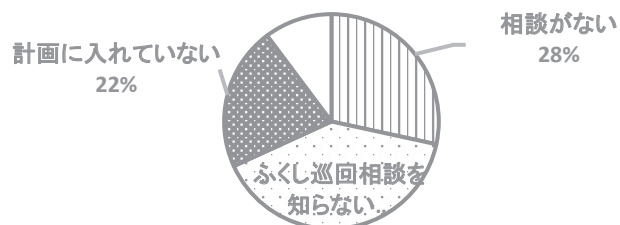
9、 問8で『利用したことがある』と回答された方に利用について伺います。

内容	相談が解決してよかった	8
	あまり相談ができなかった	1



10、 問8で『利用したことがない』と回答された方に理由について伺います。

内容	相談がない	25
	ふくし巡回相談を知らない	35
	計画に入れていない	19
	その他	9



- ・ 心配事・相談事は直接社協や包括支援センターへ行っています。
- ・ 相談ではなく、情報や新しい明るい内容で一緒に参加して下さるのは大賛成です。（年に1回程度でも）
- ・ 近所の人がいる所で個人的な相談は出来ないのではないかと。
- ・ こういった機関があることは力強く思います。元気に明るく暮らしていくために有難いと思います。



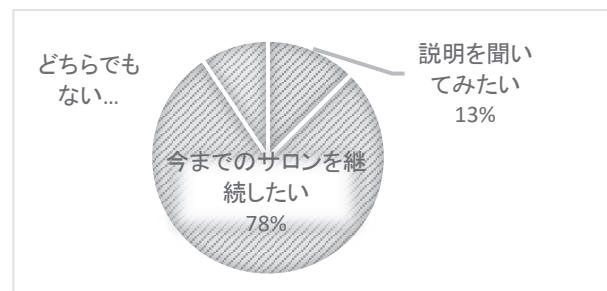
- ・ 社協や役所の方が来られると大変緊張するので、自治会の人だけが良い。
- ・ 相談するほど問題を持っている人がいない気がします。
- ・ 家族への確認がよいのでは
- ・ サロン内で必要な人がいるか聞いてみます。
- ・ 集団の中では個別の相談はしにくいと思われる。

#### 分析

74 (67%) のサロンがふくし巡回相談を利用したことが無く、その理由は「知らない (39%)」「相談がない (28%)」となっている。巡回相談についての認知が薄く、周知の必要性がある。一方、利用したサロンは相談の約9割が解決してよかったと回答している。

憩い型サロンⅠ・Ⅱの方に伺います。真庭市社協では介護予防のため運動型サロンの推進をして  
11、います。真庭市社協職員が外向き、運動型サロンへの移行の説明や立上げのお手伝いをさせていただきます。(別紙チラシ参照)

内容	説明を聞いてみたい	8
	今までのサロンを継続したい	50
	どちらでもない	6

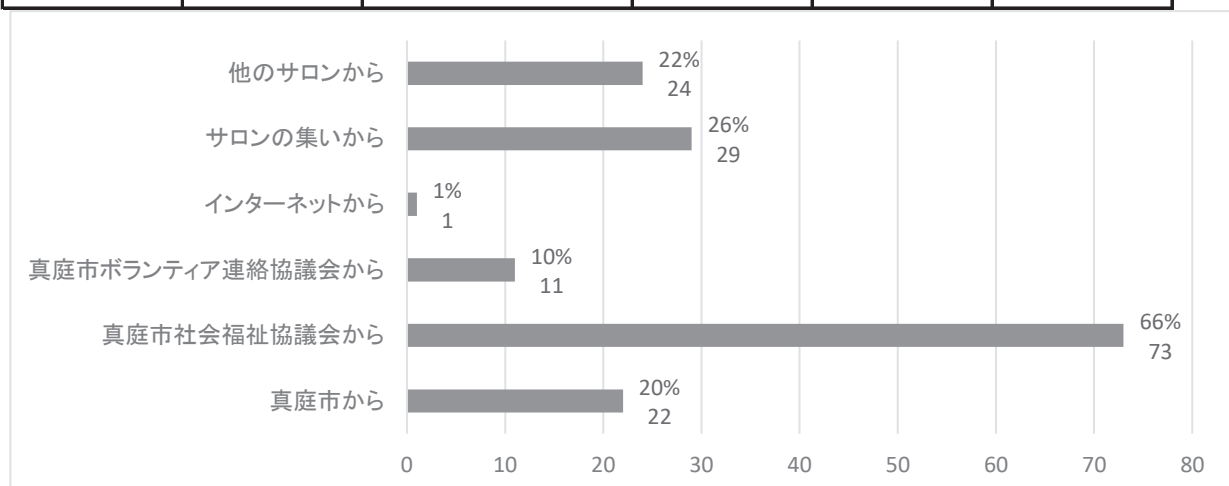


#### 分析

憩い型サロンⅠ・Ⅱの方で、運動型サロンの説明を聞いてみたいと回答したサロンは8団体であった。

12、サロン活動に関する情報は、どこから得ていますか。あてはまるものすべてに☑をしてください。

真庭市から	真庭市社会福祉協議会から	真庭市ボランティア連絡協議会から	インターネットから	サロンの集いから	他のサロンから
22	73	11	1	29	24
20%	66%	10%	1%	26%	22%



#### 分析

サロン活動に関する情報取得は、社協から得ている人がほとんどだった。

### 13、 サロン運営をする中で課題（困っていること）がありますか？

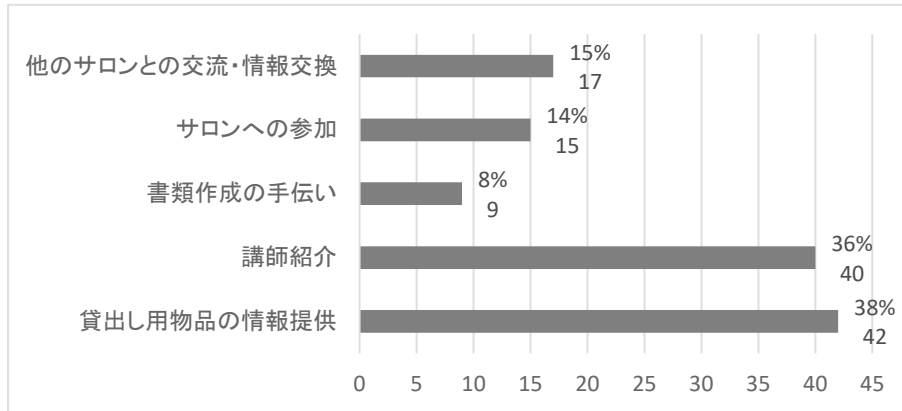
- ・ 会員の新しい加入がない（3）
- ・ 参加者が少ない（10）
- ・ 細々とでも活動を続けていくためには、世話役をする人が必要になるが、引き続きお願いできる人を探すことが難しい。
- ・ 参加していただきたい方、全員の参加を希望しますが難しい面があります。
- ・ 担い手の不足、担い手の高齢化（11）
- ・ 新型コロナ感染症に対して各自考え方が違うため、行事の内容を決めるのがとても困難です。「お茶会は大丈夫」「いや、持ち帰りにしたほうがいい」「なるべく早く終わらしましょう」など。サロンの運営の仕方を検討してみたいと思います。
- ・ 活動資金がもう少しあればと思うことがあります。
- ・ 足が悪い人が多いので、高い机と椅子にすればと思う。今は畳で椅子は各自持ち寄っている。
- ・ 人手不足で若い人に会員になってもらい手伝いをお願いしているが、会費を頂き更に食事代を頂くのは心苦しい。サロン会員の人は例外扱い出来ないか。サロン参加者の家族に講師を依頼しても講師料として支払いできない。
- ・ 自分が知っている情報が少ないため、年間計画を立てるのに苦労する。体操など身体を動かすことをすればと思うが指導は無理。
- ・ 高齢化が進み、中心となって動ける人が少なくなっている。今までは食事を提供するサロンを続けてきたが、若い人への負担が多くなっているため形態を変えるべきか悩んでいる。
- ・ 会場が畳なので、座ってできる体操を教えてほしい。
- ・ 人数に関係なく会場使用料が1,000円必要なこと
- ・ 昨年からコロナ感染が拡大し、サロンを開催していか悩みながら、少し落ち着いた頃に開催していますが、会員の方がどう思っているか考えるとモチベーションが下がります。
- ・ 男性の参加が少ない、ネタ不足、スタッフの協力がやや不足。
- ・ 病気の方がいますが、訪問はしてほしくないと言われます。
- ・ コロナ禍で長い間お休みしたので、ボランティア、参加者とも再開を望む声が少ない
- ・ 高齢者が多く、足が痛いなどの理由で集会所まで来れないため車で送迎する。
- ・ 食事作りの献立にいつも困る。
- ・ 高齢化と新型コロナ禍で会員の出足が悪くなっています。場所が坂の上を登っていかないといけないので、皆様困っています。
- ・ 感染予防等
- ・ 和式トイレ
- ・ パイプ椅子が必要
- ・ 運動型を週1回しているのにお茶代が出ません。サロンと一緒にしたので、サロンの茶話会としてお茶代を請求してもいいですか？
- ・ サロン活動の情報（レクリエーション等）
- ・ 女性はほぼ参加していただけますが、男性は声かけはするが参加が少ない。
- ・ 仕事等で参加が難しい人へ何度もお願いをして開催していたが、コロナの影響で開催しにくくなり困った。
- ・ 参加者の固定化。もっと小さい範囲での集まりの方が有効と思うが

#### 分析

サロン運営をする中での課題は、高齢化、担い手の不足、参加者の減少など様々な悩みを抱えていることである。

- 14、 サロン活動を継続するために社協に支援してもらいたいことがありますか。当てはまるものすべてに☑をしてください。

貸出し用物品の情報提供	講師紹介	書類作成の手伝い	サロンへの参加	他のサロンとの交流・情報交換
42	40	9	15	17
38%	36%	8%	14%	15%



- ・ 新会員募集するとき何かパンフレットのようなものがあれば
- ・ 担当者に参加してもらいたい。気軽にサロンにのぞいて下さい。
- ・ すべての項目は実現しています。今年度からの社協と包括支援センターの協働で活動が楽になりました。
- ・ 今は体操するだけで話もできませんが、時々社協の人に来ていただきレクリエーション的な事をしていただければと思います。
- ・ 真庭市社協が実施する交流会には参加しています。地区社協の取り組みでも考えていますが、地区間の交流を進めたい。
- ・ コロナ以来、休会しています。高齢の方が多いので、以前輝き教室をした事がありますが、楽しく食事・会話が負担にならないようです。
- ・ ボランティア研修等に出来るだけ参加し、アイデア等を参考にしています。
- ・ コロナで食事会がしにくいので、講師の方を呼んでイベントをしたい。講師料の上限3回が少し増えると助かります。（年の上限5万円はそのまま大丈夫です。）
- ・ 研修会に参加してサロンで出来る遊び等をお願いします。習ったことを参考にしています。皆さんとても喜んで楽しかったと言われます。
- ・ お茶会や食事会をしてみんなで見守り・話をする会なので、支援してもらうことはありません。
- ・ 今後ともご指導の程よろしくお願いします。
- ・ 何かの工作をしていると、皆いきいきして話題も増え、お互い協力したり、サロンの日以外でも話題になり、とても良い事のように思いますが、費用をお願いするのが心苦しくやりにくい。
- ・ 今までのようにメッセージ集を声を出して読み、大きな声で童謡を歌い、その後お菓子を食べながらのおしゃべり会が一番の楽しみようです。
- ・ プrintの提供等
- ・ 食事会金額の増額（200円から300円）と弁当購入は高額となるため、参加者で手作りの弁当を提供していますが有意義な参加となりにくい状況にあることから、数回の弁当購入への助成し、例えば500円程度があればありがたい。

- ・ サロンだけでなく老人クラブ、グラウンドゴルフ同好会においても毎年減少している。60～70歳位の年齢の方が加入を勧めても入らない。自分だけで楽しむことを優先し、人の世話をする気がない人が多い。女性リーダーに性格のきつい人がいるため、加入を拒む人がいる。
- ・ 皆さんが楽しんで出来るレクリエーションがあればと思っています。
- ・ いつも大変お世話になります。ありがとうございます。私達の地区は特別な地域性がある様に思います。戸数・人口が少ない等、また規約にある様に、地域全員（高齢者から子ども）のサロンなので気楽に開催しています。今まで通りで平凡なサロンを継続しようと思います。また状況が変わる可能性ありなので、その時はどうぞよろしくお願いします。
- ・ サロン活動をするうえで色々協力していただき助かっています。今後も引き続きよろしく願います。活動のマナー化が少し気になりますが、コロナが収束したら情報交換できるといいです。
- ・ 定期的に体操とかで社協からの応援をお願いしていますが、体操だけでも毎回来てもらえたらなと思います。おしゃべりだけで終わるのでなく、10～15分の体操だけでもしていただければ。
- ・ 後継者不足なので育成してほしい。サロンに高齢化で参加できにくい方々への支援方法。
- ・ 年度替わりの書類は毎年お手伝いをお願いしており、お世話をおかけしています。ありがとうございます。
- ・ 移動販売、ふくし巡回相談は初めて聞く言葉です。社協から説明が聞きたいです。
- ・ 手芸、絵手紙などができるように講師を紹介していただきたいと思っています。
- ・ 栗原も上・下地区の交流会を考えています。
- ・ 皆さんに頼まれ今までやってきましたが、歳を取り後継者がいないため3月一杯で休む予定です。市は継続を勧めるが、65歳くらいの方は働き盛りですので無理です。

## 分析

サロン活動を継続するために社協に支援してもらいたいことは、貸出物品の情報提供や講師の紹介が多かった。また、新規にサロンへ誘う時にパンフレットなどがあれば声掛けしやすいという意見もあった。それ以外では、社協職員にサロンへ参加してもらいたいことや、サロンで出来るレクリエーションの提供などがあった。

## 考察

サロン代表者は、サロンに参加しにくい方の様子を把握し、声掛けや訪問等の働きかけを行っている。このことから、サロン活動は集いの場に来られない人への支援にもなっており、今後もサロン未設置地域に「出前サロン」等を行い、新規サロンを設置推進していく必要があると考える。また、イスやトイレの物理的環境が改善されれば参加できる人もいると考えられるので、集会所等の環境整備も必要があると考察する。

サロン参加者の中で気になる人は少なかったが、社協に相談したい人でも、実際に相談まで至っていないサロンもあったため、相談できる関係づくりを築き、直接出向いての「ふくし巡回相談」の推進が必要と考える。

社協に望む支援として、貸出物品、講師等の情報の提供、参加されない人へ渡せるチラシ等の希望があったので、支援していく必要が感じられる。

サロン参加者のうち、買い物に困っている人はほとんどいないが、移動販売を知らないサロンが多かったため、買い物支援となる移動販売の事業周知の必要性がある。

サロン運営をする中で、担い手不足、担い手の高齢化、参加者の固定化等があがっており、子どもや若い世代の力が不可欠と考える。若い世代の担い手を育成をしていく為に、担い手研修やサロンのチラシを更新しながら事業実施していく必要があると考察する。

第4次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート ③

調査対象	民生委員・児童委員、主任児童委員
------	------------------

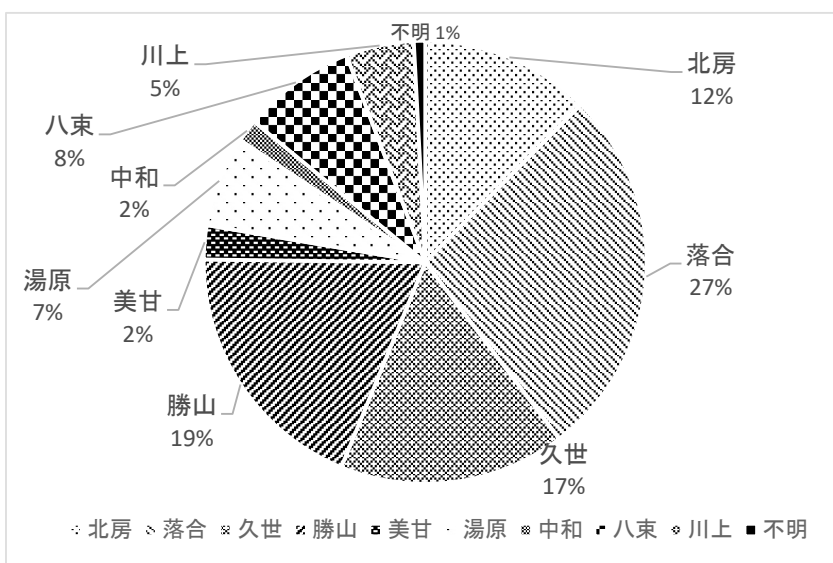
対象 167

回答数 121

【参考】民生委員児童委員・主任児童委員定数

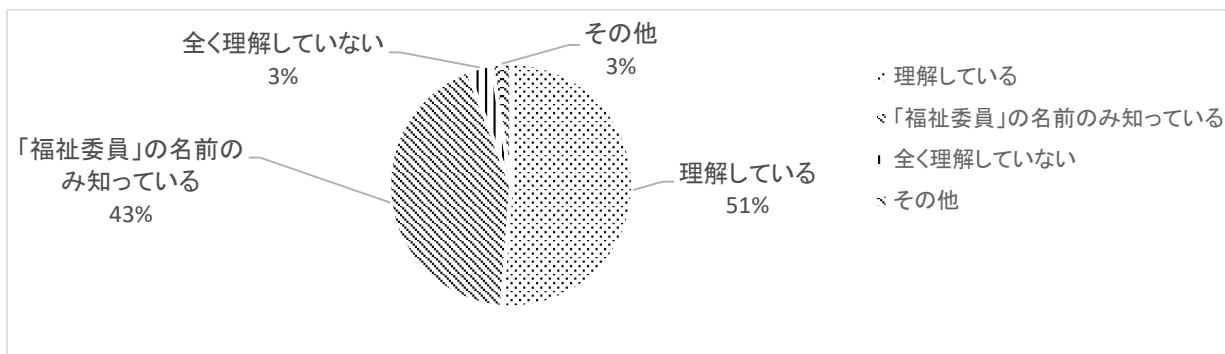
地区名	民生委員 児童委員	主任 児童委員	合計	回答率
北房	13	2	15	83%
落合	31	2	33	77%
久世	18	2	20	59%
勝山	21	2	23	88%
美甘	2	1	3	43%
湯原	7	1	8	53%
中和	1	1	2	50%
八束	9	1	10	83%
川上	4	2	6	67%
不明	1		1	1%
合計	107	14	121	72%

地区名	民生委員 児童委員	主任 児童委員	合計
北房	16	2	18
落合	40	3	43
久世	32	2	34
勝山	24	2	26
美甘	5	2	7
湯原	13	2	15
中和	2	2	4
八束	10	2	12
川上	7	2	9
合計	149	19	168



問1. 福祉委員について伺います。地域の方は、福祉委員の役割について理解されていますか。

項目	理解している	「福祉委員」の名前のみ知っている	全く理解していない	無回答	合計
回答数	62	52	4	3	121
割合	51%	43%	3%	3%	100%

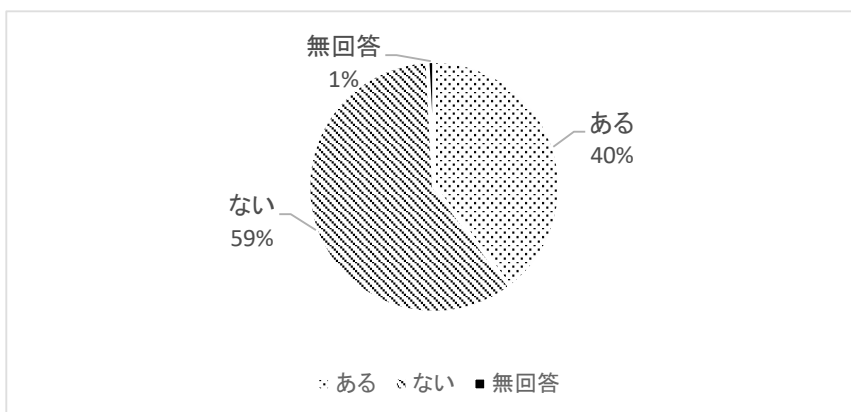


問1 分析

「理解できている」が前回（5年前）の17%から51%に改善している。また、「名前のみ知っている」との回答も43%と多くを占めており、認知度は上がっている。地域において「福祉委員」が周知されるようになってきたが、活動が伴っていない地区もある。

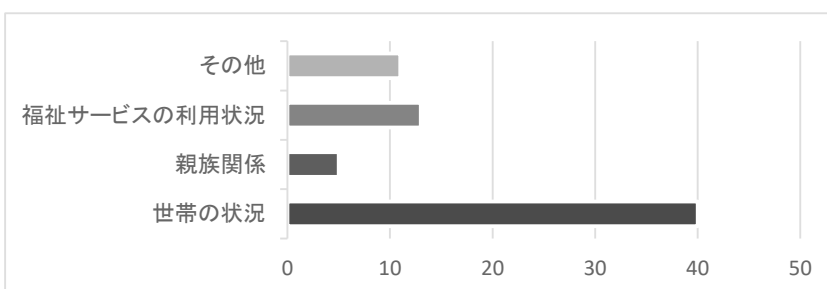
問2. 民生委員・主任児童委員から福祉委員に必要な地域情報の提供を依頼したことがありますか。

項目	ある	ない	無回答	合計
回答数	48	72	1	121
割合	40%	59%	1%	100%



問2-1. どのようなことを依頼しましたか。（複数回答）

項目	世帯の状況	親族関係	福祉サービスの利用状況	その他	合計
回答数	40	5	13	11	69
割合	58%	7%	19%	16%	100%



その他

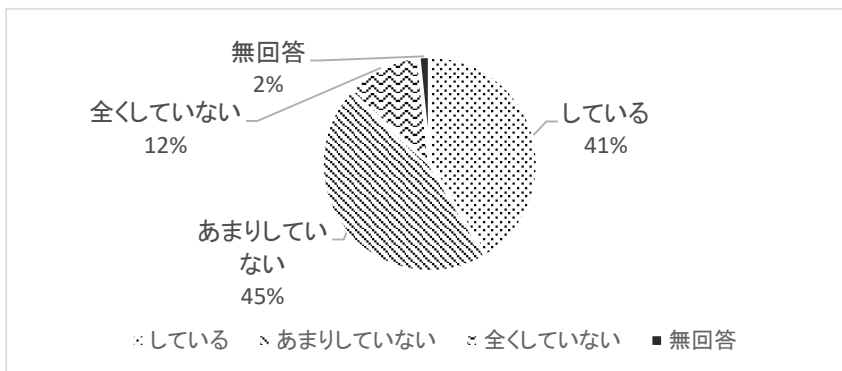
- ・退院してから様子を聞いた。
- ・友愛訪問で地区社協からのお土産を持参し安否確認をしてもらっている。
- ・赤ちゃん誕生時地区社協からのお祝いを持参しお慶びを伝える。
- ・年に一度（例年2月に皆部3地区で）高齢者の交流会を開催。地域で活躍の演劇ボランティア、ビンゴゲーム、あつあつうどんをご馳走、その際のお世話をしている。
- ・見守り体制について。
- ・お弁当の配達の時。
- ・見守りが必要な人の情報を時々知らせたいと依頼した。
- ・健康状態・・・あまり外へ出てない（足腰の弱り）ようなので声かけや見守りをお願いした。
- ・ショートステイ、デイサービスを利用するようになった。
- ・施設に入所になったとか、病気で長期入院になるもりハビリをして元気になりサロンに来られるようになる。
- ・状態に変化があったりなどの情報共有をしている。
- ・高齢者の一人暮らしの困りごと。生活又病気、将来福祉施設等入所（デイサービス、ショートステイ等）の相談。
- ・助けあい会議への参加。
- ・友愛訪問を一緒にする。
- ・〇〇地区：一人暮らし高齢者が数日不在。地区委員（福祉委員も）に聞くが知らない。近所づきあいをしない為知らない。となり住民、部落長、みんな知らない。・・・全員で探す（結果3日後娘の家へ行っていた）。 ※今後近所の目くばりを求める。
- ・気になる世帯が福祉委員の近くだから。

問2 分析

民生委員・児童委員、主任児童委員から福祉委員に情報提供の依頼は「ある」が前回の44%から40%となり、内容は「世帯の状況」が58%を占めた。自由記載では地区社協活動や見守りの依頼協力が多く見られた。

問3. あなたの地区の福祉委員は、『地域の見守り役』として活動をしていますか。

項目	している	あまりしていない	全くしていない	無回答	合計
回答数	50	55	14	2	121
割合	41%	45%	12%	2%	100%

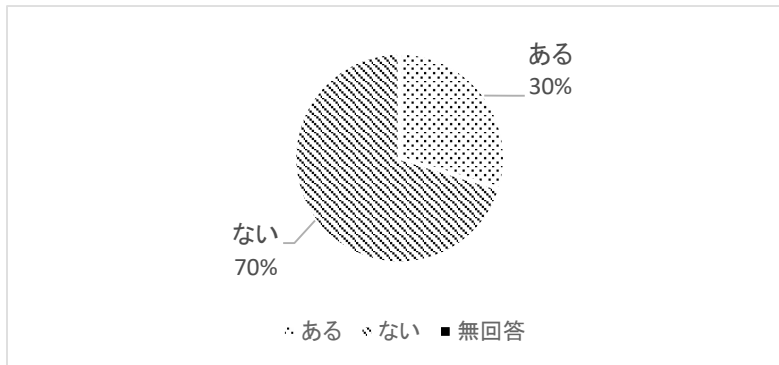


問3 分析

福祉委員が「見守り役」として「活動している」が前回の20%から41%になった。「あまりしていない」が54%から45%に、「全くしていない」が前回と変わらず12%となった。

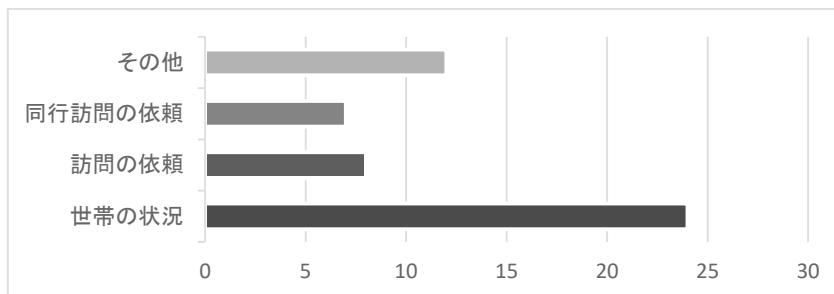
問4. 福祉委員から地域で困っている世帯などの相談や地域情報の提供を受けたことがありますか。

項目	ある	ない	無回答	合計
回答数	36	85	0	121
割合	30%	70%	0%	100%



問4-1どのようなことを受けましたか。（複数回答）

項目	世帯の状況	訪問の依頼	同行訪問の依頼	その他	合計
回答数	24	8	7	12	51
割合	47%	16%	14%	23%	100%



その他

- ・高齢者（同居世帯）の家庭問題。嫁、姑の関係の相談。
- ・高齢者夫婦世帯で、デイサービス等の活用依頼の相談。
- ・一人暮らし高齢者について、現在は日雇い労働で生計を立てているが、体が動かなくなると困るのではないかと連絡があった。
- ・地域住民との関わりを持つことができない。高齢者世帯や一人暮らし高齢者の近隣トラブル、病気、退院後の生活等。
- ・ひとり暮らしが厳しい人が支援の手を拒否していることについて。
- ・仕事をしなく、こもりがちの人がいるので、自分も気をつけているが、訪問してほしい。
- ・独居高齢者が自宅で転倒し救急車で整形病院に搬送されたことを連絡してもらった。
- ・福祉だよりを配布している時、前の溝にペットボトルを多数放置しているのを見受けた。何か問題が生じているのではないかと？



- ・若い一人暮らしの人の相談。
- ・老人宅の電気が点いているので見て欲しい（急に入院したため）。
- ・現状にてお互いの生活があり、近所付き合いをしないので分からない。民生委員として、地域の情報を求めに福祉委員を訪問して、関心を頂くようお願いしている。  
⇒将来は福祉委員の人が民生委員になってもらいたい。
- ・認知症に対する対応。
- ・5人家族の内1名80歳前の男性について情報を共有している。

#### 問4 分析

福祉委員からの情報提供は「ある」が30%だった。内容は「世帯の状況」が47%、訪問や同行訪問の依頼が30%となった。自由記載はほぼ高齢者に関することであった。

問5. 地域住民が主体となって民生委員・主任児童委員や福祉委員、社協などが連携した地域の見守り活動をさらに充実するためにどのような取り組みが必要と思われますか。

- ・見守りについてはやはりご近所の手助けが一番と思います。そして問題があれば社協なり民生委員・児童委員等に連絡いただくといった体制ができればいいなと思っています。
- ・困っている世帯のご近所の方にサポートに対しての援助。
- ・自治会長、福祉委員が中心となり、集落に適した見守り活動の体制をつくっていく。
- ・福祉委員さんが地域の最前線で活躍されています。福祉委員と民生児童委員が頻繁に連絡を取り合い、問題があれば市・社協と連携し問題解決に向けて行動する。
- ・定期的訪問を分担する等。一緒に活動することは、時間的に実施しにくい。
- ・住人の身辺にいる福祉委員にもっと民生委員の仕事をまかせる。
- ・情報の共有化、役割分担など定期的な情報交換の場を持って（福祉座談会など既にありますが）しっかりと連携して見守り活動を行うこと。
- ・福祉委員の研修の充実（ほとんどが社協からの連絡やお願いが多く、受け身的な研修になっている）、ケアマネや福祉委員相互の情報交換等ができれば、活動への意識は高まると思います。民生委員・児童委員に頼り過ぎている部分があると感じている（改善を）。
- ・たまには活動を一緒にしてみてもどうですか。何もかにも民生委員へというのではなく、福祉委員でもできる業務はいくらでもあるはず。
- ・各委員、社協が密に連絡を取り、事案を共有する。
- ・コロナの為に中止になっている助けあい会議を開催できるよう工夫が必要ではないか？会場、対象地区など全体での開催ではなくてもできるのでは？
- ・自治会としての会合。
- ・お隣近所が助け合って仲良く暮らすと見守り活動が充実していく。
- ・普段から玄関に鍵をかけており、声掛けをしても出て来られない人の様子が心配で、2か月に1回しか会えなかつたりすると近所の方に様子を聞いて、元気な姿を見たとき聞くと安心なので、近隣との情報交換が大切だと思う。
- ・福祉委員との連携（相互連絡強化）
- ・コンプライアンス（個人情報等）の守秘義務について、該当者が気にしており、委員が信頼される立場にならなければならない。
- ・各自治会にいる福祉委員さんには今以上に各小部落の実情を把握し、我々民生委員に相談して欲しい。いろいろな例があると思う、特に少子高齢化になって若者が少ない。

- ・福祉委員の社会的重要性、有価値の活動であることの意識づけを評価してあげることが必要。
- ・定期的に情報交換などができる会があれば良い。
- ・見守り訪問、会話。
- ・福祉委員が名前だけになっている。活動実態が見えない。
- ・小学校登校時の見守り。民生委員として、1回／月の自宅訪問実施中です。警察との情報交換、下校時のパトロール。
- ・民生委員だけでは地域のことを把握することが困難なので、もっと福祉委員にも協力していただき情報をいただきたい。
- ・地域の連携がもたれること。
- ・福祉委員さんは家回りで仕事をもっておられ多忙な様子で、地域の見守りなど実際には難しい状況だと思います。時間的に余裕がありボランティアが可能な人ができるようにする必要があります。
- ・現在行っている地区社協の活動で十分だと思う。
- ・サロン活動などが停滞気味（コロナになると活動自粛も原因）なので、高齢者や子ども様子を自然な形で尋ねることが難しくなっている。
- ・福祉委員の役割を理解したうえで各自治会で選出してほしい。
- ・助けあい事業の中で、富原地区では「ちょいてご」を以前から進めております。日頃から昔からの「向こう三軒両隣」という意識を更に深めて、お互いに助け合う意識向上を図ってもらう。
- ・細かい打合せと具体的な問題点の検討。
- ・見守り訪問を現在は一人で行っているが、複数で行う。回数をます。
- ・地域住民相互の顔の見える交流。
- ・情報の共有が必要と思う。地域でどんな方が担当しているのか、周知されていないので、コミュニケーションが取れる状況ではない。担当者の氏名、連絡先、顔合わせなど必要である。
- ・他人が家庭の中に入ることを好まない人が多いと思うので、見守り程度はできるが、それ以上の支援は不要では。
- ・深く立ち入ることは、多少懸念を感じる。現在の対策でよいのではないか。
- ・民生委員、福祉委員合同の全員出席研修会を開催（地区社協の集まりにも出て来られませんので、地域での委員選出方法にも問題があるのかもしれませんが）。
- ・コロナ禍なので仕方がないが、集まりが無いとモチベーションが下がる。
- ・ケース会議を開いて、困っている人にどのような支援ができるのか話し合い、具体的な活動をそれぞれ確認し実行する。
- ・色々と会合を行い話し合う事。
- ・社協に相談した内容について教えて頂くこと。
- ・日常の生活上の困り事、してほしい事、定期的に医者への通院、買い物の利便性が地域毎の環境によって具体的なことから、それぞれの地域に特化した試みが大切。同じ事をするのも良いが、それぞれに求められることをする必要がある。
- ・委員になる方が少なく、選出されることを嫌がる。報酬を多くする。
- ・福祉委員が担当地区では、1年ごとに交代するので活動の内容を理解し取り組んでいくのは難しい状況と思われる。今まで積極的に（福祉委員と民生委員が）情報交換をしていなかった。今後は、社協、民生委員、福祉委員、住民との会話が必要。支援の輪をとりもつ為に民生委員がしっかり地域の人達、各機関と情報を交換して共有していくことが大切と感じている。

- ・福祉委員は各自治会に一人選任されているが、10戸前後の戸数の中からの選任であり、名目だけの福祉委員が大半で、役割も理解していないし活動もほとんどできていない。少数数の自治会から適任者選任は困難と思える。
- ・民生委員、福祉委員（社協）、行政の連携。
- ・ひとり暮らしの場合、福祉委員、自治会長と共に見守り活動が出来ていたと思うが、同居家族が何人か居る場合は、家族の中の情報等の入手が難しいと思っている。
- ・地区社協の充実。情報の共有と連携。
- ・見守り活動となると現状仕事を持っている立場にあり、なかなか厳しい面があります。しなければと思うのですが、年2回集まりがありますがこの場を利用して色々意見を伺うのもと思います。
- ・見守りの対象となっている家庭への訪問、声掛け、話を聞く等少し距離を縮めてはどうだろう。
- ・福祉委員の選任の仕方と任期について検討する。民生委員児童委員と福祉委員との会合。
- ・福祉力を高めた、積極的なリーダー。
- ・合同の会合（情報交換）がもう少しあった方が良いのではないかと思います。
- ・研修会に必ず出席してもらい、役目を理解してもらおう。
- ・各地区ごとの民生委員児童委員、福祉委員の状況、話し合いの会議があれば（社協担当職員も入って）。
- ・できるようでできないのが見守り活動だと思います。私の地区は今のところ元気老人が多いので、普段の生活の中で「元気してるね」と確認できています。やはり、日にちを決めて複数で訪問できれば良いと思っています。
- ・各地区の行政委員さんから情報提供してもらい、それぞれの委員、社協、市、地域が一緒になって問題に取り組む。
- ・情報共有して介護ならケアマネさんとか、子育てのことなら発達支援やスクールカウンセラー、ソーシャルワーカー等それぞれの専門の方につなげて、知恵を授かり制度・支援につなげていく。
- ・地域の方も働かれている・家族が離れて暮らしている・家族も働いている等難しい面もありますね。
- ・社協事務局からの情報提供があまりない。
- ・コロナ禍でも気軽に集まれるような場。
- ・各地域ごとに集会を開き、情報を話し合ったら。
- ・民生委員児童委員および福祉委員・社協・市の担当課を含めたコミュニケーションをとれる場（会議等）。
- ・市民の皆様がお互い様の気持ちで普段のつきあいができるように、後押ししていただければと思います。
- ・情報の共有、定期的な合同研修会などを設ける。
- ・助けあい会議が年2回開催され、委員相互の連絡会がありますが、高齢者に関することが主題になっていますが、そこに問7の項目についても話し合う必要を感じます。
- ・意見交換の場を多くもうけること。
- ・単身高齢者には近所の支援協力が最も必要だと思います。福祉関係者も近所の方との情報交換、話し合いなどが必要ではないでしょうか。
- ・それぞれがバラバラに活動するのではなく、互いに密接に連絡を取り合ったり情報交換をすることが必要だと考える。
- ・より小さいコミュニティでの見守り活動になるようにする（例 大字→小字）。
- ・地域住民が主体となるために、行政のしっかりとした関わり。
- ・現状活動を行う際に仕事を休む事もあり、その手当の拡充をすればTOTALでの活動参加も上がるのでは。全体を巻き込まないと各委員や地域住民が単独で動いても無駄が増えるのみだと思われる。

問5 分析

民生委員・児童委員、主任児童委員や福祉委員、社協、行政の連携やコミュニケーションが取れる場（会議等）が必要との回答が見られた。

問6. その他、社協に対して期待していることがありましたらご記入ください。

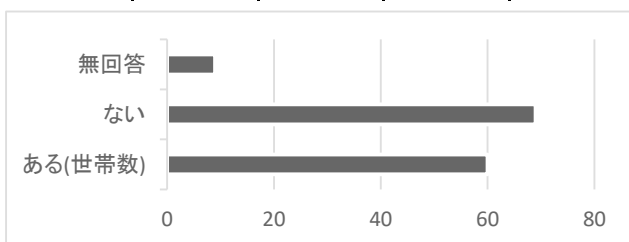
- ・福祉委員の役割がどの地域でも十分にできることが出来たらいいと思います。
- ・一番身近な存在であってほしい。相談事、悩み事でも地域住民の方が最初に頭に浮かぶ団体として。
- ・社協の職員さん良く仕事されています。今の仕事をそのまま続けてください。
- ・特にない。
- ・家族の死亡を公開されない世帯もあるので、知らない間に独居になられていました。新たに独居になった人の連絡等して頂きたい。
- ・市との連携。例えば愛育委員と福祉委員の活動内容の同じような内容があるので。市の地域ケア会議に福祉委員が入っていないのが不思議です。地域で高齢者に一番身近な存在は、福祉委員だと思っているのですが……。保健師等も福祉委員が見守り活動をしていることを知らない方がおられるので、連携の仕方に工夫が必要なのかなと思います。
- ・行政との連携をもっととっていただきたい。
- ・現在特になし。
- ・なんでも電話相談室みたいな、特に高齢者一人暮らしの人が、気軽に話ができる（昨夜天井裏をねずみが走った話から、今朝三日ぶりにウンチが出た話）でもなんでも「よかったね～がんばろうね～」と話ができる、もっともっと身近に感じてもらえる活動。
- ・民生委員である私たちが細目にチェックして様子がおかしいと思ったら市に相談して早めに対処していく。
- ・福祉委員への働きかけの充実。
- ・問題の取扱い窓口（役所）が的確に理解されていないと感じる。
- ・要支援者の現状把握→1回／年の調査。
- ・引きこもりの問題が話題になることがありますが、実態調査などはありますか？
- ・問5の機会の設定
- ・ネット環境の整備をすすめて欲しい。
- ・年に2～3回差し入れを持って行くようなことを定期的にしたらどうか（見守りをかねて）。
- ・地域福祉の為によく頑張ってくださっていると思っている。
- ・どのような事に支援金、補助金を出しているのか？申請はどのようにするのか、分かり易くして欲しい。
- ・一人暮らし世帯の人は、他と話す機会が少ない。会話を欲している。どんな希望があるのか、定期的に訪問し、ニーズを聞く、悩みを聞く等を期待します。高齢化が著しい今日、高齢者に特化した施策を望みます。
- ・高齢者が多くなり（独居老人）委員の負担も重くなっている。今後のセーフティネットのあり方を検討する時期がきている。
- ・要見守りの人を訪問したり、新しい情報がある場合は、民生委員にも情報提供があればありがたい。
- ・民生委員は、会議、研修会等が開催されているが、福祉委員の研修会が必要、少人数の自治会の中での選任は困難であり、自治会長が福祉委員を兼任すべきと思う。

- ・社協会費を1戸あたり500円程度にして欲しい。集めた会費は全額地域に返して欲しい。勝山支所と落合支所は、閉鎖して経費の削減をして欲しい。社協職員には、福祉専門職としてのプライドを持ち、弱者救済最後の砦として機能して欲しい。
- ・より住民主体の活動をするために、人材の増が急務である。
- ・情報の共有。
- ・お世話になっております。救われている方がたくさんおられると思います。特に訪問しての見守りはありがたいです。
- ・事務局からの情報がもう少しあれば活動が活性化する。
- ・日々の活動でありがたいと思っています。
- ・市民の身近な相談窓口。
- ・市ではできにくくなっている細かな福祉サービスが増々重要になってきているように感じます。今後ともよろしくお願いいたします。
- ・地域の見守り活動をしっかりとやっていただきたい。
- ・民生委員、福祉委員とのもっと頻繁な連携が必要では。

問7. 地域課題の調査のため、あなたの担当地区の現状について伺います。

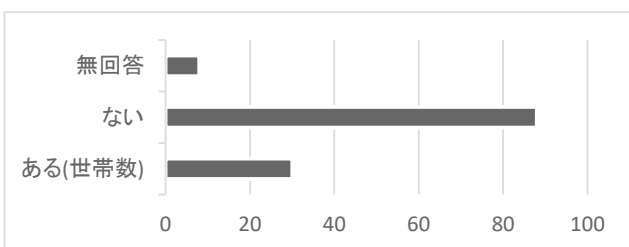
①ひきこもりと思われる世帯はありますか。

項目	ある (世帯数)	ない	無回答
回答数	60以上	69	9



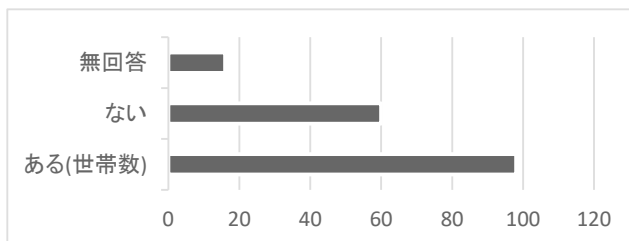
②子育て中の世帯で何らかの困りごとを抱えていると思われる世帯はありますか。

項目	ある (世帯数)	ない	無回答
回答数	30	88	8



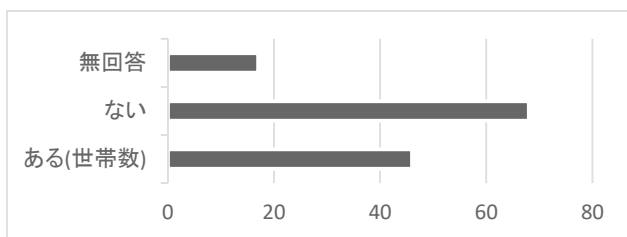
③介護をされている世帯で何らかの困りごとを抱えていると思われる世帯はありますか。

項目	ある (世帯数)	ない	無回答
回答数	97~99	60	16



④生活困窮世帯と思われる世帯はありますか。

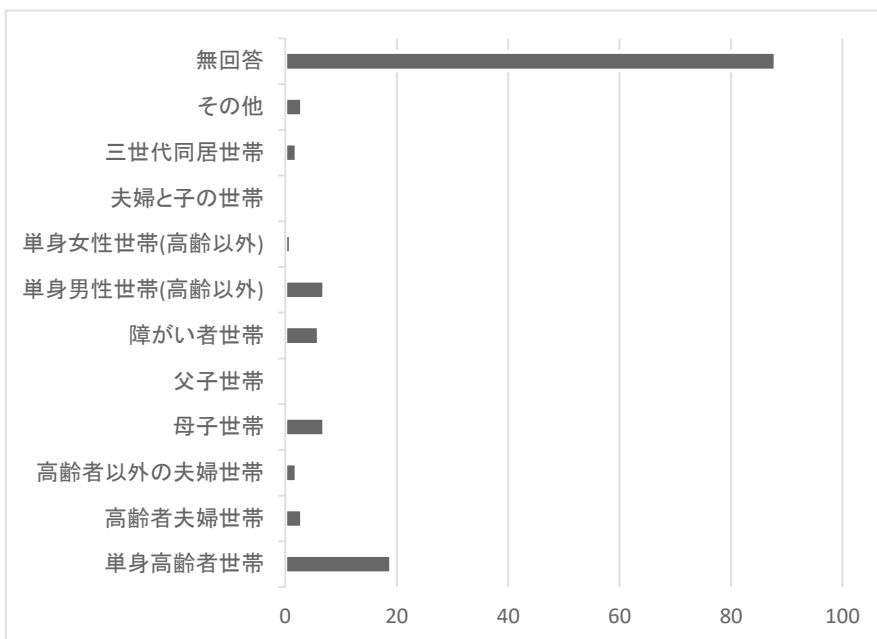
項目	ある (世帯数)	ない	無回答
回答数	46	68	17



⑤ ④で『ある』と答えられた方に伺います。その世帯はどのような世帯でしたか。世帯構成を教えてください。（複数回答可）

項目	単身高齢者世帯	高齢者夫婦世帯	高齢者以外の夫婦世帯	母子世帯	父子世帯	障がい者世帯
世帯数	19	3	2	7	0	6

項目	単身男性世帯(高齢以外)	単身女性世帯(高齢以外)	夫婦と子の世帯	三世代同居世帯	その他	無回答
回答数	7	1	0	2	3	88

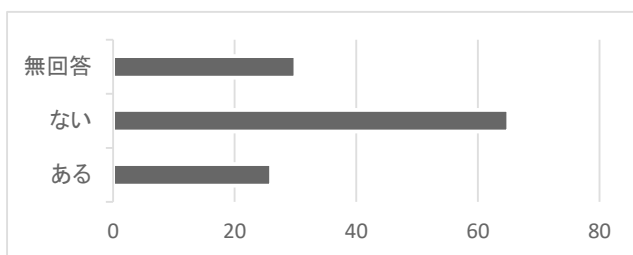


その他

- ・ 母と子（成人男子）
- ・ 高齢者と無職成人
- ・ 二世帯とも病気で働けない

⑥ ①～④以外で困りごとを抱えていると思われる世帯はありますか。

項目	ある	ない	無回答	合計
回答数	26	65	30	121
割合	21%	54%	25%	100%



ある（理由）

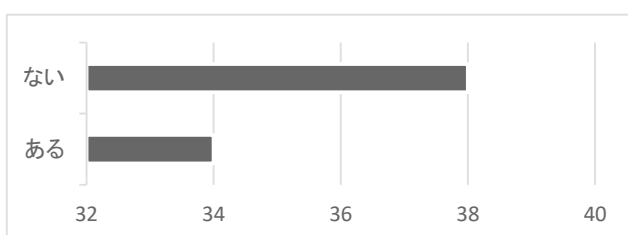
- ・成人の子どもが働いていない。
- ・娘さんがDVにあい離婚し帰って来られている。
- ・家庭内の同居の世代間の相違。
- ・不明。
- ・独居で健康に不安がある。
- ・病気、近所のトラブル、健康、将来不安。
- ・近隣の方から（うわさ）。
- ・捨て猫をかわいがり、数が増えていること。。
- ・近所との付き合いに問題あり。
- ・若年認知症。
- ・世帯の構成員が高齢又は病気がち。
- ・高齢者二人世帯で、時折夫の暴言に悩まされる（虐待？）。
- ・ひとり暮らし、病気、
- ・交通手段がないこと、日用品（食糧）の買い物が不便なこと等。
- ・認知症。
- ・ゴミ出し。
- ・表に出てこないだけでどこの世帯にも何らかの困りごとはある。
- ・病人を家で看ている世帯。

#### 問7 分析

「ひきこもり世帯」60世帯以上、「子育て中で困りごとを抱えている世帯」30世帯、「介護中で困りごとを抱えている世帯」約100世帯、「生活困窮世帯」46世帯という結果が出た。この項目以外の困りごとを抱えている世帯があるとの回答が21%あった。何らかの困りごとを抱えている世帯が潜在的に多くあると思われる。

問8. 問7で『ある』とお答えになった方に伺います。①～⑤の世帯から相談を受けたことがありますか。

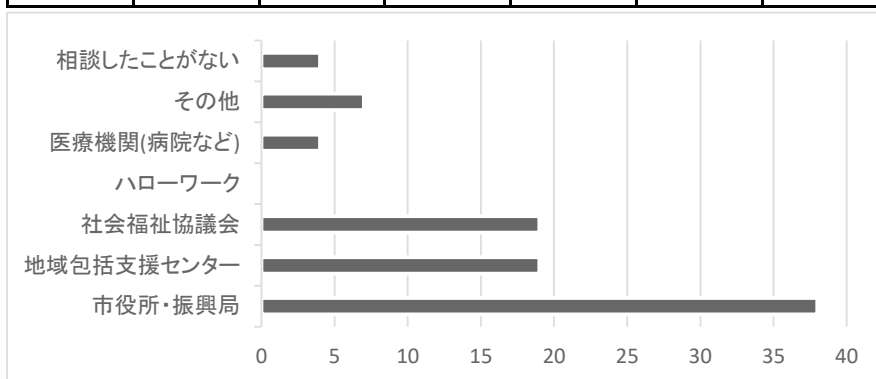
項目	ある	ない
回答数	34	38



※ 問8で『ある』とお答えになった方は引き続きお答えください。『ない』とお答えになった方は問13からお答えください。

問9. 相談を受け、支援機関に相談をしたことがありますか。（複数回答可）

項目	市役所・振興局	地域包括支援センター	社会福祉協議会	ハローワーク	医療機関(病院など)	その他	相談したことがない
世帯数	38	19	19	0	4	7	4



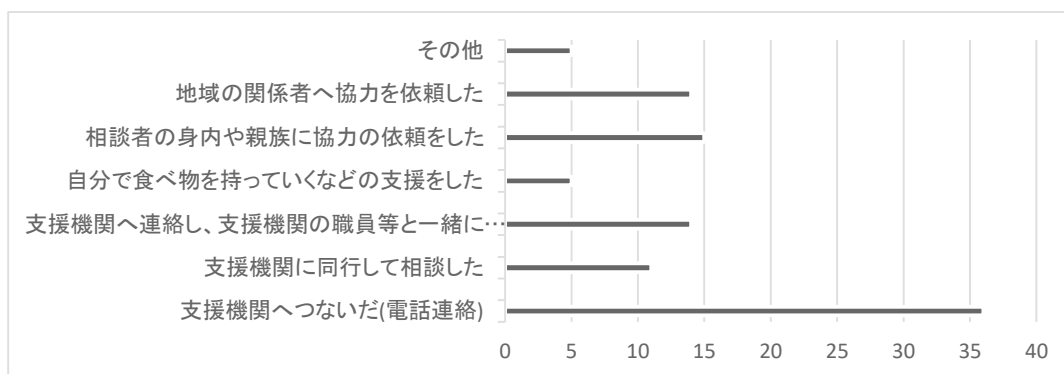
その他

- ・ 隣保館
- ・ ひきこもり支援員
- ・ 警察
- ・ 交番の婦警
- ・ 民間の移送サービス事業者、民間の移動販売事業者
- ・ 真庭警察署八束駐在所

問10. 相談を受けて、どのように対応しましたか。（複数回答可）

項目	支援機関へつないだ(電話連絡)	支援機関に同行して相談した	支援機関へ連絡し、支援機関の職員等と一緒に訪問した
回答数	36	11	14

項目	自分で食べ物を持っていくなどの支援をした	相談者の身内や親族に協力の依頼をした	地域の関係者へ協力を依頼した	その他
回答数	5	15	14	5



その他

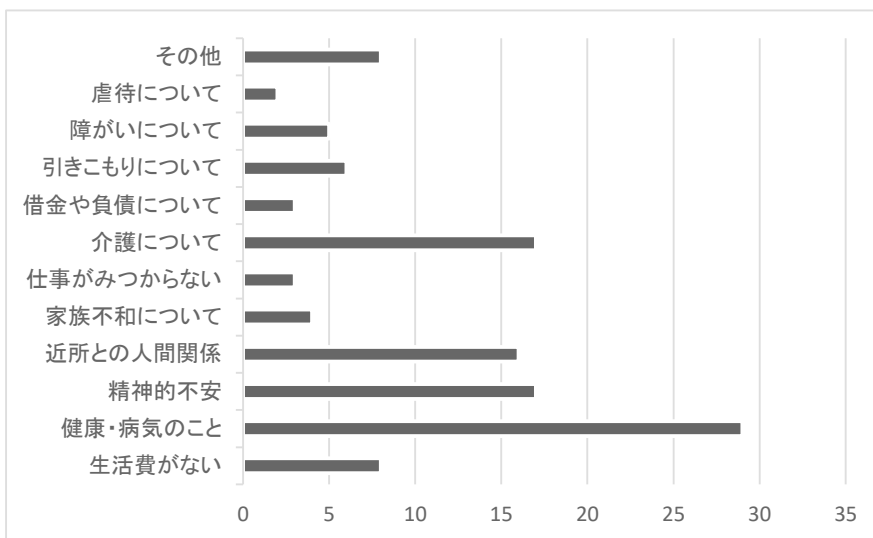
- ・ 自ら医療機関、医師、警察等に相談している。
- ・ 当事者の家庭を訪問し話した。
- ・ 支援機関に連絡し、支援機関の人に訪問してもらった。
- ・ 豪雨災害緊急避難時、不安を訴えられ、自宅に来て一泊する。
- ・ 問9に回答。



問11. 相談の内容は、どのようなものでしたか。（複数回答可）

項目	生活費がない	健康・病気のこと	精神的不安	近所との人間関係	家族不和について	仕事が見つからない
回答数	8	29	17	16	4	3

項目	介護について	借金や負債について	引きこもりについて	障がいについて	虐待について	その他
回答数	17	3	6	5	2	8



その他

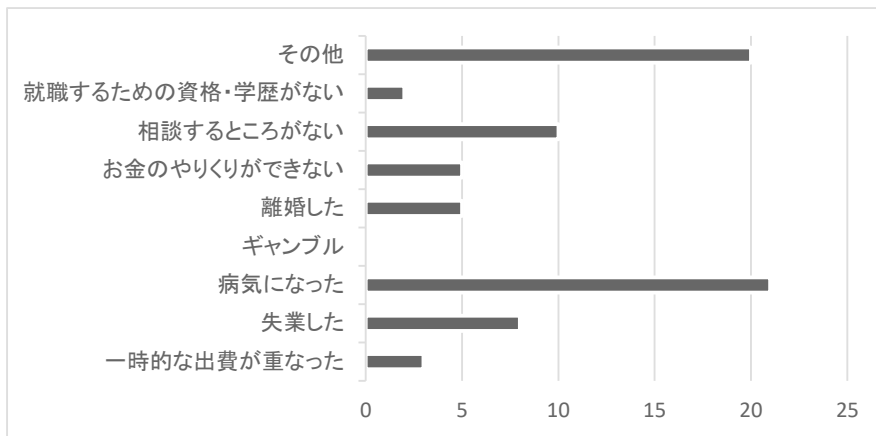
- ・ 仕事についていない。
- ・ 住宅が老朽化。
- ・ 子どもの進学について。
- ・ 精神障害者が頻繁に来て困る。
- ・ 特養への入所を考えているが・・・
- ・ 不審者の訪問。

問12. 問7の①～⑥の世帯が困りごとを抱えるようになった背景として該当するものすべてに

を入れてください。

項目	一時的な出費が重なった	失業した	病気になった	ギャンブル	離婚した
回答数	3	8	21	0	5

項目	お金のやりくりができない	相談するところがない	就職するための資格・学歴がない	その他
回答数	5	10	2	20



その他

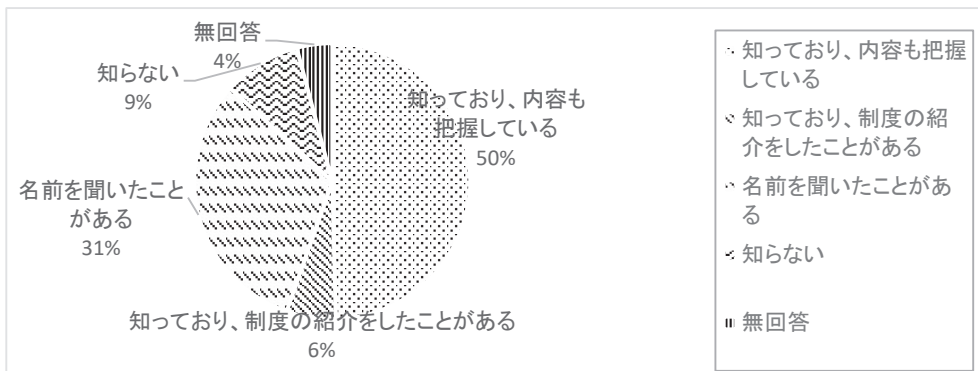
- ・母と子の意思疎通がない。
- ・高齢化による老々介護の発生。
- ・家庭内での暴力。
- ・年齢とともに体調が悪くなっていく。
- ・相談したがない。
- ・両親と死別。
- ・近所とのトラブル（草が敷地内に入ってきた、竹が倒れてきたなど）連絡、勝手など不十分のトラブルあり。
- ・独居。
- ・生活面が同居であってもお金は別である。
- ・買い物に行けない（交通手段がない）。
- ・身体機能の低下による不満を妻にぶつけている感じがする。
- ・高齢者の一人暮らし、子どもは遠方に居る。
- ・長男に嫁がおらず、十分な介護ができない。
- ・高齢になった。
- ・高齢でできること（運転など）が減った。
- ・父の死去に伴い独居になった。
- ・実母の介護の為同居するように（娘さんの息子）。
- ・妻が入院し夫が一人暮らしとなった。
- ・高齢になったため。

問8～12 分析

何らかの困りごとを抱えている世帯から相談を受けたことがあるとの回答が34人からあった。また、相談を受け、支援機関への相談は市役所・振興局は38、地域包括支援センターと社協は19となった。対応については、支援機関に連絡や訪問依頼、また、自分で食べ物を持参しての訪問や親族への支援の依頼等だった。相談内容は、健康・病気のこと、介護について、精神的不安、近所との人間関係が多く挙がった。困りごとを抱えるようになった背景は「病気になった」が21と多かった。次いで、「相談するところがない」が10と続いた。

問13. 「生活福祉資金貸付制度」について知っていますか。

項目	知っており、内容も把握している	知っており、制度の紹介をしたことがある	名前を聞いたことがある	知らない	無回答	合計
回答数	60	7	38	11	5	121



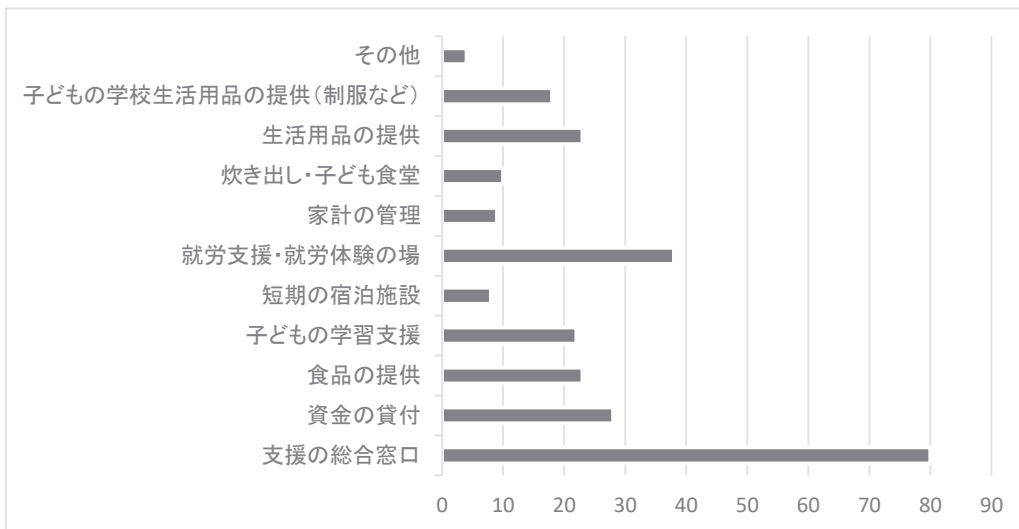
問13 分析

生活福祉資金を知っており「内容も把握している」50%、「制度の紹介をした事がある」6%であったが、「名前を聞いた事がある」31%、「知らない」9%と、40%の方が制度を紹介できない状況であり、事業周知を行う必要がある。

問14. 市内で必要と思う支援をすべて選んでください。

項目	支援の総合窓口	資金の貸付	食品の提供	子どもの学習支援	短期の宿泊施設	就労支援・就労体験の場
回答数	80	28	23	22	8	38

項目	家計の管理	炊き出し・子ども食堂	生活用品の提供	子どもの学校生活用品の提供(制服など)	その他
回答数	9	10	23	18	4



その他

- ・高齢者の一人暮らし、働けているうちは良いが、働けなくなると生活保護が必要となる。
- ・何が必要か自分で言える人がいないのではないか。
- ・成年後見制度の利用。
- ・子どものかけこみ寺的な施設。

困りごとを抱えた世帯の支援についてご意見等ございましたらご記入ください。

- ・この世帯は家族間の話し合いをして、解決の方法を探してから支援の方法を考えるのがよいと思う。
- ・福祉委員と区長の兼任の人は、あまり理解されていないと思います。。
- ・困りごとを抱えられていても、私の耳に入っていないことが多い。真庭市内全世帯に向けて真庭市社協の様々な支援が分かるパンフレットを配布する（地域福祉委員が配布すること）。

- ・困りごとを抱えた世帯の近隣から話があり、市へ相談、保健師さんの健康生活の調査と称して同行しました。市の方でも住民の生活動向を大体把握されていて、市、民生委員、福祉委員が連携し対応して行きたいと思います。
- ・こんな支援が欲しいと自分からは中々相談に来られないので、正確なところは把握できません。っと気楽に話せる方法や場があれば良いのにとと思います。
- ・相談しやすい状況を作るためにはどうしたら良いのか。相談したいことがあっても躊躇してしまう方が多い。困りごとを抱えた世帯になかなか気付くことができないのが現実です。
- ・相談があれば解決に向けて動けるが、こちらからはなかなか声かけは難しい。
- ・正しい情報に対して必要な、自立していくための支援。
- ・心配とか相談があったら、行政に伝えていきますので、私たちはそれ以上のことはできないので、相談に応じた支援を（本人に会って話し合い）お願いしていただくとありがたいです。
- ・訪問して聞いて、良いアドバイスを。
- ・困りごといろいろあっても他人に言うことを嫌い、相談したがない。
- ・困りごとは、色々千差万別、支援も色々、役とは言っても、仕事もあり忙しいのでもう辞めたい。あれも、これもこちらに振って欲しくない。私がノイローゼになりそう、民生委員になりたくない気持ちが良く分かる。今でも酒を飲んでしか書けない気持ち。※社協の方達、何でもこちらにまわすな!!私も必死に生きている。
- ・相談を受けたら踏み込んで行くことができるが、中々相談してくれる人が少ない。自分の住む大字の人は分かるが、他の大字の人の情報は入りにくいので困る。
- ・病気（喘息、右目視力低下、心臓肥大）正式名称は分からないが、一番に喘息用の携帯呼吸器があれば助かる。
- ・一人で訪問した時、鍵を開けてもらえない経験があります。ベテランの民生委員と一緒に時は話ができ、また話しかけられたり、話をしたり、挨拶を交わしたり、人との関わりをもちたいと思っておられることもわかりました。しっかり傾聴し、信頼関係を作っていく必要を感じます。
- ・常日頃から見守ることが難しい（仕事の関係、地理が遠い）ので、近所の方に見守りをお願いすることがある。
- ・「困りごとはありますか」と直接聞いて話す人はまず居ないと思います。しかし、困りごとはどの家庭にもあります（大小を言わなかったら）。支援者がどれだけ信用されているかではないか？
- ・福祉委員は『地域の見守り役』として活動しているかは分からない。問7は情報もなく、不明である。学校関係者からの情報がない。子ども会などからの情報もない。
- ・独居高齢者で計画的なお金の使い方ができていない方がおられる、食事の支援を時々してあげれば喜ばれるのでは。
- ・問10は福祉委員としての活動をお願いするが、本人の生活、仕事朝から夕方まで不在であり、住民の情報は取れていない。地域順番制の為制度で対応するより、近所づきあい、知人、友人、民生委員など困った時になんでも言える様に（本人も生活面を考えた行動を）。近所を大切に。みんなで一人を。一人はみんなを見守る地域をつくる。
- ・生活困窮世帯に対応した、定期的な食品、生活用品の提供の場。巡回等山間地域への支援が望ましい（今後ベビーブーム世代の高齢者が増加することから）。
- ・問題が切迫して初めて当事者からの発信がある場合が多いと思う。早いうちに周囲が気付いて支援できれば良いのですが、自治会の住民同士としては親しい故に深いところまで踏み込むことが難しく悩みます。各種支援相談機関に相談し、問題を共有していくことが大切と思う。
- ・包括支援センター等に相談援助技術を身に付けた社会福祉士の配置、研修によるスキルアップ。
- ・母子家庭等で生活の応援がもらえる方は良いのですが、一人で頑張らないといけないお母さんや少し力不足なお母さん等の困りごとに寄り添えるような事が出来たらいいと思います。
- ・高齢化が60%を越すような地域において若者がいなく、絶望的だが。だからこそお年寄りがイキイキと前向きに過ごせる地域を作りたい～頭は白くても心は青い山脈よ～。

- ・ 社会福祉協議会、振興局、保健師の方々が親身になって活動してくださっており、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・ 困りごとをあまり言えない密着した地域だと思うので、地域の方ではない出向の方など、個人情報について相談しやすい所があればと思います。家の恥は・・・と田舎だけに相談しにくいような気がします。
- ・ 独居や高齢者世帯では、程度の差はあるが何らかの問題を抱えてると思うが、どういう状態から支援を考えればよいか判断が難しい。
- ・ 田舎なので例え困っていようと表に出さない。親戚にも明かさない。いくら近所で親しくても言わない。まして他人はなおさらと思う。
- ・ 困りごとを抱えた世帯からの発信が無ければ、これからの支援が難しい。
- ・ 問7については、〇〇地区全体の把握が十分にできてないので、答えることができません。困っている人は目の前の事が精一杯で支援してもらえる方法がある事まで気が回らないことがほとんどと思われます。小さな地区（集落）ごとにおられる福祉委員さんの力は大きいと考えます。福祉委員さんの見守る力、意識する力が高まることを期待します。
- ・ 見守り活動は大変だとは思いますが、今後とも特に力を入れて行って欲しい。
- ・ 問7①～④「ない」を選択しましたが、「ある」とも言えず、正直「気づけていない」面があるかと思えます。

#### 問14 分析

市内で必要と思う支援について、支援の総合窓口が80件と最も多かった。就労支援・就労体験の場が38件、福祉資金28件となっている。真庭市社協の相談窓口や福祉資金の貸し付けなど、積極的な周知が必要である。

#### 【考察】

地域での福祉委員の理解や周知は5年前に比べ改善できている。また、見守り役としての活動も改善されてはいるが、地域によっては活動が出来ていない地区もあり、引き続き「福祉委員の活動と役割」の周知が必要である。民生委員・児童委員と福祉委員の連携については、地区社協活動や見守り活動の協力依頼、訪問や同行訪問の依頼等があり、連携が取れている地区もあった。しかし、真庭市内全域では不十分であり、民生委員・児童委員と福祉委員や他の委員、真庭市、真庭市社協との連携を望む声もあり、見守りネットワークの構築が必要であると思われる。座談会や助けあい会議の場等で、引き続き民生委員・児童委員と福祉委員等が連携を取れるように呼びかける必要がある。

生活福祉資金について、4割の方が内容まで把握できていない状況となっている。民生委員・児童委員の会議等で、事業周知を行う必要がある。

地域課題把握の調査として、「ひきこもり世帯」60世帯以上、「子育て中で困りごとを抱えている世帯」30世帯、「介護中で困りごとを抱えている世帯」約100世帯、「生活困窮世帯」46世帯という結果が出た。真庭市内に何らかの困りごとを抱えている世帯が潜在的に多く存在すると思われるが、助けあい会議の場ではこれらの課題の抽出が出来ていないのが現状である。助けあい会議でどのようにして困りごとを抱えた世帯を把握するか、手法等の改善が必要である。また、真庭市内に潜在する何らかの困りごとを抱える世帯をどのように支援に結びつけるか、対策が必要と考える。

■第4次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート ④

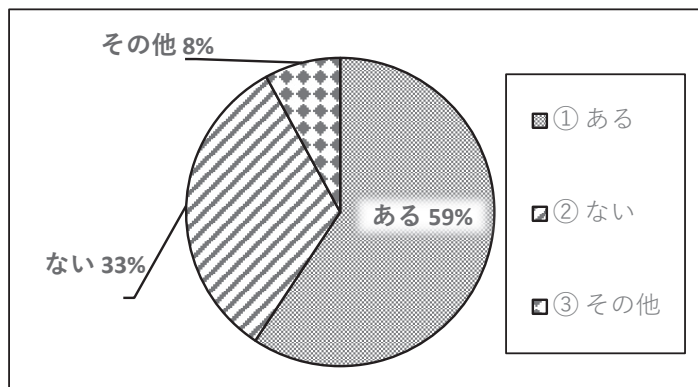
対象 184

回答 113

調査対象 地域助けあい事業協力会員

問1 地域助けあい事業の協力会員として、活動したことがありますか。

	項目	回答数
①	ある	67
②	ない	37
③	その他	9
	計	113



●『その他』項目の回答。

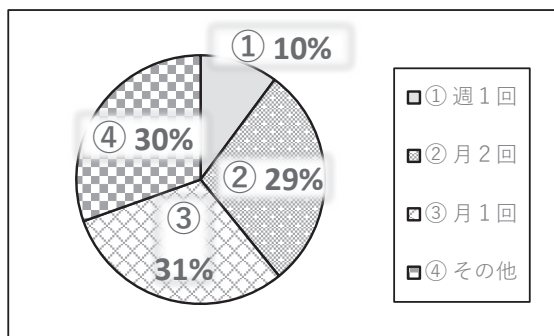
- ・部落役員の時
- ・民生委員をさせていただいた時期
- ・会議のみ出席
- ・会議への参加
- ・どの活動が地域助けあい事業の活動にあたるのかわからない。
- ・今年は特に必要な方はおられませんでした。
- ・以前に活動した
- ・連絡が頂けていないため、特に具体的な活動は無いが、見守り会議に出席し（呼ばれないのに）情報共有と見守りをしている。

分析

協力会員として活動したことがある方は59%であった。「その他」の特記事項に「どの活動が地域助けあい活動にあたるかわからない」等の意見が1件あった。

問2 問1で『ある』と答えられた方に伺います。月の活動回数を教えてください。

	項目	回答数
①	週1回	7
②	月2回	20
③	月1回	21
④	その他	21
	計	67



●『その他』項目の回答。

- ・その都度（3）
- ・年に2回
- ・半年に1回
- ・2ヶ月に1回くらい
- ・以前に月1～2回
- ・隔週1回
- ・週2回位だったと思う
- ・見守り活動近所はほぼ毎日

- ・3カ月に1回 草刈り
- ・年5～6回
- ・最近は3カ月に2回
- ・月に数回
- ・決めていなく気になる時
- ・ふれあい助けあい隊
- ・最近は要望が無い

分析

活動回数は、近所の見守り活動の「ほぼ毎日」から年2回と活動回数の幅が大きい状況であった。

問3 問1であると答えられた方に伺います。活動した感想を教えてください。（複数回答可）

	項目	回答数
①	やりがいを感じた	15
②	ご近所付き合いの延長と感じた	53
③	負担を感じた	5
④	もう少し活動をしたい	8
⑤	その他	37
	計	118

●『その他』項目の回答。

- ・高齢の一人暮らしの人は施設に入所する人が多く、助けあいの必要が少なくなった。
- ・誰もが老いていくので自分も今できる限りの助け合いができればと思い、奉仕の心で皆さんと力を合わせて頑張りました。
- ・助けあい事業の内容で「訪問」の項目についてはチケットをもらうのは気が引ける。（現在それを依頼されてしている訳ではないが、するようになった場合）
- ・高齢で一人住まいの方には特に気を付けている。
- ・クリーンセンターでごみの処分をしている。11月～3月まで月1回お店へ灯油を取りに行く。
- ・買い物の手伝いとか市役所、金融機関へと言われると、車を使いますが、事故のことが心配でいつも悩みます。
- ・高齢者ばかりの地域なので、見守ったり見守られたり特別なことはできません。
- ・1人住まいの方、特に声をかけ話して様子を聞く
- ・やりがいを感じる前に活動をやめたので良くわからない
- ・特になし
- ・助けあい事業の利用者がなぜ増えないのかと思います。
- ・訪問した時は、喜ばれるので良いと思う。
- ・サロン、健康体操等の取り組みに積極的に参加している。
- ・高齢者は、自分の都合も・・・？
- ・しっかりとしている方でしたので負担は無いが、最初訪問するのに、どう訪問するか悩んだ。
- ・お元気な様子とお話を少しでも心掛けることでほっとする。
- ・コロナで多くの方と会えないこと、話が少ない
- ・お互い様
- ・社協から依頼もされましたが、私なりに頼りにされていると思っています。

- ・時々店であったときに話を聴きました。その時役員だったので女性で足が悪い人でした。
- ・8月の大雨の時、各家庭への災害時の避難のお願いに廻り「ありがとう」の声を多くの人から聞き、「よかった」と思い安心度が増し、活動をしてよかった。
- ・独居や高齢者世帯の見守りが必要、近所に住んでいても情報が入りにくい。
- ・会員であるということで他人の家に入りやすかった。話も出来ました。
- ・独居者宅・ご近所で仲々家の管理が不得意な宅等除草剤の散布、草取り等を援助
- ・ちょっとした困りごとよりも、健康面で不安を話すことが多いと感じる。
- ・各々の立場で地元の人同士、絆を深めながら活動したい
- ・声かけをしても「足が悪いから」「迷惑をかけるから」といわれて、サロン等にも参加されない方がおられます。
- ・役として思っても具体的なものが見えないので、立ち話しの感じで済む。負担はない。担当として、決めた人がいなくなった。
- ・サポートが必要な方がおられるので、できる範囲で活動をしています。
- ・まず防災にもつながる、「向こう三軒両隣」を大切にやっていきたいと思います。
- ・私は仕事だと思っていたが、ありがとうの言葉がうれしかった。でも入り込みすぎるとまた、問題なので線引きがむずかしいなと感じました。
- ・色々な連絡事項の通知を家によってすればいいかどうか迷うことがある。
- ・3班に分かれているので、班を超えての付き合いは無いが、この活動により連携が保て
- ・自分にできる事を自分自身の負担にならない程度にしています。
- ・民生委員と連携した方が良い
- ・コロナ禍ということですべての行事や行動に制限がされてしまい、人との接触が非常に難しくなり、なかなかお会いすることができなくなりました。

#### 分析

高齢者への見守り活動は声掛けをして話をするよう心掛けている他、自分のできる範囲での活動として実施している方の意見が多かった。しかし、高齢者以外の活動に関する記載はなかった。初回訪問時、どの様に訪問するか悩んだという意見や、その反対に協力会員という事で家に入りやすかったという意見もあった。その他、民生委員との連携の必要性を感じた協力会員や、コロナで以前の様に会うことが出来なくなった意見もあった。

問4 協力会員としての活動以外で、地域の見守りやお互いさまの活動（ご近所付き合いの延長）をしていますか。

	項目	回答数
①	している	68
②	していない	24
③	わからない	10
④	無回答	11
	計	113



●『具体的な活動』の内容

- ・あまりしていない
- ・手作りのものをあげたり、いただいたり毎日「今日は顔を見たな、夜は電気がともっているな」等意識をもって気を付けあっています。
- ・児童の登校時の声掛け（見守り）、学校そばの歩道のプランター花の水やり、90歳以上の高齢者と時々自宅にてお茶、話、散歩途中での声掛け。
- ・クラブの代表として月1回の活動をしている。輝きエクササイズに参加している。
- ・草取り、病院へ、近所への配りもの
- ・家のまわり、田んぼ等の草刈り
- ・年1回の地域ウォーキング（川西地区社協）、グランドゴルフ大会、交通安全週間等見守り。
- ・地域は比較的困りごとをにかけている方は少ない。しかし、できる範囲で地域の見守りはしているつもりである。
- ・ゴミ出し、話し相手になってあげる
- ・余りできていないと思う。見かけたり、買物の時会えた時には、少し近況をたずねたりはしている。
- ・高齢者女性宅の農作業の手伝い、（耕運、草刈り、消毒など）
- ・買物、病院などの足になっている。
- ・大雨、降雪、異常気象等に独居高齢者に、都度訪問、安否確認と共に避難などについて声掛けをしている。
- ・2カ月に1度のサロンなどがあるが、あまり出席していない。年に1回程度です。
- ・1週間に1回お茶会（10人前後）で楽しく雑談する。
- ・1人暮らし訪問
- ・相手の要望に応じて対応している。押し付けにならないように
- ・家の前に出て私なりにです。男女共同参画まにわ
- ・現在は部落の役員がいますのでなし
- ・井戸端会議ではないが、囲炉裏を囲んでお茶を飲みながら近所の人々に（主に男性）が寄って色々地域の情報のやりとりをしている。
- ・独居高齢者等の体調不良などの得た場合には、訪問して状態の確認を行うことがある
- ・今は、何もしていない。体調が悪いので今は何もできません。
- ・15年間子供達の見守り活動（見守りパトロール隊長として）
- ・認知症キャラバンメイト、傾聴ボランティア、精神保健福祉サポーター、遷喬東地区社協、自治会長、友愛訪問
- ・今はコロナで途切れているが、近所同士お茶を飲み話をしている
- ・散歩を日課としているので、出会う回数や家の様子は気になる。
- ・高齢者から時折り電話があると話を聴いてあげ、たまには出向き、決して固有名詞を出さず一度は大声で笑って別れます。
- ・たのまれて、近所で免許を返納した人（80代）の病院や買い物に連れて行っています。服のほころびやズボンの裾上げ等簡単な縫物。
- ・長年公民館長として、月に一度程度連絡事項があり各家々の事情は詳しいつもりです。
- ・ひとり暮らしの老人など見守り、声掛けをしている。
- ・独居老人宅の訪問
- ・毎日新聞配達をしているので、在宅かどうか確認できます。農産物直売所に手造り品が出品されているのを見ると様子が知れます。

## 分析

見守り活動は散歩や買い物時に出会った時、ボランティア活動や地域行事等を活用し、意識して声掛けによる見守りを実施している傾向がある。日常生活に関する支援内容は、「農作業の手伝い」・「草取り」・「ゴミ出し」・「話し相手」・「買物や病院に連れていく」という記載の他、異常気象時には都度訪問し安否確認や避難の声掛けをしている協力会員もおり、見守りが定着してきたことがわかった。

問5 社会福祉協議会についてご意見をお聞かせください。

- ・特になし（2）
- ・いつも大変にお世話になっています。特にコロナで世の中が、いろいろと状態がよくない時に地域の見守りの構築をよりよく進めていただきありがとうございます。
- ・協力会員と利用者のバランスが保てるように、利用者の増加に繋がる啓発をもっとして欲しい。知らない人も多いのではないかな。  
※共同募金（私どもの町内会はまとめて支払うため（会計は町内会より）個々への赤い羽根は、個人的には不要と思っている。
- ・福祉大会は楽しみにしていましたが、早く再開できるといいですね。
- ・ウォーキング等終えた後楽しかった。ありがとうの声が又来年も行きたいとの声が私にとってうれしくありがたいです。
- ・時代の流れもあるが事業が多い様に思われる。行政と似た様な事業もあるし、もう少し奥深くやった方がよいのでは。
- ・地区社協の活動、運営についてその在り方についての指導をもう少しされたら良いのでは
- ・高齢者の福祉に係る大変重要なお仕事です。私ももうお世話になる年齢ですが、元気なうちは支援していきたいと思っている。多くいる福祉委員の任務の自覚と行動の指導方を再三お願いしたい。
- ・色んな意味で難しい活動であると感じるが、増々頑張ってもらいたい。
- ・現在協力会員として担当している方がお元気なので、あまり見守りはしていないが、広報誌などを届ける時に声掛けだけしている。
- ・地域福祉協議会（地区社協）と協力会員の連携が皆無であるように思える。助けあい会議への参加も見えてこないものがある。
- ・真庭市を良い里に（地域に）市民全員で「お互い様」を思いやれる様に・・・社協だけではできません。
- ・見守ってもらっているという気持ちはありません。組織の中の活動はよくやったださっていると思います。
- ・役員で福祉のことを話合っで良き意見、出来ない意見をきき年1回集会すれば。
- ・社会福祉協議会の仕事の内容をもっとPRすべきでそれによって会員、会費が増えれば良いと思う。
- ・社協は、色んな相談ごとを受入れて頂けると思っているが、市役所の行事と重なっている部分があると思う。でも市の行事が優先される。
- ・仲々会員の協力を肯定的（家族を含め）
- ・私の地域では、福祉委員の任期が1年なので、活動内容がよくわかっていない方が多い。今年福祉委員になられた方で、地区社協のあることすら「知らなかった」と言われた方もあり、活動などもう少し社協でもPRする必要があるのでは

- ・広く頑張っておられると思う。特にいうことはない。
- ・まわりに人がいないので、活動とならない。入院の人は、退院を気に掛けるくらいで何も無い。「話が出来た」それだけで喜んでくださるので、活動するということになるのかな？福祉委員のうちで協力会員がさらにいるのか地域のことがあるのでわからない。
- ・以前は敷居が高く感じていました。ヘルボラの役を受けてからよく相談にのっていただけ身近に感じるようになりました。
- ・全盲の方の外出を含め介助が必要な時があれば連絡ください。
- ・各地区の福祉委員さん会合、行事が少ないので楽でいいといわれてました。真庭市は県下でもコロナが多い。社協は縁の下の力持ちにもなれてない様な。

分析

社協が地域づくりの担い手との関わり（コミュニケーション）が不足しているという意見があった。ちょっとした困りごとに応えるために、地区社協と一緒に進めている地域助けあい事業の周知不足がある。また、社協が実施する事業は行政と似たものがある、社協の取り組みはもう少し奥深くやったほうが良い、地域づくりは市民全員で実施するものであるという意見があった。その他、福祉委員の任務が委員に浸透するよう働きかけを求める意見や、地区社協活動や運営にももう少し指導をした方が良いのではないかという意見もあり、課題を整理する必要がある。

問6 今後も協力会員として登録を継続していただけますか。

	項目	回答数
①	引き続き登録する	67
②	登録をやめたい	35
③	無回答	11
	計	113

分析

66%の協力会員から引き続き登録希望があった。

考察

活動回数は「ほぼ毎日」から「年2回程度」と幅があるが、登録している協力会員の59%が、有料活動は少ないが見守りや生活支援活動をボランティア活動や地域活動など、自身の生活活動の中で負担なく取り組んでいる方が最も多い状況であった。アンケートから、支援対象の中心が高齢者であり、障がい者、貧困家庭、子育て中の世帯などあらゆる世代のニーズ把握が不十分であることが伺える。協力会員の登録の確認を年1回行い、担い手となり活動が継続できるよう研修等で周知の必要があると考察する。

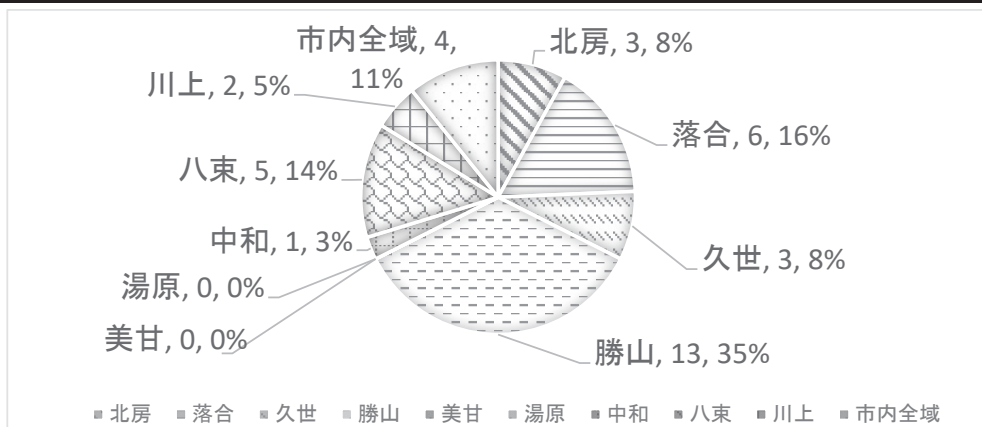
■第4次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート ⑤

対象 60 回答 37

調査対象	①真庭市ボランティア 連絡協議会加入団体 ②真庭市社協各支所が 把握しているボランティア団体
------	---

問1 活動地域はどこですか。

地域	北房	落合	久世	勝山	美甘	湯原	中和	八束	川上	市内全域	合計
回答数	3	6	3	13	0	0	1	5	2	4	37
割合	8%	16%	8%	35%	0%	0%	3%	14%	5%	11%	100%
依頼数	4	8	6	25	1	1	1	7	3	4	60
回答率	75%	75%	50%	52%	0%	0%	100%	71%	67%	100%	62%

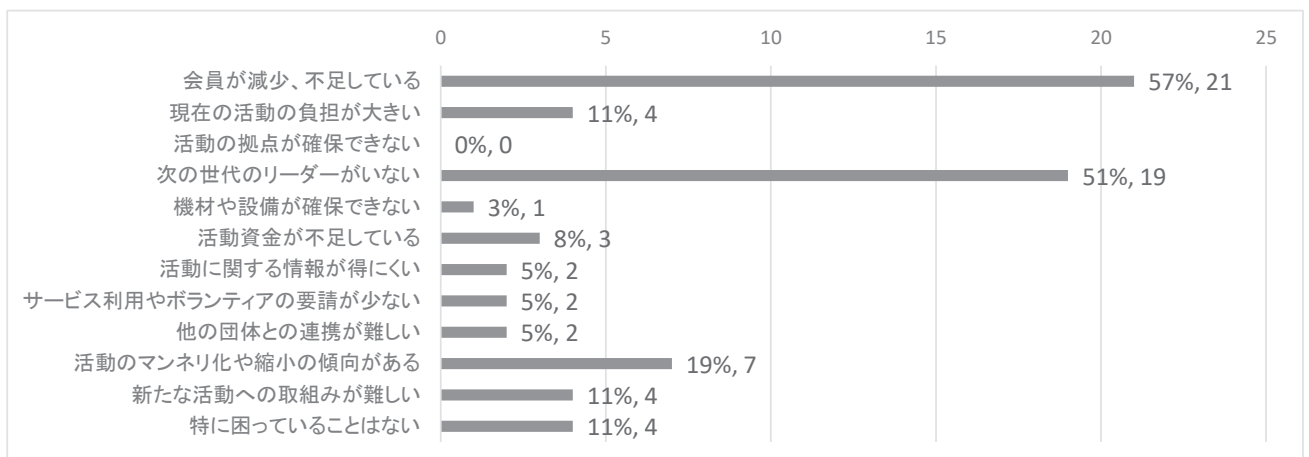


問1 分析

調査依頼をしたボランティア団体数に勝山地域が多い要因は、真庭市ボランティア連絡協議会加入の42団体のうち、24団体57%が勝山地域の団体のためである。

問2 貴団体が活動や組織運営の面で困っていることはありますか。あてはまる項目に☑をつけてください。

項目	会員が減少、不足している	現在の活動の負担が大きい	活動の拠点が確保できない	次の世代のリーダーがいない	機材や設備が確保できない	活動資金が不足している	活動に関する情報が得にくい	サービス利用やボランティアの要請が少ない	他の団体との連携が難しい	活動のマンネリ化や縮小の傾向がある	新たな活動への取組みが難しい	特に困っていることはない
回答数	21	4	0	19	1	3	2	2	2	7	4	4
割合	57%	11%	0%	51%	3%	8%	5%	5%	5%	19%	11%	11%



「その他」の困りごと

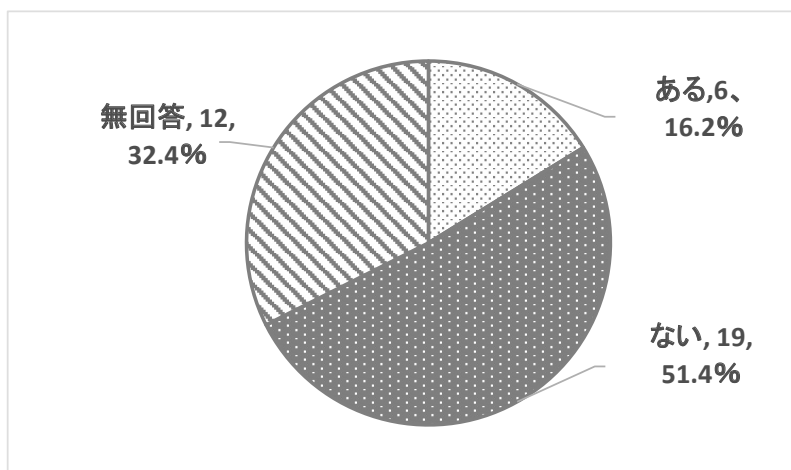
コロナ禍で活動が縮小傾向	5
活動者のモチベーションが上がらない	1

問2 分析

会員の減少や不足、次世代のリーダー不在の課題をもつ団体が50%を超えている。また、活動のマンネリ化、縮小傾向の団体が19%。活動資金に不足があると回答した団体は、ふれあいいいききサロン団体であった。

問3 2の困りごとの解決や改善に向けて、社会福祉協議会の支援がありますか。

項目	ある	ない	無回答
回答数	6	19	12
割合	16.2%	51.4%	32.4%



「ある」の内容

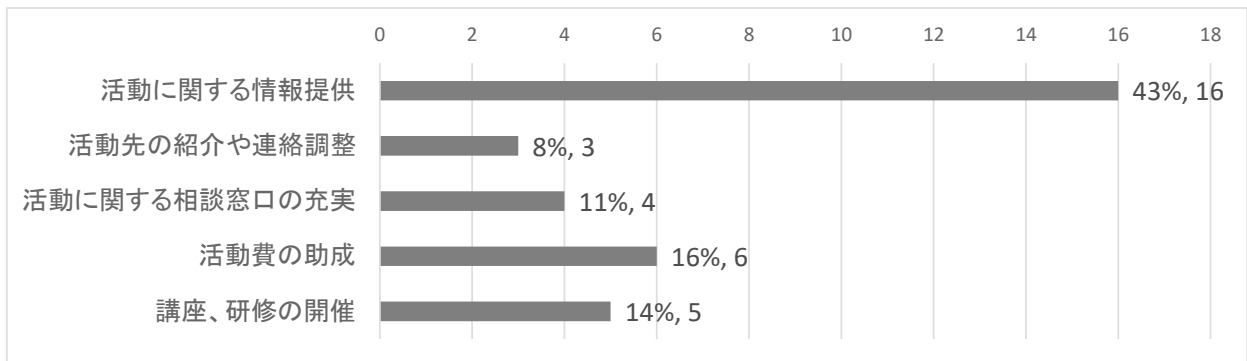
ボランティア保険の加入手続き	1
場所やレクリエーション用具の貸出	2
会員増員の呼びかけ	1
活動相談	1

問3 分析

問2で困りごとがあると回答した団体のうち、社協の支援が「ない」と回答した団体は51%だった。「あり」の回答は、落合3、勝山1、川上1、八束1団体のみであった。社協が団体の困りごとへの相談、支援が出来ていない状況が分かる。

問4 今後、ボランティア活動の継続、活性化の為に必要な支援を教えてください。

項目	活動に関する情報提供	活動先の紹介や連絡調整	活動に関する相談窓口の充実	活動費の助成	講座、研修の開催
回答数	16	3	4	6	5
割合	43%	8%	11%	16%	14%



「その他」必要な支援

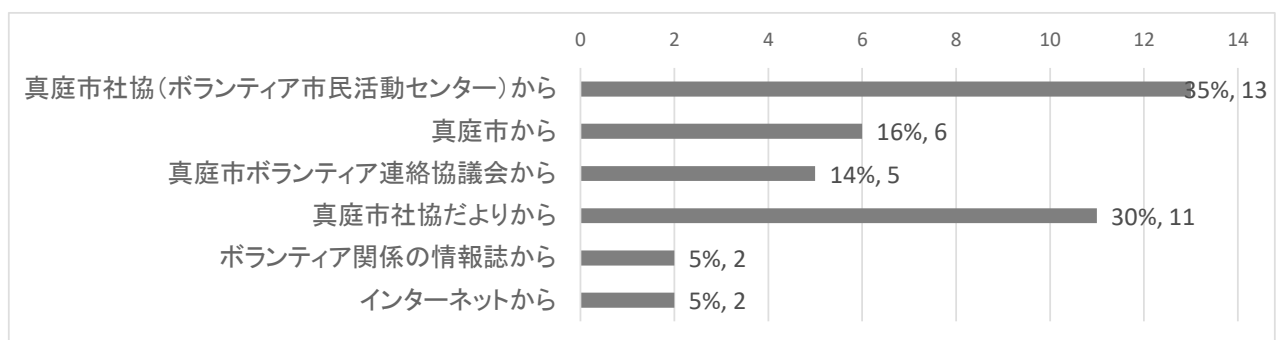
市民への活動PR	5
財源支援	2
関係機関の協力	2

問4 分析

他団体の活動状況等についての情報提供を望む団体が43%と多い。次いで活動費の助成等、財源支援を望んでいる。また、市民へのボランティア活動のPRを望まれている。

問5 ボランティア活動に関する情報は、どのように得られていますか。あてはまるものすべてに☑してください。

項目	真庭市社協(ボランティア市民活動センター)から	真庭市から	真庭市ボランティア連絡協議会から	真庭市社協だよりから	ボランティア関係の情報誌から	インターネットから
回答数	13	6	5	11	2	2
割合	35%	16%	14%	30%	5%	5%



「その他」の情報入手方法

サークル団体から	1
直接	1

問5 分析

社協からボランティア情報を得ている団体の割合が79%と高い。市から情報を得ている団体も16%あり、他機関と連携した情報提供を行うことできめ細かな情報提供ができる。

問6 真庭市社協に求める支援を教えてください。

- ・地域との連携・連帯感の強化を動機付けとして、強いプレゼンを進めて欲しい。
- ・サロンへの参加アピールの強化と、現ボランティア協議会活動情報を楽しくパンフレットにし、申し込み時に同封する
- ・地域で必要とされている方へ活動を紹介して欲しい。
- ・事務的なこと
- ・真庭市ボランティア連絡協議会から脱退したので活動の情報を知らせて欲しい。
- ・ささえあいデイサービスへの社協の車両貸出

#### 問6 分析

ボランティア活動者だけでなく、市民やボランティアによる支援を必要とする方への情報発信、提供（活動の紹介やPR等）が求められている。

#### 考察

会員減少、会員不足、リーダー不在などの団体の活動上の困りごとを持つ団体が多く、平成29年調査時から増加している。団体のこれらの課題に対し社協の相談・支援が出来ていないことが、新たな活動への取り組みの困難さや活動のマンネリ化、縮小の一要因であると考察できる。

ボランティア活動に関する情報は、社協から得ている団体が約8割で、社協との繋がりはあるものの、課題解決に向けた支援を受けるまでの関係性にない団体が8割を超える結果であったことから、団体と社協の関わりは希薄であることが読み取れる。

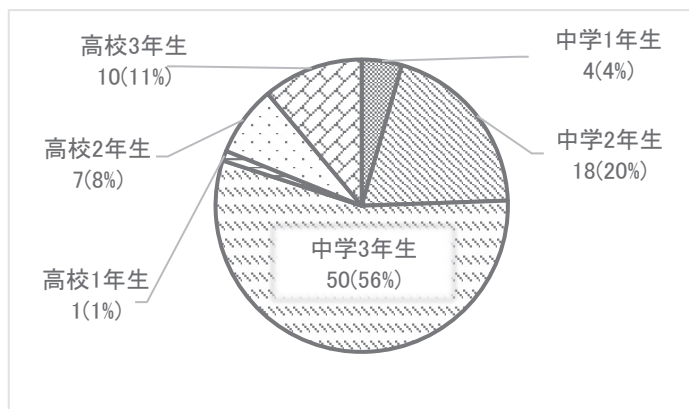
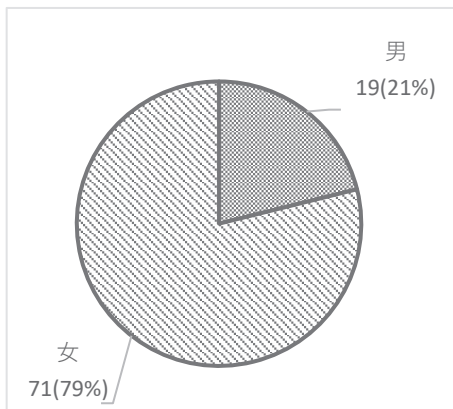
活動の継続、活性化の為に、他団体の活動に関する情報提供を求める団体が約半数を占めていることから、真庭市ボランティア連絡協議会の活動充実が必要である。また、幅広い世代の市民への活動PR、情報発信、活動への参加呼びかけなど、社協ボランティアセンター・ステーション活動の充実が求められていると考察できる。

■第4次地域福祉活動計画策定にかかるヒアリング ⑥

調査対象	①10代(夏のボランティア体験参加者)	対象121	回答90
	②子育て中の親	対象117	回答94

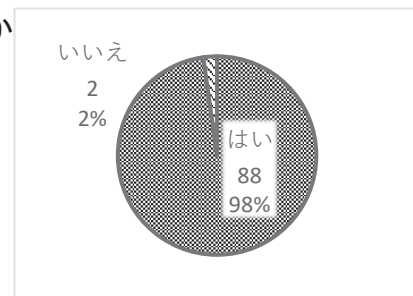
問1 学校・学年・性別を教えてください。

	北房中 学校	落合中 学校	久世中 学校	勝山中 学校	湯原中 学校	蒜山中 学校	中学校 計	真庭高 校落合 校地	勝山高 校	高校 計
1年生	0	0	0	0	2	2	4	0	1	1
男	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1
女	0	0	0	0	1	2	3	0	0	0
2年生	1	2	4	11	0	0	18	2	5	7
男	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0
女	1	2	4	9	0	0	16	2	5	7
3年生	15	16	17	2	0	0	50	2	8	10
男	6	3	4	0	0	0	13	0	2	2
女	9	13	13	2	0	0	37	2	6	8
総計	16	18	21	13	2	2	72	4	14	18



問2 地域でのボランティア活動にも参加してみたいと思いますか

	回答者数	割合
はい	88	98%
いいえ	2	2%
総計	90	100%



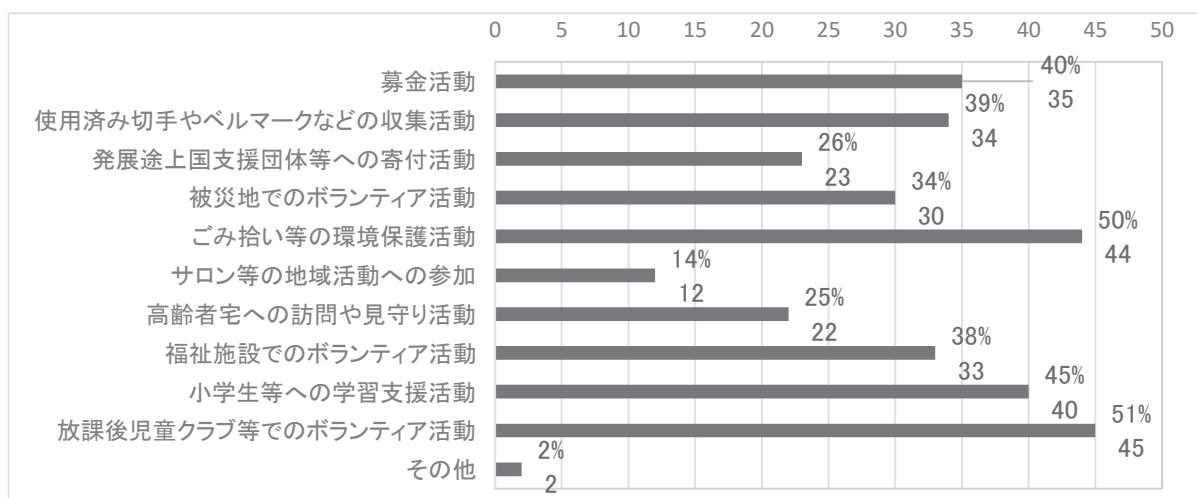
分析

夏のボランティア体験事業の参加者のうち、地域のボランティア活動に参加したいと回答した割合が極めて高い。一方、これまでの真庭市社協の学生を対象としたボランティアに関する活動としては、夏のボランティア体験事業以外には、情報提供や活動の参加呼びかけ、活動調整等の活動を行うことができていない現状がある。



はい:どのようなボランティア活動に参加してみたいですか。

	回答者数	割合
募金活動	35	40%
使用済み切手やベルマークなどの収集活動	34	39%
発展途上国支援団体等への寄付活動	23	26%
被災地でのボランティア活動	30	34%
ごみ拾い等の環境保護活動	44	50%
サロン等の地域活動への参加	12	14%
高齢者宅への訪問や見守り活動	22	25%
福祉施設でのボランティア活動	33	38%
小学生等への学習支援活動	40	45%
放課後児童クラブ等でのボランティア活動	45	51%
その他	2	2%



いいえ:参加したくない(できない)理由を教えてください。

疲れそうなので参加したくないが、選択肢の中にやりたい活動はある (1)  
ひまがない (1)

### 分析

地域でのボランティア活動として、小学生等と関わる活動や環境保護活動について、約半数が参加したいと回答している。次いで、募金や収集活動、福祉施設での活動、被災地での活動などについて、約3割～4割が参加したいと回答しており、割合が高かった。地域での見守り訪問活動やサロン活動に参加したいとの回答もあった。

問3 ボランティア活動に参加するために、どのような支援が必要ですか。

### 主な回答

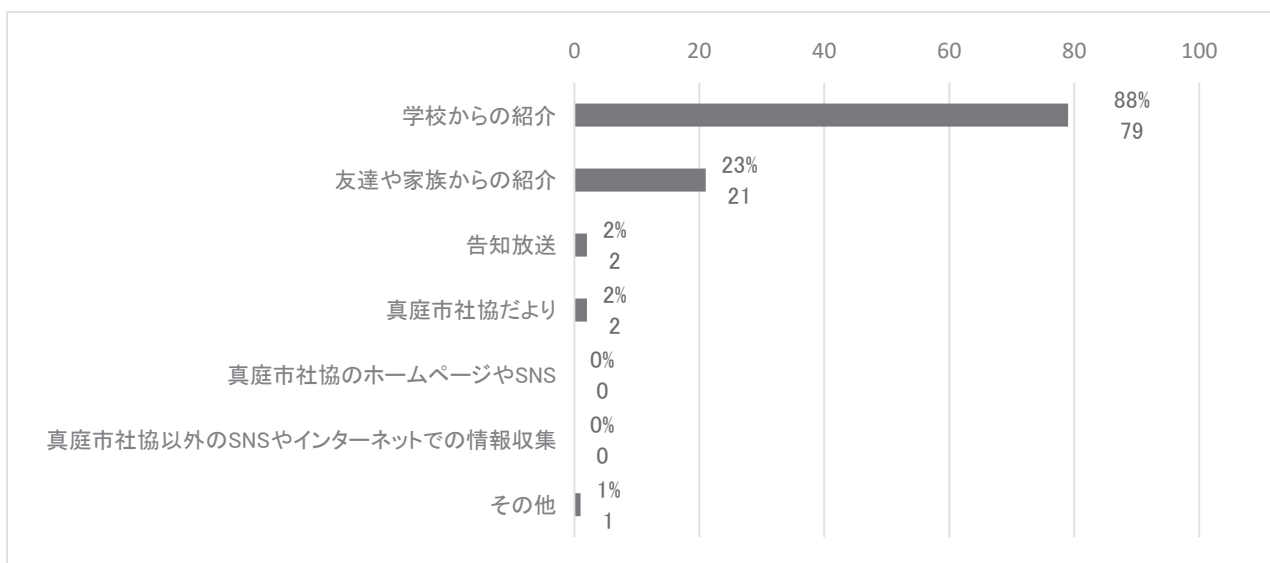
ボランティアに関する情報提供 (13)	分かりやすい説明 (5)
送迎・移動手段の確保 (9)	参加の呼びかけ (4)
資金の支援 (5)	保険加入 (2)
受入先調整 (5)	新型コロナウイルス感染対策 (2)
地域住民からの支援 (5)	弁当・飲料 (2)

### 分析

ボランティア参加の為に必要な支援として、ボランティアに関する情報提供との回答が最も割合が高かった。次いで、送迎等の移動支援、受入先の調整、地域の人や大人の支援、参加呼びかけ、分かりやすい説明等を求める回答の割合が高かった。

問4 夏のボランティア体験やボランティア活動に関する情報はどのように得ていますか。

	回答者数	割合
学校からの紹介	79	88%
友達や家族からの紹介	21	23%
告知放送	2	2%
真庭市社協だより	2	2%
真庭市社協のホームページやSNS	0	0%
真庭市社協以外のSNSやインターネットでの情報収集	0	0%
その他(塾からの紹介)	1	1%

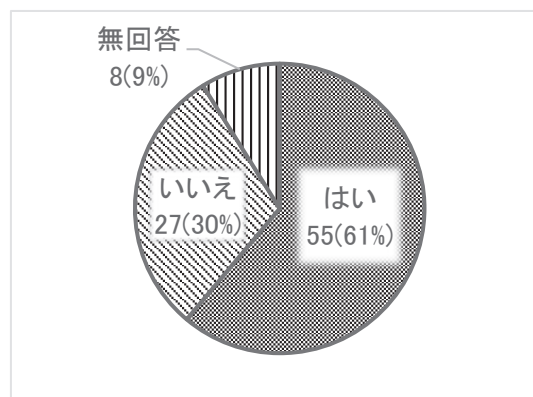


### 分析

夏のボランティア体験やボランティア活動に関する情報の入手先として、約9割が学校からの紹介を挙げており、最も割合が高かった。次いで友達や家族からの紹介を挙げる回答が約2割あった。社協だより、告知放送、真庭市社協のホームページやSNSから情報を得ているとの回答はほとんどなく、これらにより発信した情報は学生にはほぼ届いていない。

問5 親子で参加するボランティア活動があれば、参加してみたいと思いますか。

	回答者数	割合
はい	55	61%
いいえ	27	30%
無回答	8	9%
総計	90	100%



はい:どのようなボランティア活動に参加してみたいですか。

主な回答

ごみ拾い等の環境保護活動 (32)	高齢者支援などの福祉的な活動 (3)
被災地でのボランティア活動 (9)	ベルマーク等の収集活動 (1)
募金活動 (6)	発展途上国への支援活動 (1)
子どもと関わるボランティア活動 (5)	図書館でのボランティア活動 (1)
地域の役に立つ活動 (5)	

いいえ:参加したくない理由を教えてください。また、誰と一緒にであれば参加したいですか。

主な回答

友人と参加したい (10)
親が多忙である・親の体力が心配 (6)
親の支えなしで参加した方が成長できる (6)
親と仲が悪い、一緒に参加したくない (5)

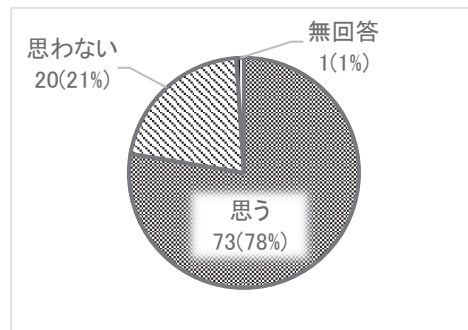
分析

親子で参加するボランティア活動について、約6割が参加したいと回答している。その参加したいボランティア活動の内容としては、ごみ拾い等の環境保護活動との回答が約6割、被災地での活動との回答が約2割、募金活動、幼児・児童に関わる活動、地域の為になる活動との回答が約1割であった。

子育て中の親を対象としたアンケート質問7(53ページ)の集計(対象 117 回答 94)

問7 これから先(子どもさんの成長に伴い)、親子でボランティア活動に参加したいと  
思いますか。

	回答者数	割合
思う	73	78%
思わない	20	21%
無回答	1	1%
総計	94	100%

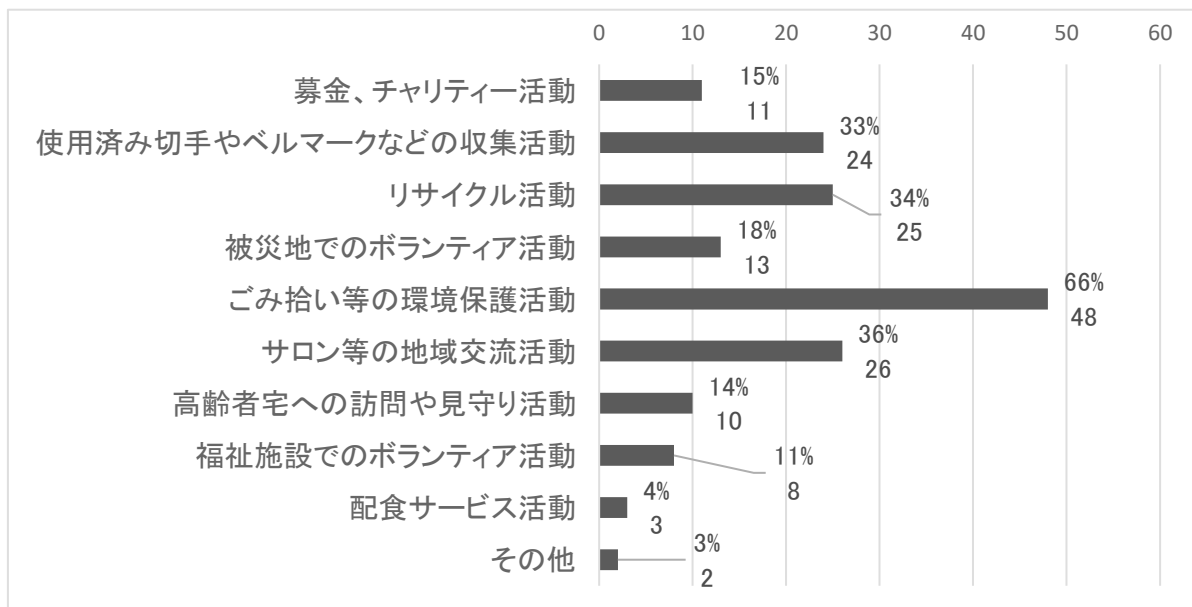


問7-① どのようなボランティア活動に参加してみたいですか。(「思う」回答者)

	回答者数	割合
募金、チャリティー活動	11	15%
使用済み切手やベルマークなどの収集活動	24	33%
リサイクル活動	25	34%
被災地でのボランティア活動	13	18%
ごみ拾い等の環境保護活動	48	66%
サロン等の地域交流活動	26	36%
高齢者宅への訪問や見守り活動	10	14%
福祉施設でのボランティア活動	8	11%
配食サービス活動	3	4%
その他	2	3%

その他

英語やフィリピン語を教える活動
-----------------



### 問7ー② 理由を教えてください。(「思わない」回答者)

#### 主な回答

仕事や家庭のことで忙しい、他のことに時間を使いたい (9)  
 興味がない (2)  
 小学校で実施しているため (1)  
 他の子どもとの交流につながらない (1)  
 親が人見知り (1)

#### 分析

親子でボランティア活動に参加したいと回答した割合は約8割であった。その参加したいボランティア活動の内容としては、約7割の方がごみ拾い等の環境保護活動を挙げており、最も割合が高かった。次いで、サロン等の地域交流活動、リサイクル活動、収集活動等が3～4割であった。親子でボランティア活動に参加したいと思わないとの回答は約2割であり、その理由としては、時間がない、興味がない等の回答があった。  
 多くの方が親子でボランティア活動に参加したいと回答しているが、真庭市社協の活動としては、子育て世帯や幼児期の子どもに向けたボランティア活動の呼びかけや情報提供が出来ていない現状がある。

#### 考察

夏のボランティア体験事業に参加した中学生・高校生のうち、地域でのボランティア活動に参加したいと考えている割合が非常に高い。しかし、夏のボランティア体験事業以外に、学生に対してボランティアに関する情報提供や活動調整等を行うことができていない。夏のボランティア体験事業を継続して社会福祉やボランティア活動についての理解や関心を深める機会を提供するとともに、ボランティアステーション事業のPRやボランティアに関する情報発信、講座開催といった学生と地域のボランティア活動とを結びつける活動が必要である。  
 夏のボランティア体験事業の参加者の約6割、子育て中の親の約7割が親子でのボランティア活動に参加したいと回答している。親子で気軽に取り組めるボランティア活動を企画することや、ふれあいいきいきサロン活動や地区社協活動に学生や子育て世代が参加できるよう働きかけることが必要である。  
 これらにより、地域のボランティア活動の活性化を図り、また、若い世代の地域福祉活動への参画を促すことができるよう活動を行うことが必要である。

第4次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート ⑦

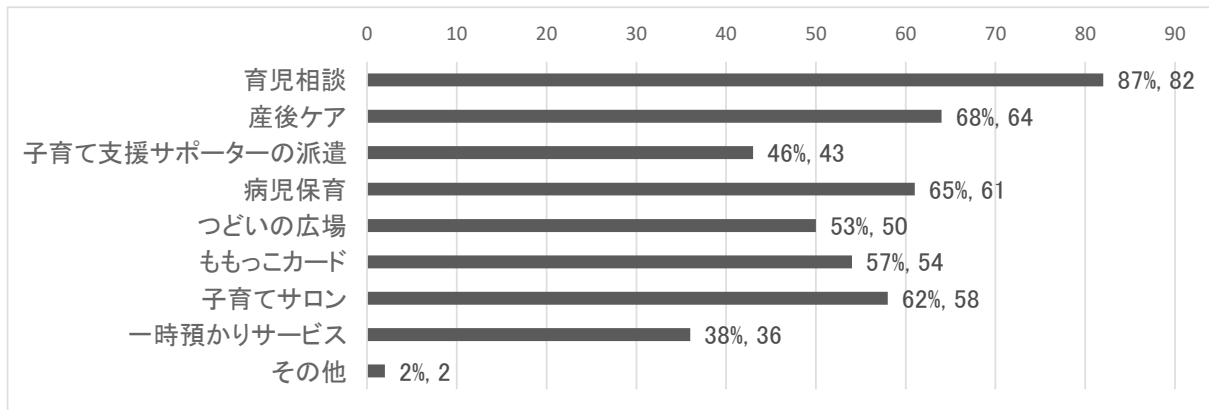
対象 117 回答 94

調査対象	子育て中の親
------	--------

問1 子育て支援の取り組みやサービスで知っているものはありますか。

項目	育児相談	産後ケア	子育て支援サポーターの派遣	病児保育	つどいの広場	ももっこカード	子育てサロン	一時預かりサービス	その他
回答数	82	64	43	61	50	54	58	36	2
割合	87%	68%	46%	65%	53%	57%	62%	38%	2%

その他:よちよち広場、おっぱい相談

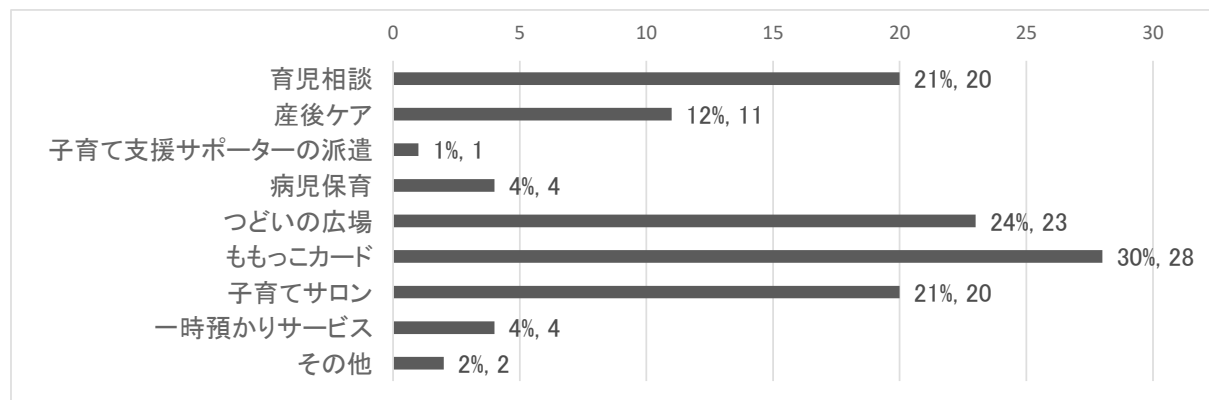


【分析】

サービス認知度は、育児相談が87%と高く、病児保育や産後ケアは約70%。つどいの広場や子育てサロン、ももっこカードは5~60%。子育てサポーターの派遣は46%、一時預かりサービスは38%であった。

問2 利用している(したことがある)ものを教えてください。

項目	育児相談	産後ケア	子育て支援サポーターの派遣	病児保育	つどいの広場	ももっこカード	子育てサロン	一時預かりサービス	その他
回答数	20	11	1	4	23	28	20	4	2
割合	21%	12%	1%	4%	24%	30%	21%	4%	2%

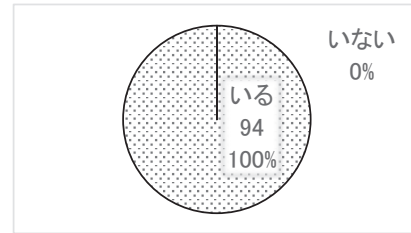


【分析】

つどいの広場か子育てサロンに参加している世帯40%と利用率が最も高い。ももっこカードの利用は30%で約半数は知っているが利用がない状況である。

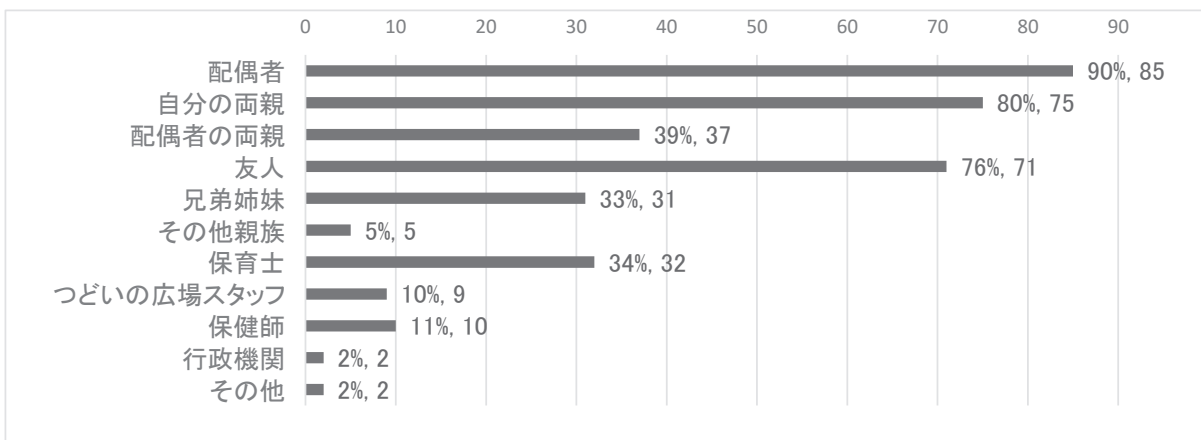
問3 子育てをして困りごとがあった時、相談できる人はいますか。

項目	いる	いない
回答数	94	0
割合	100%	0%



問3-① どなたに相談していますか。(複数回答可)

項目	配偶者	自分の両親	配偶者の両親	友人	兄弟姉妹	その他親族	保育士	つどいの広場スタッフ	保健師	行政機関	その他
回答数	85	75	37	71	31	5	32	9	10	2	2
割合	90%	80%	39%	76%	33%	5%	34%	10%	11%	2%	2%

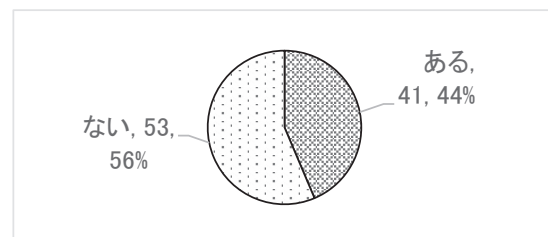


【分析】

子育ての困りごとが相談できる人は、100%がいる。配偶者90%、両親80%、友人76%、配偶者の両親、兄弟姉妹等の親族38~9%保健師やつどいの広場スタッフ10%。

問4 子育てをされていて不安なことや困りごとがありますか。

項目	ある	ない
回答数	41	53
割合	44%	56%



あると答えた人

- ・人間関係(1)
- ・金銭・生活(3)
- ・時間が無い(2)
- ・育児(10)
- ・子どもの育ち(7)
- ・サービスが無いこと(4)

【分析】

不安や困りごとがあるが44%であった。内容については、子どもの育ちについてが30%、育児方法についてが24%、サービスの不足10%(0歳児の預かり保育、教育に関して選択肢の少なさ)であった。経済、生活面に関することが7%、時間が無いが5%であった。

問5 問4の困りごとについてどのように対応されていますか。

- ・相談(夫・友人・保健師#8000)(19)
- ・我慢(1)
- ・ネット検索(4)
- ・放っておく(1)
- ・夫・親族の協力(4)
- ・養育費の支援(1)

**【分析】**

困りごとへの対応は、ほぼ身近な人に相談できている。SNSや電話相談に頼っている方も7%あった他、自分で何とかする方も3%あった。困りごとがある方の内、育児相談を利用した方は24%であった。

問6 安心して子育て支援ができる地域づくりを進めていくためにはどんな支援があれば良いと思いますか。

- ・保育サービスの充実(夜間休日・1次預り・病児等)(12)
- ・障がい児支援(1)
- ・遊び場の充実(13)
- ・親子参加型イベント(2)
- ・集いの場の充実(7)
- ・相談窓口の充実(5)
- ・送迎サービス(1)
- ・おむつ無料収集(1)
- ・ファミサポ(2)
- ・ベビーシッター(1)
- ・夜間医療(1)
- ・訪問サービス(1)
- ・妊婦から産後の教室(1)
- ・子育てにやさしい職場(1)

**【分析】**

望む支援は公園や屋内施設の充実14%。保育・預かりの充実13%。気軽に相談できる相談の充実7%。集える場の充実6%。イベント開催2%。ミルクやおしめ代補助、おしめゴミ無料化、訪問サービスや送迎サービス、夜間医療の充実、障害を持つ子が安心して暮らせる地域づくり、育児と両立できる職場、妊婦の時から産後の育児教室、丁寧な情報提供が各1%。

問7 これから先(子どもさんの成長に伴い)、親子でボランティア活動に参加したいと思いますか。

- 思う(7-①へ)
  思わない(7-②へ)

問7-① どのようなボランティア活動に参加してみたいですか。

- 募金、チャリティー活動  
 使用済み切手やベルマークなどの収集活動  
 リサイクル活動  
 被災地でのボランティア活動  
 ごみ拾い等の環境保護活動  
 サロン等の地域交流活動  
 高齢者宅への訪問や見守り活動  
 福祉施設でのボランティア活動  
 配食サービス活動  
 その他( )

集計は、子育て中の親を対象としたヒアリング欄(48・49ページ)に記載

問7-② 理由を教えてください。

問8 社協に対して求める支援やご意見等をお聞かせください。

- |            |              |
|------------|--------------|
| ・遊び場の充実(1) | ・情報発信の充実(2)  |
| ・環境整備(1)   | ・子育て器具の貸出(1) |
| ・交流事業(1)   | ・子育て支援(2)    |
| ・配食サービス(1) |              |

#### 【分析】

社協に望む支援は子育て支援情報の発信や広報、交流事業に参加しやすい環境づくり、配食サービス(美甘)子育て器具の貸出支援であった。

#### 【考察】

子育て世帯において、各サービスの認知度は高かったが実際にサービスを利用している方は少なかった。不安や困りごとを配偶者や親族など、身近な人に相談できている状況が分かったが、SNSや電話相談などに頼っている方もいた。専門職の中では、保育師へ相談が最も多く、入園前に不安や困りごとを抱えた際、気軽に相談できる専門職、機関の周知が引き続き必要である。

社協が地域助けあい事業で子育て世帯を支援できることについて、子育て世帯へはチラシなどを作成し、つどいの広場や子育てサロン、乳幼児健診の機会に情報発信をしていく他、地域住民へは地区社協と連携した周知を行うことが必要であるとする。また、社協が地区社協やふれあいきいきサロン団体へ、子育て世帯に活動への参加を促す働きかけをしていくことで、子育て世帯が多世代と地域で交流できる環境が充実していくと考える。

一時預かり(1歳未満児)や配食サービスの希望については、現状とニーズ把握ができていない為、調査が必要と考える。



■第4次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート ⑧

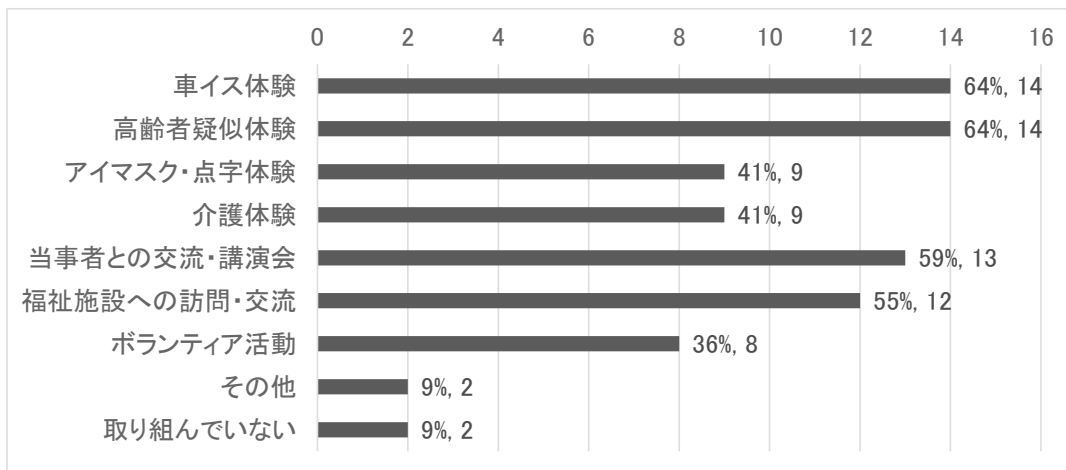
対象 30

回答 22

調査対象	小・中・高等学校 (高等学校は校地ごと)
------	-------------------------

問1 貴校の福祉学習への取り組み内容を教えてください(22校回答あり)

項目	車イス体験	高齢者疑似体験	アイマスク・点字体験	介護体験	当事者との交流・講演会	福祉施設への訪問・交流	ボランティア活動	その他	取り組んでいない
回答数	14	14	9	9	13	12	8	2	2
割合	64%	64%	41%	41%	59%	55%	36%	9%	9%



その他

- ・国語・道徳などと関連させながらの取り組み
- ・今年度はコロナで実践できていません

※その他で回答された手話講座・盲導犬の福祉体験・視覚障害は当事者との交流・講演会  
こども園は福祉施設へ含む、認知症サポーター養成講座は介護体験に含む

分析

体験学習(車イス、高齢者疑似体験)が64%と最も多い。当事者との交流は、講演会や施設訪問により交流の機会を持っている。各校、2~6項目の福祉学習に取り組んでいた。

問2 問1で取り組んでいないを選択した方にお尋ねします

取り組まなかった理由を教えてください

項目	学校の方針	他の分野に取り組んでいる	カリキュラムに余裕がない	担当教員に取り組む余裕がない	近隣に施設等がない	必要な物品がない	どのような内容や方法がいいかわからない	必要ない	その他
回答数	0	0	1	0	0	0	0	0	1
割合	0%	0%	5%	0%	0%	0%	0%	0%	5%

その他:コロナで施設との交流が難しい

分析

福祉教育に取り組んでいない理由は、カリキュラムに余裕がない、コロナ禍により施設との交流が難しいとの回答だった。

以下の質問は福祉学習へ取り組んだを選択した方にお尋ねします

問3 福祉学習に取り組む目的を教えてください

問4 福祉学習で児童・生徒に伝えたいこと、学んでほしいことは何ですか

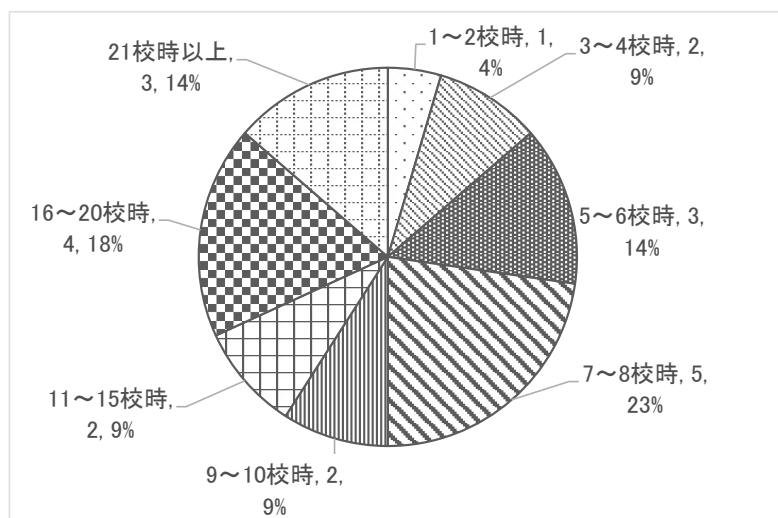
項目	他者理解・共生社会の実現	福祉への関心を持つ	自分ができることを考え、行動する力を持つ	コミュニケーション力、知識・技術の習得	無回答
回答数	20	3	14	3	2
割合	91%	14%	64%	14%	9%

分析

目的は、他者や福祉についての理解が90%、地域で自分ができることを考え行動する力をつける64%、コミュニケーション力や技術の習得14%であった。

問5 取り組んだ校時数を教えてください(事前学習・振り返り学習含む)

項目	1～2校時	3～4校時	5～6校時	7～8校時	9～10校時	11～15校時	16～20校時	21校時以上
回答数	1	2	3	5	2	2	4	3
割合	5%	9%	14%	23%	9%	9%	18%	14%

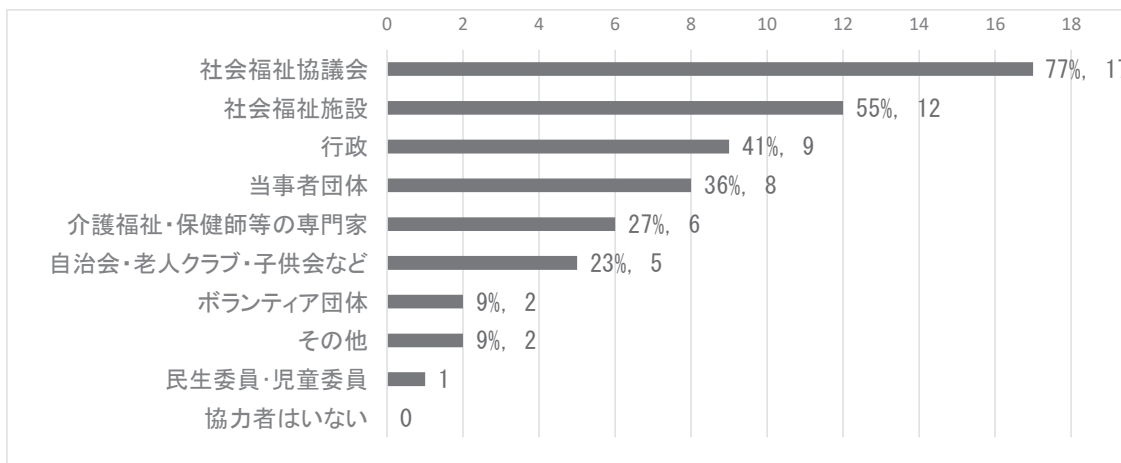


分析

1～4校時 14%、5～10校時 45%、11～20校時 27%、21校時以上14%。項目数と取り組んだ校時数の関係を見ると、1校時～10校時と幅があった。1項目、3校時以上が60%を超えていた。

問6 学校外の協力者はいますか（複数回答可）

項目	社会福祉協議会	社会福祉施設	行政	当事者団体	介護福祉・保健師等の専門家	自治会・老人クラブ・子供会など	ボランティア団体	その他	民生委員・児童委員	協力者はいない
回答数	17	12	9	8	6	5	2	2	1	0
割合	77%	55%	41%	36%	27%	23%	9%	9%	5%	0%



その他

- ・認知症キャラバンメイト
- ・地域の方

※その他で回答された久世手話サークルやまびこ・当事者本人は当事者団体

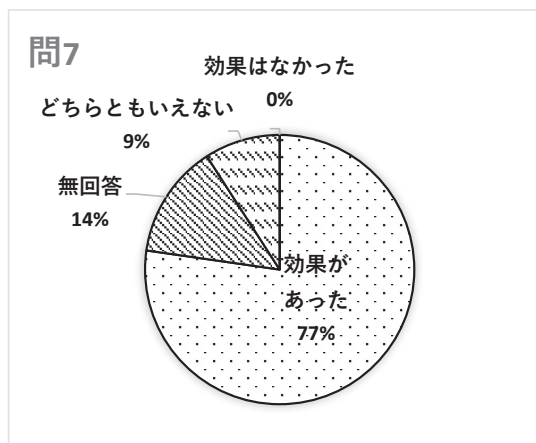
子ども園は社会福祉施設、真庭市包括支援センターは行政へ含んだ

分析

協力者はいないと回答した学校はなく、様々な団体と協力をしながら福祉学習をおこなっている。17校77%の学校が社協を協力者として挙げているが、5校が社協を協力者として認識していない。

問7 福祉学習の効果について

項目	効果があった	無回答	どちらともいえない	効果はなかった
回答数	17	3	2	0
割合	77%	14%	9%	0%



※無回答のうち2校は福祉学習未実施、1校はコロナ禍により今年度の福祉学習未実施

問7-① どのような効果がありましたか

- ・他者理解、相手の立場に立って考えることが出来るようになった(13校)
- ・自分が出来ることを考えられるようになった(7校)
- ・知識や技術が向上した(5校)

問7-② どのような改善が必要と思われますか

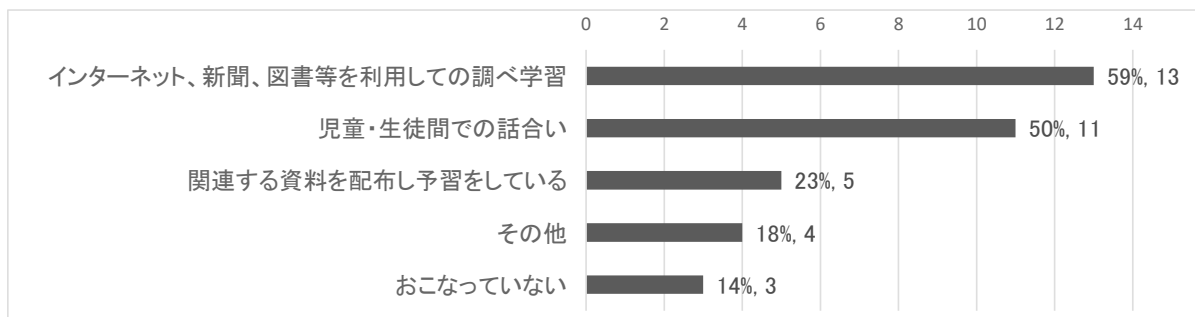
- ・体験が単発的なもので終わることなく、継続的に積み重ねていくことが出来る取り組み(4校)
- ・受け身の学習になりがちなので、児童主体の学習にしていく
- ・新型コロナウイルス対策として、直接の交流が不可能な場合の方法
- ・メンバー・スタッフ等の変更、入れ替えによる継続の困難さ
- ・他の当事者の方とも関わる機会

分析

77%の学校が効果があり、他者理解や自分が出来ることを考えられるようになった、知識や技術が向上したと感じているとの回答であった。  
改善が必要な内容は、児童生徒が主体性を持って学ぶ工夫や、継続性のある学び、コロナ禍での学習の工夫であった。

問8 事前学習をどのようにされましたか

項目	インターネット、新聞、図書等を利用しての調べ学習	児童・生徒間での話し合い	関連する資料を配布し予習をしている	その他	おこなっていない
回答数	13	11	5	4	3
割合	59%	50%	23%	18%	14%



その他

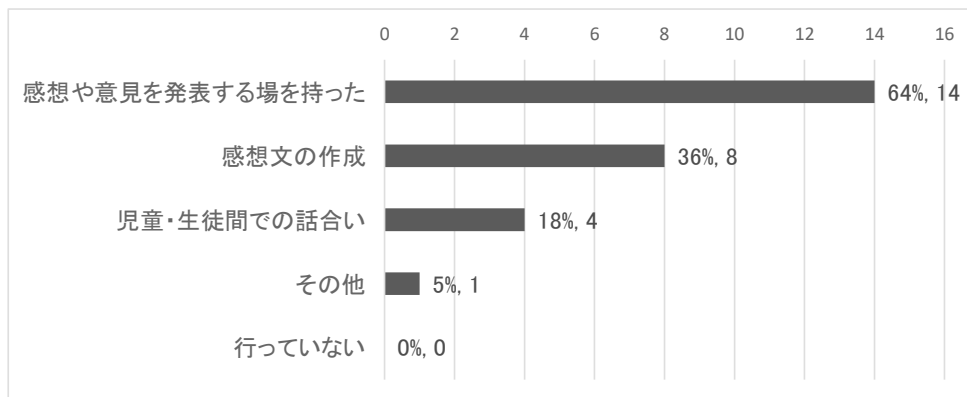
- ・社会の学習と関連付けて
- ・社協の方の話を聞く
- ・体験先との打ち合わせ
- ・お年寄りへの絵本の読み聞かせ、子どもの考えるお年寄りを想起

分析

86%の学校が事前学習をおこなっている。調べ学習や児童・生徒間での話し合いをおこない、児童・生徒が主体性を持ち学習できるよう工夫がされている。ほぼ学校のみで実施され、社協の関わりが無い。

問9 授業の振り返りをどのようにされましたか

項目	感想や意見を発表する場を持った	感想文の作成	児童・生徒間での話し合い	その他	行っていない
回答数	14	8	4	1	0
割合	64%	36%	18%	5%	0%



その他

- ・調べ学習

※その他で回答された壁新聞の作成は感想や意見を発表する場を持ったに含む

分析

回答したすべての学校で事後学習はおこなわれている。感想等の発表64%、感想文の作成36%  
問8と同じく学校のみで実施されることが多く、社協の関わりが無い。

問10 福祉学習の課題として感じていることがあればご記入ください

- ・コロナ禍による交流の在り方(7校)
- ・体験のみで学習が終わる・継続的な学習になりにくい(3校)
- ・学習時間の不足・制約(2校)
- ・学習に必要な道具・教材が無い(2校)
- ・障がいに対する思い込み
- ・教育課程、時間調整、実践へのつながり・深まり、社会全体の希薄化傾向
- ・駅や公共設備が少なく、点字が活用されている場を見る機会が少ない
- ・ノウハウを知る職員がいない
- ・地域の方に直接お話を聞いたり、地域を歩いたりして、お年寄りの気持ちになって考えさせるような活動を取り入れたい
- ・お年寄りと同居など、身近にいろいろな立場の方がいると取り組みやすい
- ・自分事としてとらえにくい
- ・中学校学習指導要綱に位置付けておらず、道徳、総合的な学習の時間、進路学習等を絡めて進めていることから福祉学習として焦点化されていない

分析

コロナ禍での学習31%、継続的な学習になりにくい14%、道具・教材・ノウハウの不足などがあり、社協から主体的、積極的な情報提供が出来ていない。

問11 課題を解決する方法として考えられることがあればご記入ください

- ・オンラインの活用(3校)
- ・外部講師の活用・繰り返しの交流・出前講座(4校)
- ・コーディネーターの設置
- ・机上の学習、体験、交流のサイクルを作る
- ・状況が常に変化しているので臨機応変に対応している
- ・情報提供をこちらから行い関わりを増やす
- ・関連資料(映像等)で学習する
- ・知識としては道徳等でよりよく生きるための素養を育成し、体験によりそれらをより自分事として捉えられるよう指導・支援の充実を図りたい
- ・体験を学習のどこに位置付け、どのように展開していくのかを学校で考えておく必要がある
- ・計画的にカリキュラムを組んでいく

分析

課題解決の方法としてオンライン学習や関連資料での学習、外部講師の活用、出前講座の開催、計画的なカリキュラムの作成が求められている。

問12 今後、どのような福祉学習に取り組みたいですか

- ・福祉施設への訪問・交流、日常的な交流(5校)
- ・体験学習の充実(5校)
- ・地域とつながりのある学習
- ・当事者との交流や講演会
- ・LGBTQなどジェンダーも含め、幅広く人権感覚・視野を広げること
- ・お年寄りとの関わりが出来ること(関わりの中で困っていることを知ることが出来る)
- ・タブレット等を使い、施設を利用されているお年寄りの方と交流したい
- ・困っていることだけでなく楽しんでいることも学習していきたい
- ・自分たちの郷土に関する福祉課題を知り、次世代の担い手として自分たちに何が出来るか、何をすべきかなどを探求させたい
- ・さらに多くの立場の方の生き方に接する機会を増やしたい

分析

当事者や地域、福祉施設とつながる学習など、多くの立場の方との交流できる内容が求められている。体験学習の充実も求められている。

問13 社協に望む支援を教えてください

- ・小学校と社協が協力して取り組んだ事例集があれば話がしやすい
- ・地域・調整との連携をさらに密にして効率的・系統的なプログラムを組んでいきたい
- ・地域型福祉学習を今後とも協力していただきたい
- ・福祉学習への協力と団体等のコーディネート、情報提供
- ・パラスポーツについて指導してもらいたい
- ・福祉学習へ取り組みたいと考えたときに、どのような協力者があるのか、どのようなサービスが供給していただけるか情報が得られ、気軽にお願ひできるシステムがあるとありがたい
- ・学校と一緒に新しいシステムを考えていただく

分析

体験学習への協力、情報提供や団体などとのコーディネート、学校と協力して効率的なプログラムの作成を望まれている。

#### 考察

多くの学校で福祉学習への取り組みがあるが、学校が取組の目的としている「地域で自分ができることを考え行動する力をつける」ことが効果として表れていない。また、体験のみで学習が終わり、児童生徒の主体的な学び、継続した学習になりにくい現状がある。

このことは、社協が体験学習のみの協力にとどまり、事前学習・事後学習への関わりがなく、地域とつながる多様なプログラムの提案が出来ていないことが一要因であると考察できる。

また、福祉学習実施のためのノウハウや道具が無いために実施が困難と感じている学校もあり、社協からのアプローチが不足している。

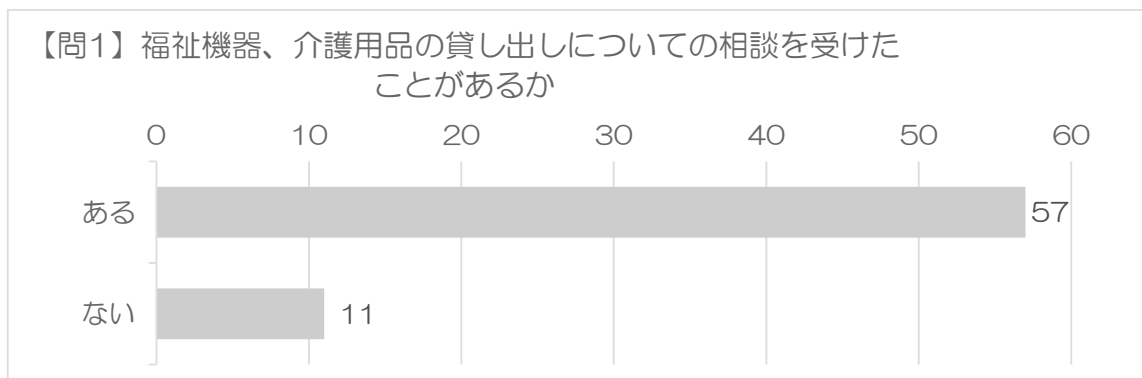
今後の福祉学習の充実のために、知的理解から実践的理解を促し、実践力を身につける学習を提案していく必要がある。社協から学校への積極的な情報提供や児童生徒と地域を結びつけるプログラムの開発が必要である。

第4次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート（福祉機器、介護用品貸出事業）⑨

調査対象	介護支援専門員、病院相談員、保健師			
送付数	103	回収数	77	回収率 74.76 %

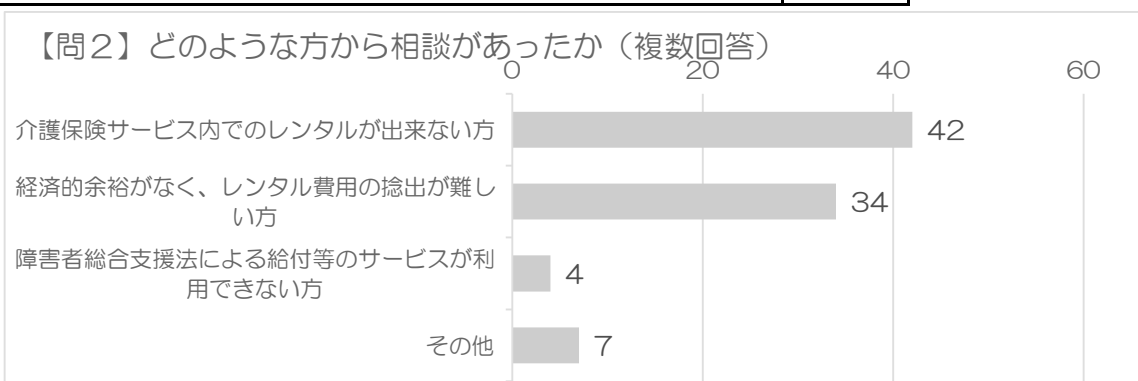
【問1】福祉機器、介護用品の貸し出しについて相談を受けたことがありますか。

ある	57	83.8 %
ない	11	16.2 %
	68	100.0 %



【問2】問1で「ある」と回答された方に伺います。どのような方からの相談でしたか（複数回答）。

介護保険サービス内でのレンタルが出来ない方	42	48.3 %
経済的余裕がなく、レンタル費用の捻出が難しい方	34	39.1 %
障害者総合支援法による給付等のサービスが利用できない方	4	4.6 %
その他	7	8.0 %
	87	100.0 %



「その他（内訳）」

- ・介護保険の認定を受けていない方
- ・ターミナル期で数日しか利用しない方
- ・ケガ、病気で一時的に必要となった方
- ・一時的なレンタル
- ・長い期間ではなく一時的に利用したい方
- ・認定結果が出るまでの利用

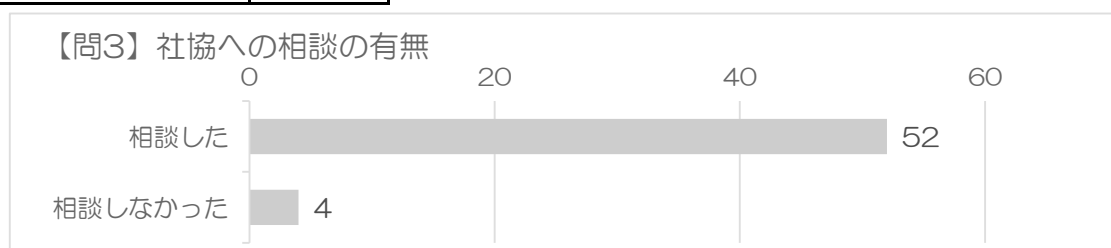


【分析】…問1、問2

回答者の83.8%の方が福祉機器、介護用品の相談を受けたことがあり、その中でも「介護保険サービス内でのレンタルができない方」48.3%、「経済的に余裕がなく、レンタル費用の捻出が難しい方」39.1%の相談が多い状況であった。

【問3】問1であると回答された方に伺います。社協に貸し出しの相談をされましたか。

相談した	52	92.9 %
相談しなかった	4	7.1 %
	56	100.0 %

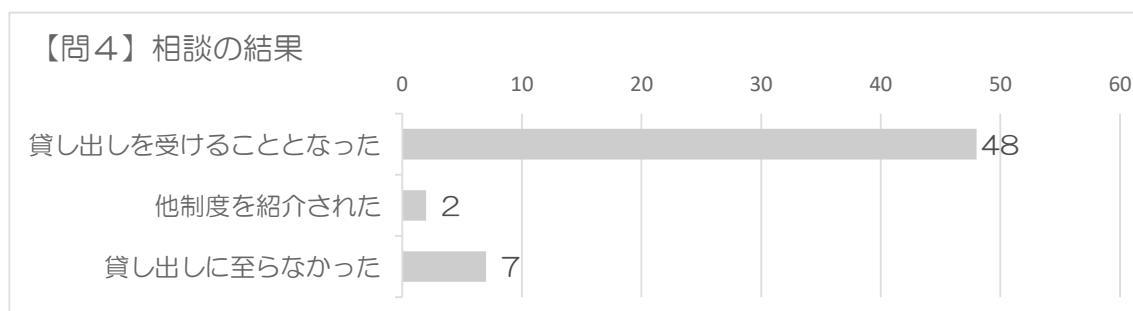


「社協に相談しなかった理由」

- ベッドの機能も良いものを希望されたので結局自費レンタルを利用した
- ケアマネを通して自費で借りても安かったため。保健師
- 知人から譲ってもらえそう等解決したため
- ご家族に一任した

【問4】問3で「相談した」と回答された方に伺います。相談結果はどうなりましたか。

貸し出しを受けることとなった	48	84.2 %
他制度を紹介された	2	3.5 %
貸し出しに至らなかった	7	12.3 %
	57	100.0 %



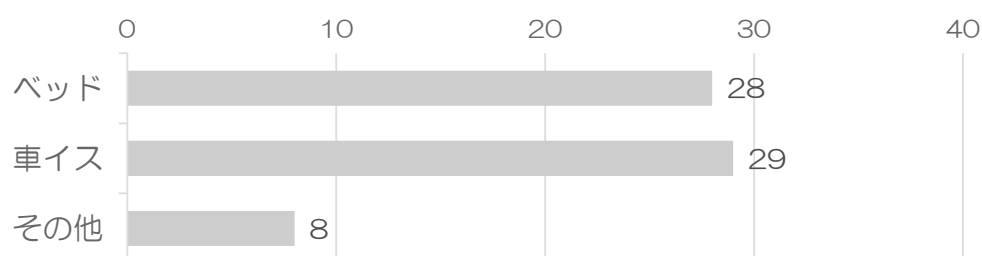
「貸し出しに至らなかった理由」

- 取りに行けない
- 家族でベッドを受け取りにいけないとの理由
- 入院になりベッドを借りる必要がなくなった。
- 全て貸出中で在庫がなかったため
- ベッド希望だったが、空きがなかった
- 病院が試験外泊に必要な用品（ロートイレ）かしてくれた。
- 必要な物がなかった。

「紹介された他制度」

- 介保、福祉用具貸与
- 専門業者からの購入、ホームセンターでの購入

社協から貸し出しを受けたもの（内訳）



「その他（内訳）」

- マットレス
- ポータブルトイレ（2）
- 歩行器
- 杖
- サイドテーブル

【分析】 …問3、問4

貸し出しの相談を受けた92.9%の方が、社協へ貸し出しの相談をしており、相談の結果84.2%が貸し出しを受けることとなっていた。貸し出しに至らなかった理由として、「取りに行けない」「貸し出し中のため在庫がなかった」であった。貸し出しの内訳は、ベッドと車イスが多い状況であった。

【問5】 今後も、福祉機器・介護用品貸出事業は必要と感じますか。

必要と思う	67	100.0 %
必要性を感じない	0	0.0 %
	67	100.0 %

「貸し出しが必要と思う理由」

- 経済的困窮世帯への対応
- 手続きが簡易
- 制度の狭間への対応
- ニーズがある為
- 貸し出しについての窓口があるのがありがたい
- 介護保険を利用している人は貸し出しできないと言われあまり利用はできていないが、レンタル可能？その辺のルールがはっきりわかっていません。
- 広報誌を利用して住民に福祉事業についてアピールしてほしい。
- どのようなものが借りられるのかよく知らないので、自身が事業について理解すれば紹介できるケースも増えてくるのではと思う。
- ゴミを増やさず、資源活用する。
- 快適な生活を送るうえでのサポートになるから。

【分析】 …問5

回答者の全員が必要と思うと回答しており、理由として「経済的困窮世帯」「制度の狭間」への対応、ニーズがあるため必要とある。広報誌を利用して住民に貸し出し事業をアピールしてほしい、何が借りれるかわからないとの声もあり、社協内外へ貸し出しから返却までの流れも共有する必要がある。

【考察】

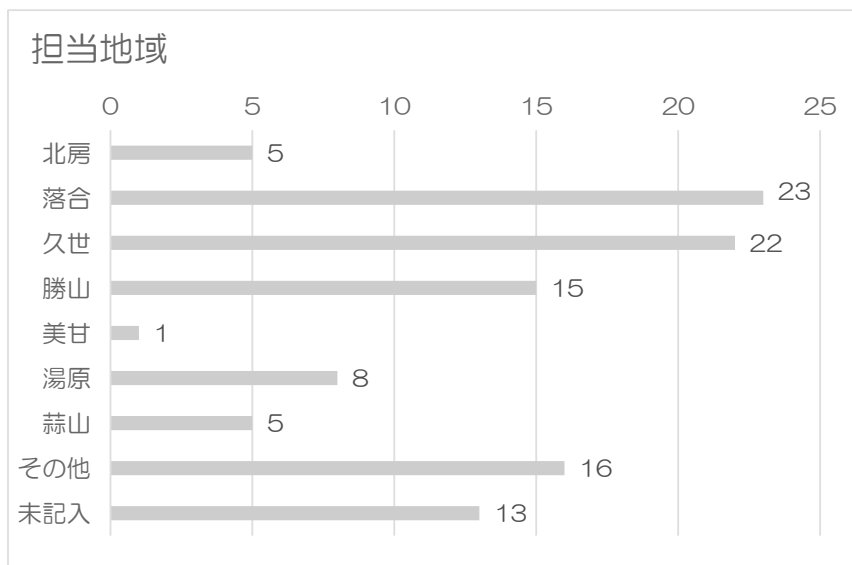
「介護保険サービス内でのレンタルができない方」「経済的に余裕がなく、レンタル費用の捻出が難しい方」等ニーズがあることから、貸し出し事業は続けていく必要がある。車イスとベッドの貸出が多く、各支所で数の配置検討も必要である。社協外での専門職へ相談があった際、貸し出しから返却までの流れを説明できるように共有する必要がある。利用者が取りに行けない場合はシルバー人材センターと連携し、貸し出し物品を運搬できることも社協内外で共有する必要がある。

第4次地域福祉活動計画策定にかかるアンケート（日常生活自立支援事業・法人後見事業）⑩

調査対象	介護支援専門員、病院・施設相談員、保健師			
送付数	165	回収数	113	回収率 68.5 %

担当地域

北房	5	4.6 %
落合	23	21.3 %
久世	22	20.4 %
勝山	15	13.9 %
美甘	1	0.9 %
湯原	8	7.4 %
蒜山	5	4.6 %
その他	16	14.8 %
未記入	13	12.0 %
	108	100.0 %

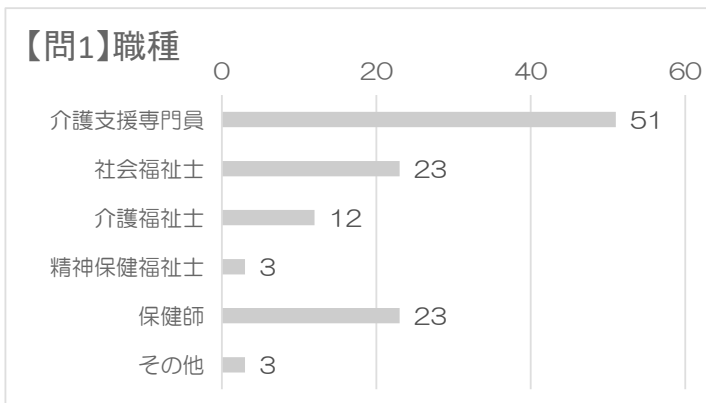


（その他）

- ・全市、全域、市役所本庁、本庁子育て支援課
- ・全市、市外
- ・北房・落合
- ・北房・落合・久世
- ・北房・落合・久世・勝山
- ・久世・勝山・美甘（2）
- ・勝山・美甘
- ・勝山・美甘・湯原・中和・八束・川上
- ・月田

【問1】職種を教えてください（主として業務についているもの）

介護支援専門員	51	44.3 %
社会福祉士	23	20.0 %
介護福祉士	12	10.4 %
精神保健福祉士	3	2.6 %
保健師	23	20.0 %
その他	3	2.6 %
	115	100.0 %



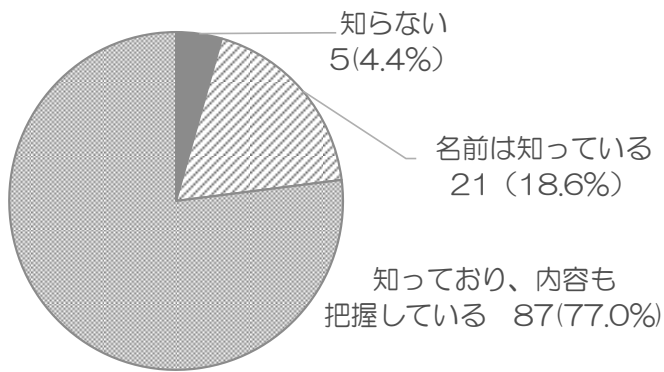
「その他」

- ・社会福祉主事（2）
- ・介護支援専門員、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士

【問2】「日常生活自立支援事業」について知っていますか。

知らない	5	4.4 %
名前は知っている	21	18.6 %
知っており、内容も把握している	87	77.0 %
	113	100.0 %

【問2】「日常生活自立支援事業」について知っていますか。



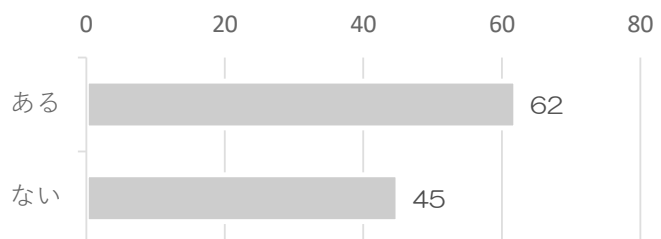
【問1】 【問2】 についての分析

「知っており、内容も把握している」と回答した割合が77%で、専門職への周知は概ねできている。また、保健師の全てが「知っており、内容も把握している」と回答していた。

【問3】 日常生活自立支援事業の利用について相談機関等に相談をしたことがありますか。

ある	62	57.9 %
ない	45	42.1 %
	107	100.0 %

【問3】 相談機関等への相談の有無

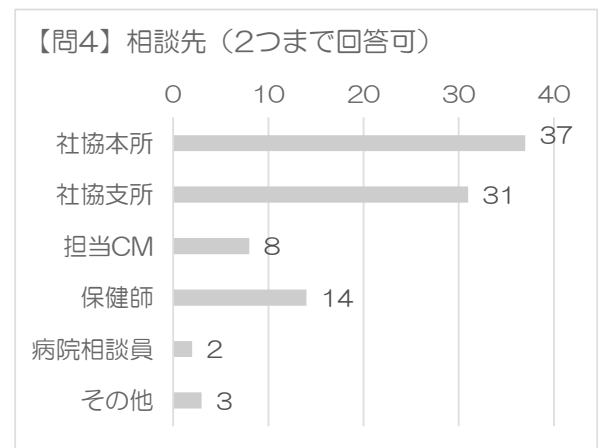


【問3】 についての分析

「ある」の回答は、57.9%と約半数になっており、内訳は、介護支援専門員が40.3%、次いで保健師が33.8%と多くなっていた。

【問4】問3で「ある」と答えた方に伺います。まず、どこに相談しましたか（2つまで回答可）。

真庭市社協本所の担当	37	38.9 %
真庭市社協支所の専門員	31	32.6 %
担当のケアマネジャー	8	8.4 %
保健師	14	14.7 %
病院の相談員	2	2.1 %
その他	3	3.2 %
	95	100.0 %

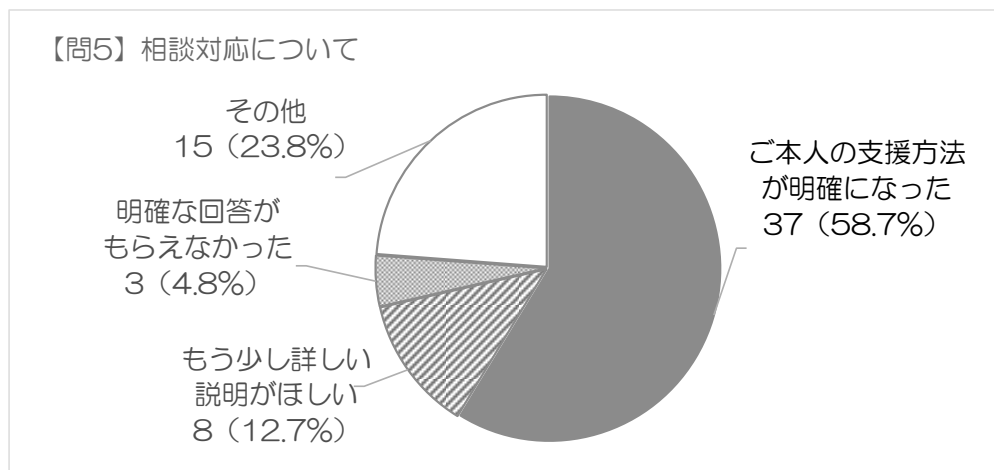


「その他」  
 ・ 包括支援センター（2）                      ・ 社会福祉士

【問5】問3で「ある」と答え、真庭市社協に相談された方に伺います。

相談対応について教えてください。

ご本人の支援方法が明確になった	37	58.7 %
もう少し詳しい説明が欲しい	8	12.7 %
明確な回答がもらえなかった	3	4.8 %
その他	15	23.8 %
	63	100.0 %



(支援方法が明確になった)

- 日援を希望するが却下となった
- 精神疾患の方の場合、受け入れが難しい印象を受けました。

(その他)

- 必要な支援やご本人理解に努めてもらえなかった
- ご本人へ一緒に説明をしてくださった。
- 対象とならなかった
- 満足していない(利用するにも事情によっては拒否をされる事がある)。
- 満足している(丁寧に説明があった)
- 満足している(利用者の相談によくのってくれ、生活状況も理解していただけるととても助かりました)。
- 満足していない(条件が厳しい)
- 満足している(数年以上前のことですが、きちんと対応して頂きました。)
- どちらとも言えない(条件が厳しい)
- どちらとも言えない(ケースによって対応が難しいため)(2)
- 認知機能の低下がみられる人や精神的に不安定な人など断られました。どういう人が対象になるかわからない。

#### 【問4】 【問5】 についての分析

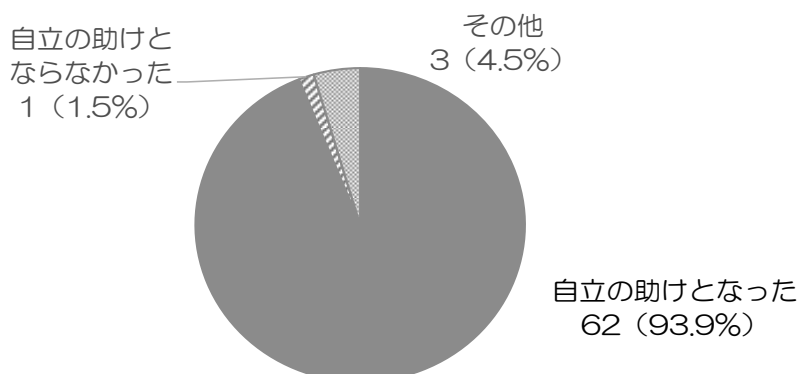
日援の相談先として、「真庭市社協本所の担当」「真庭市社協支所の専門員」と回答した割合は合わせると71.6%。ついで、保健師の割合が多い(14.7%)

社協に相談し、「支援方法が明確になった」と答えたのは59%。「もう少し詳しい話が聞きたい」が12%、「明確な回答がもらえなかった」が5%あり、本所・支所での丁寧な相談対応、職員のより一層の事業理解が必要。

【問6】 ご利用者が日援事業を利用したことがある方に伺います。日常生活自立支援事業を利用されてご本人の日常生活の自立の助けとなりましたか。

自立の助けとなった	62	93.9 %
自立の助けとならなかった	1	1.5 %
その他	3	4.5 %
	66	100.0 %

#### 【問6】 日常生活自立支援事業が自立の助けとなったか



## ■理由

(自立の助けとなった)

- ご本人では金銭管理ができないが、事業を利用することで、ご本人もご家族も安心してすごせたため。また、本人の生活を守っていただいたように思います。
- 金銭管理ができにくい対象者であり、見通しをある程度立てて生活することができた。
- お金の使い方が苦手でいつも困っている方が困りはするが困りが減った。
- 本人自身が買い物をするにしても金額について考えたり、金銭管理の大切さを感じられるようになっていった。
- 支払い忘れに気付いた。必要な手続きにつながった。
- お金の不安が軽減して、生活が安定した
- 認知症など判断能力がしんどくなった場合、日援の支援によって金銭管理、契約などスムーズになり、地域で生活が可能となり大変ありがたかったです。また、その後後見に意向も考えて下さり助かりました。
- 必要な書類の管理や、生活に必要なお金の管理をしてもらえたので、生活がしやすくなった。
- 日援利用に至った方は、在宅生活の支援がふえ自立の助けとなっている。日援利用に至るまでの本人の意思確認や生活保護利用の有無など利用に至るまでのハードルが高く悩むことがある。
- お金の使い方が整理でき、必要な支払いはきちんとできるようになった。
- 認知症で金銭管理ができなかったため。
- 金銭管理等不安に思っていたことが改善された
- 本人が自分の預貯金など大切なものとして考え、無駄遣いもなくなった
- お金の管理の不安がなくなった
- 本人の困りごとが減ったから
- 金銭管理に不安があった方が利用するようになると、日々使えるお金を把握し、その中でやりくりしたり「気付いたら貯金額が増えていた！」ととても喜んでいました。
- 電気光熱費など、生活に直結する定期支払いが安定した事で生活に安心感が生まれた。
- 特性のある方にも丁寧に対応していただいております。本人の納得のいくまで説明をくりかえししてもらっています。定着の意識でかかわっていただいていると感じます。
- 成年後見制度の前段階で本人との契約により金銭、重要書類等の管理をしていただけるのは非常に助かります。
- 決められた金額を毎月支援員さんが持参してくれ見守りなどもしていただいた。
- 確かな機関で支援を受けられることで利用者本人の安心につながった。
- 本人のお金を守ることができた
- 在宅での生活が維持できているから
- 飲酒代が生活費の支払いへまわるようになった
- 支払やご家族との調整など必要な時に動いていただけた。
- 金銭管理ができる様になった。年金の手続き、サービス利用等がスムーズに進んだ。
- 金銭管理などして頂けて助かった。
- 負債状況などを考え支援していただけた。
- 自分が金銭管理ができない人には、代わりにして下さることで独居生活が続けられる人もいる。
- 日常生活動作は何とかできても、金銭管理が難しくなり、銀行等での手続きがよくわからなくなった時事業を活用でき、生活が安定されました。
- 独居の方など、一人では管理ができない人は管理してもらい、生活が成りたった。金銭管理を一緒にしてもらって在宅生活を続けられる方がいる。
- 他のサービスでは補えないところを補える為(2)
- 独居の方の金銭管理は困難な為
- 認知症のあるご利用者の独居生活の継続に大いに助けとなっている。



- ・自分でお金の管理ができなくなった方、親族には…と言う方に公的機関という事で利用可能な場合も多く、安心して生活が送れる。
- ・サービス利用料金の支払い等スムーズに行え、本人にも定期的に現金を渡してもらうことで、食材等の確保、生活用品等の購入等スムーズに行うことができた。
- ・利用料、日用品等の支払い、入院時の手続き
- ・自分ひとりでは管理不足なところを支援してもらえることで、サギなどの防止にもなり、使いすぎ等抑止力になるから、安心して生活維持できる。
- ・金銭管理がうまく行えるようになった  
(自立の助けとならなかった)
- ・事業開始前に入院となった。  
(その他)
- ・支援員は、ただ「お金を下ろすだけ」等淡々とした対応になっており、その利用者を全体で支えようとしてくれない感じがする。

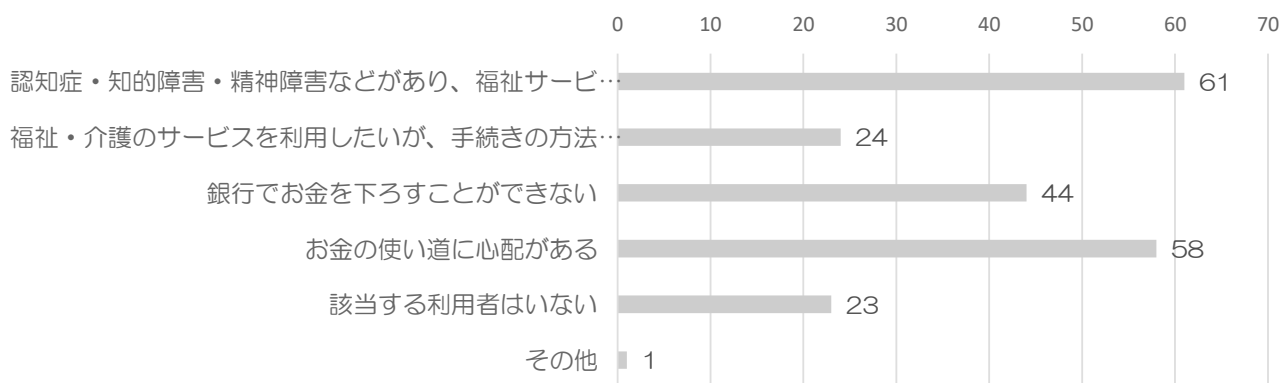
【問6】について考察

・日援事業を利用したことで「自立の助けになった」と93.9%が回答。在宅生活の安定・維持ができていない回答とともに、金銭管理や浪費の抑制が多く挙がっており、福祉サービス利用援助についてサービス内容の充実が求められる。

【問7】個別支援に置いて、次のような課題を抱えている利用者はいますか（複数回答）。

認知症・知的障害・精神障害などがあり、福祉サービスの契約行為に不安がある	61	28.9 %
福祉・介護のサービスを利用したいが、手続きの方法が分からない	24	11.4 %
銀行でお金を下ろすことができない	44	20.9 %
お金の使い道に心配がある	58	27.5 %
該当する利用者はいない	23	10.9 %
その他	1	0.5 %
	211	100.0 %

【問7】個別支援において、次の課題を抱えている方がいるか（複数回答）



(その他)

- ・要介護の方は、成年後見を要する方が多いので

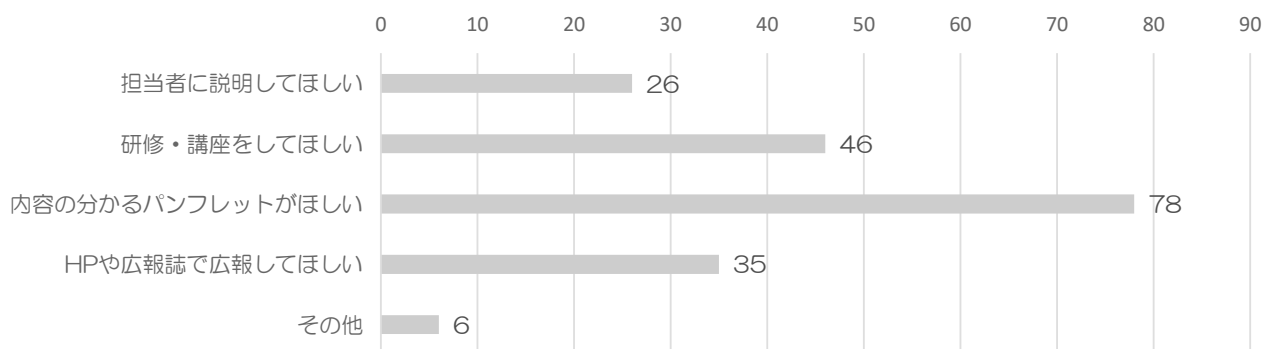
【問7】 についての分析

【問3】 「日常生活自立支援事業の利用について相談機関等に相談をしたことがありますか。」の問いに「ない」と回答した45（42.1%）の内、「認知症・知的障害・精神障害などがあり、福祉サービスの契約行為に不安がある」の回答は30.5%、「銀行でお金を下ろすことができない」「お金の使い道に心配がある」が22.03%、「福祉・介護のサービスを利用したいが、手続きの方法が分からない」が6.7%あった。地域にサービス対象者と思われる人がいるが、サービスにつながっていないことが考えられる。

【問8】 日常生活自立支援事業の広報（周知）について、真庭市社協へ希望することはありますか（複数回答）。

担当者に説明してほしい	26	13.6 %
研修・講座をしてほしい	46	24.1 %
内容の分かるパンフレットがほしい	78	40.8 %
HPや広報誌で広報してほしい	35	18.3 %
その他	6	3.1 %
	191	100.0 %

【問8】 広報についての希望（複数回答）



（その他）

- ・「認知症・知的障害・精神障害などがあり、福祉サービスの契約行為に不安がある」この説明をお願いしたい。どのようなケースならば利用できるのか伺いたい（判断能力に不安を持っている方）
- ・現在利用希望者がいない
- ・You Tubeで説明したり、ネット広告的に広める等。「別のものを見てるときマンガが割り込む」みたいな感じで。
- ・ない
- ・詳しい条件などについて説明が聞きたい。
- ・実現可能な範囲での周知をお願いしたい。

【全体についての考察】

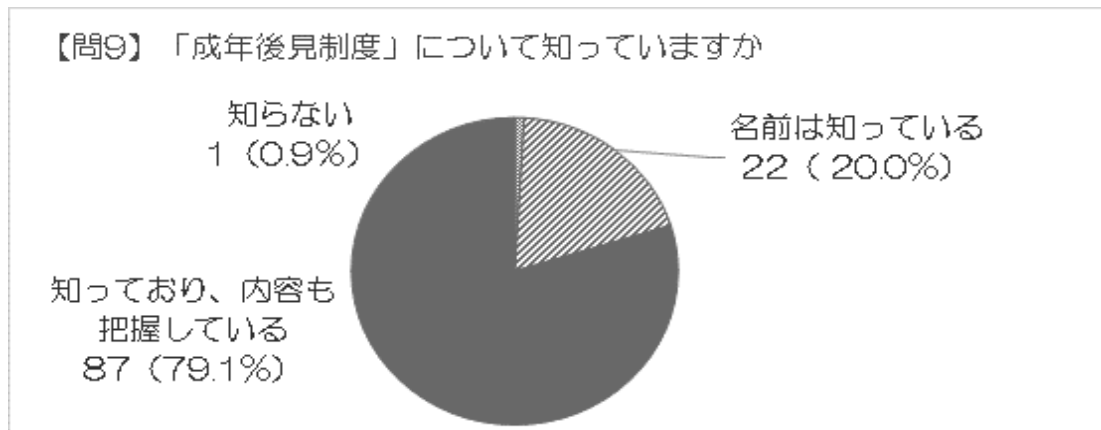
日援事業の周知は概ねできており、相談先が社協であることも周知できている。一方、「相談機関へ相談したことがない」と回答した専門職の中にも事業対象と思われるケースを抱えた方があり、事業内容・利用についての広報が必要となっている。

また、相談対応について「もう少し詳しい説明がほしい」「明確な回答がもらえなかった」との回答があり、職員の丁寧な相談対応とより一層の事業理解が必要であることが分かった。

今後は、社協内外で事業理解を深める研修会等の実施、利用がイメージできる広報（パンフレットの作成）が必要と思われる。

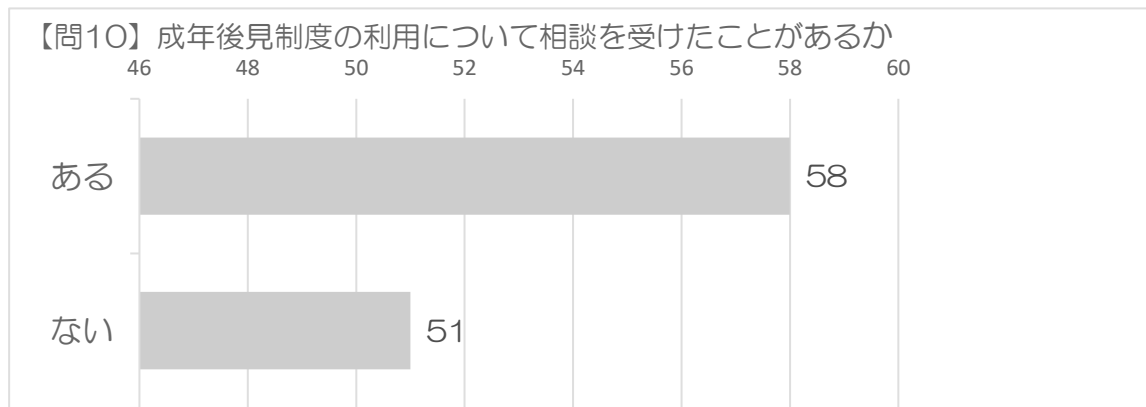
【問9】 「成年後見制度」について知っていますか。

知らない	1	0.9 %
名前は知っている	22	20.0 %
知っており、内容も把握している	87	79.1 %
	110	100.0 %



【問10】 成年後見制度の利用について相談を受けたことがありますか。

ある	58	53.2 %
ない	51	46.8 %
	109	100.0 %



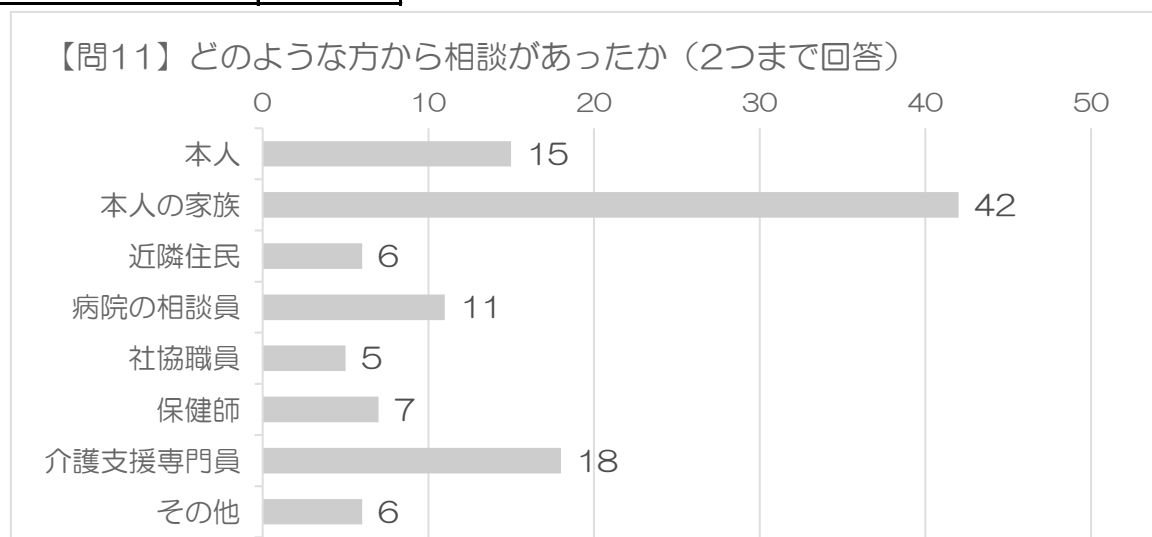
【問9】 【問10】 についての分析

回答者の79.1%の方が、成年後見制度を知っており、専門員に概ね周知されている。また、半数以上の方が成年後見制度の利用について相談を受けた経験があると回答しており必要性が高くなっている。

【問11】問10で「ある」と回答した方に伺います。どのような方から相談がありましたか。多いものを2つまで選んでください。

本人	15	13.6 %
本人の家族	42	38.2 %
近隣住民	6	5.5 %
病院の相談員	11	10.0 %
社協職員	5	4.5 %
保健師	7	6.4 %
介護支援専門員	18	16.4 %
その他	6	5.5 %
	110	100.0 %

(その他)  
 ・民生委員  
 ・地域包括支援センター  
 ・Dr.、NS  
 ・既に利用中で後見人や  
 司法書士、弁護士  
 ・上司

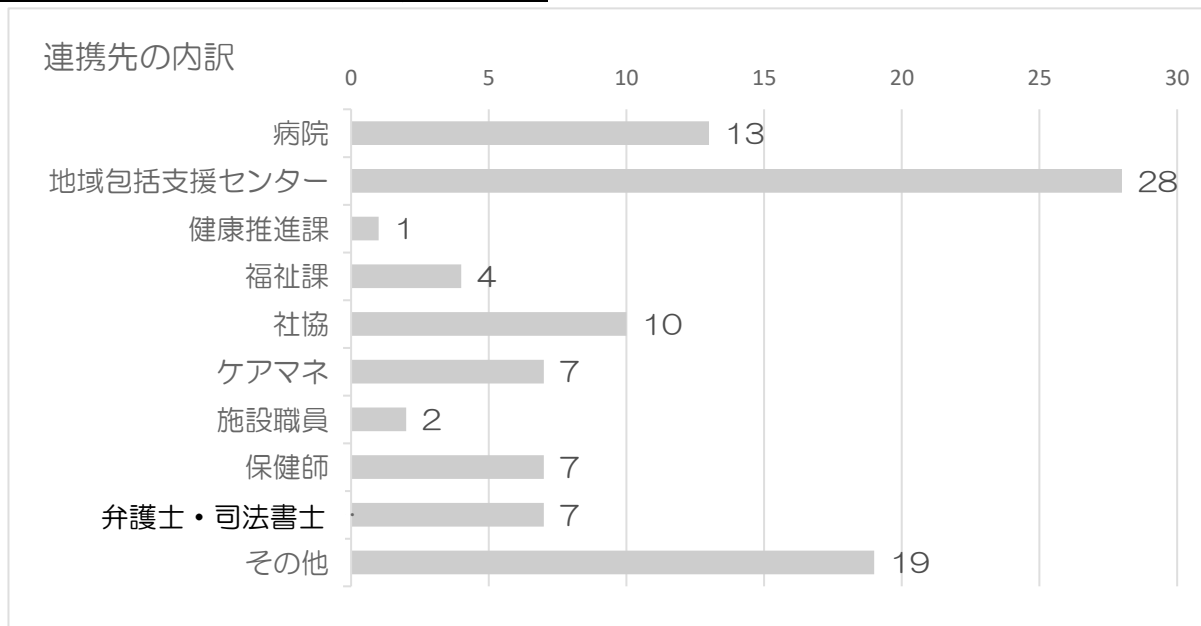


【問12】成年後見制度の利用について相談があった際、他の機関と連携することがありますか。

ある	58	90.6 %
ない	6	9.4 %
	64	100.0 %

どのような機関とどのような連携があるか、具体的にお書きください。

病院	13	13.3 %
地域包括支援センター	28	28.6 %
健康推進課	1	1.0 %
福祉課	4	4.1 %
社協	10	10.2 %
ケアマネ	7	7.1 %
施設職員	2	2.0 %
保健師	7	7.1 %
弁護士・司法書士	7	7.1 %
その他	19	19.4 %
	98	100.0 %



(その他)

- 支援機関、支援者
- 他事業所
- 近隣
- 本人の現状、家族、親族がどれだけいるか、申立してくれる人がいるか、必要性があるか、金銭管理、経済状況の把握、利用できる制度の確認、今後の生活場所をどうするか等々についての検討。
- 市福祉士会
- 家族、本人
- 社福
- NPO後見
- 地域支援センター
- 市、行政職員

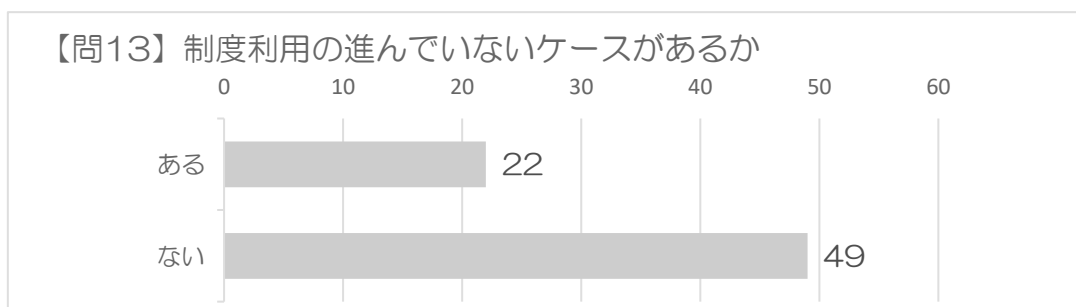
【問11】 【問12】 についての分析

成年後見制度の利用相談について「本人の家族」が38.2%。次いで、「介護支援専門員」16.4%、「本人」13.6%、「病院相談員」10%と本人の状況を理解した福祉関係者からの相談が多くなっている。専門員への制度理解は進んでいるが地域への制度理解の必要性がある。

相談があった際に他の機関と連携することがあるかという問いでは、90.6%の方が「ある」という回答で、連携をとりながら利用を進めている状況であった。連携先としては「地域包括支援センター」が28.6%と最も多い成年後見利用における連携先となっている。

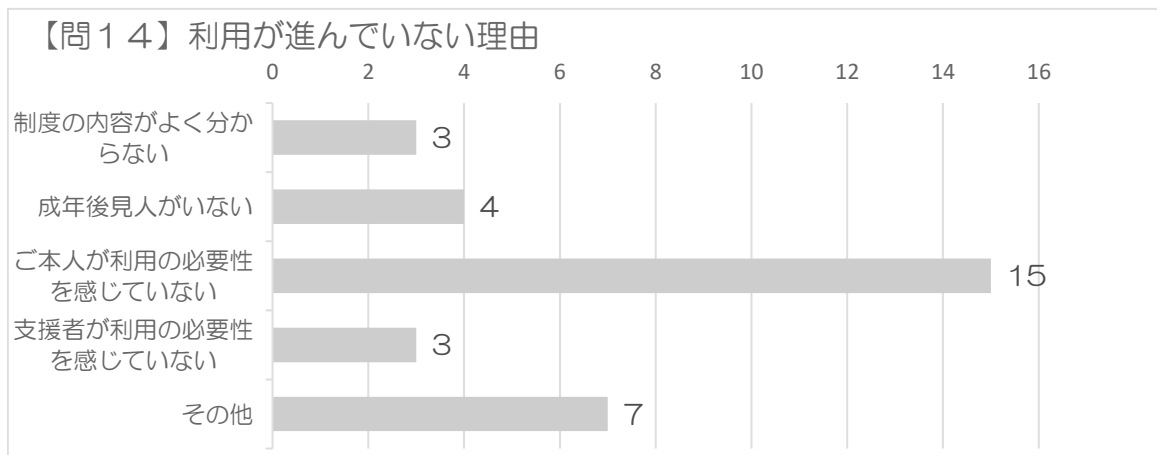
【問13】 成年後見制度の利用を検討しているが、利用が進んでいないケースがありますか。

ある	22	31.0 %
ない	49	69.0 %
	71	100.0 %



【問14】 問13で「ある」と回答した方に伺います。利用が進んでいない理由を教えてください（複数回答）。

制度の内容がよく分からない	3	9.4 %
成年後見人がいない	4	12.5 %
ご本人が利用の必要性を感じていない	15	46.9 %
支援者が利用の必要性を感じていない	3	9.4 %
その他	7	21.9 %
	32	100.0 %

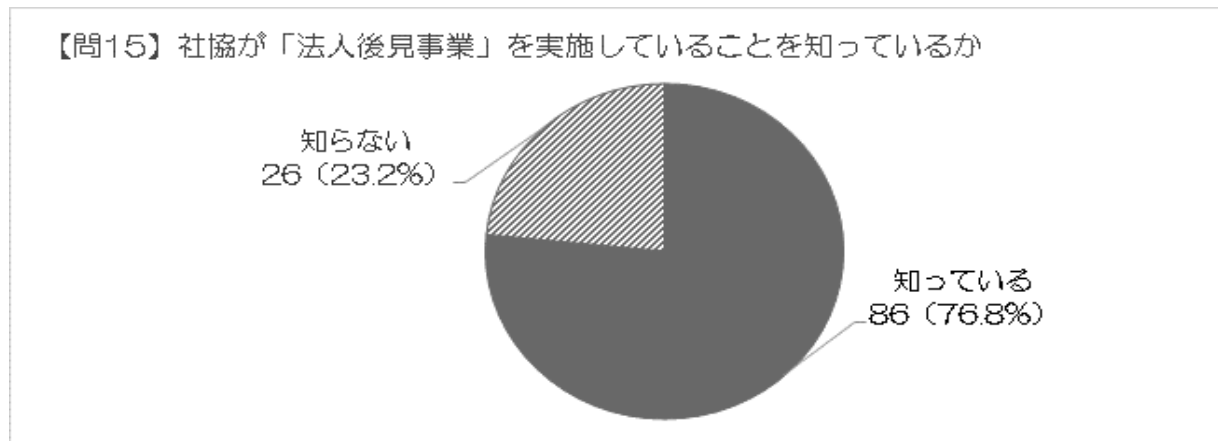


- (その他)
- 家族と連絡がつかない
  - 申立てまでの準備に時間がかかる（市町村申立ての場合）裁判所の決定がいつでるか目途が立たない
  - 手続きに時間がかかる
  - 生活保護
  - こちらは利用したくても審査に通らない
  - 申し立てに時間がかかる、書類が多い

【問13】 【問14】 についての分析  
 成年後見制度の利用が進んでいないケースについて、31.0%の回答が「ある」ということであった。内容としては、「本人が利用の必要性を感じていない」が46.9%、「成年後見人がいない」12.5%、「制度の内容が良くわからない」

【問15】 社協が「法人後見事業」を実施していることを知っていますか。

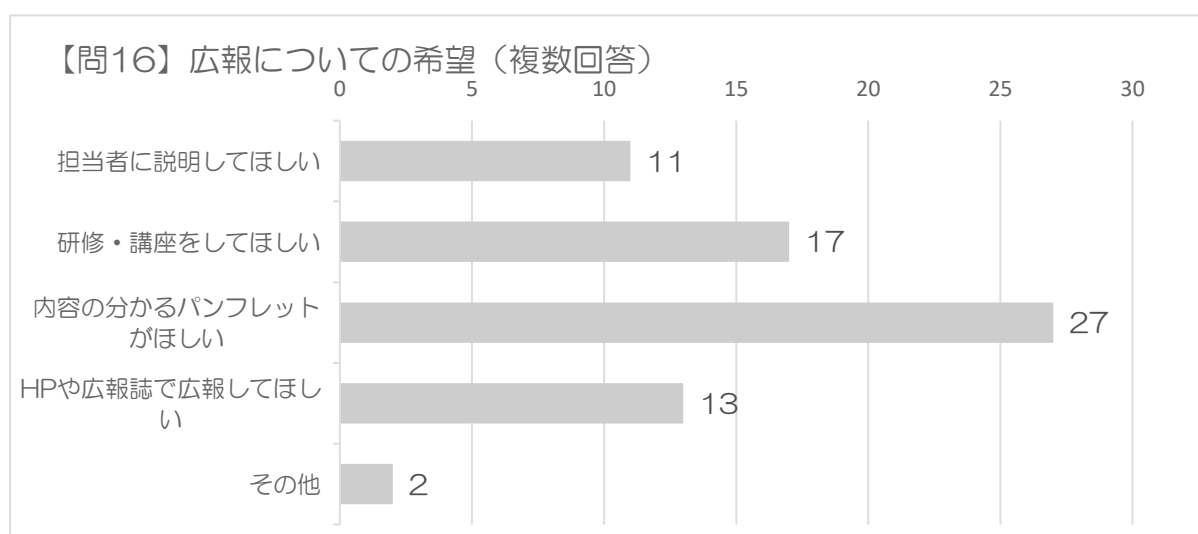
知っている	86	76.8 %
知らない	26	23.2 %
	112	100.0 %





【問16】問15で「知らない」と回答した方に伺います。真庭市社協が実施している「法人後見事業」の広報（周知）について、真庭市社協に希望することがありますか（複数回答）。

担当者に説明してほしい	11	15.7 %
研修・講座をしてほしい	17	24.3 %
内容の分かるパンフレットがほしい	27	38.6 %
HPや広報誌で広報してほしい	13	18.6 %
その他	2	2.9 %
	70	100.0 %



（その他）

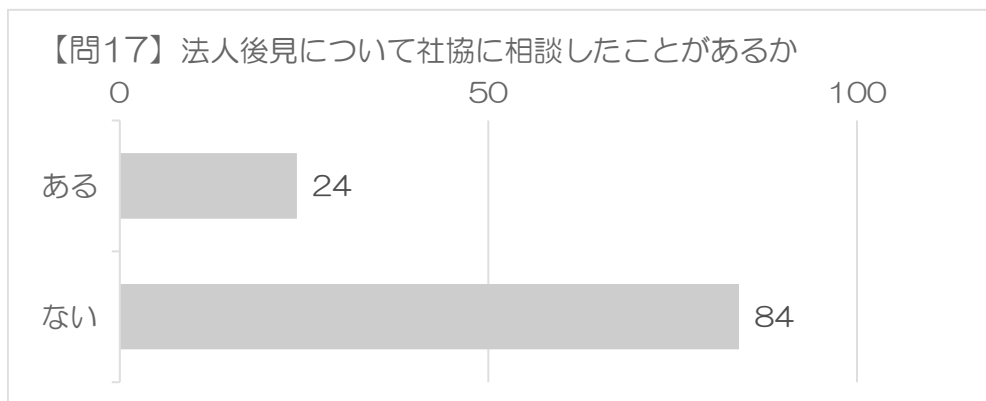
- ・ サービス担当者会議への出席など
- ・ 実現可能な範囲での周知をお願いしたい

#### 【問15】 【問16】 についての分析

真庭市社協が法人後見事業を行っていることについて、76.8%の方が「知っている」という回答であった。知らないと回答した方の希望としては、「内容のわかるパンフレットがほしい」が38.6%、「研修・講座をして欲しい」24.3%だった。真庭市社協独自のパンフレットは作成しているが、専門職に届いていない状況が考えられる。社協内外での事業周知が必要。

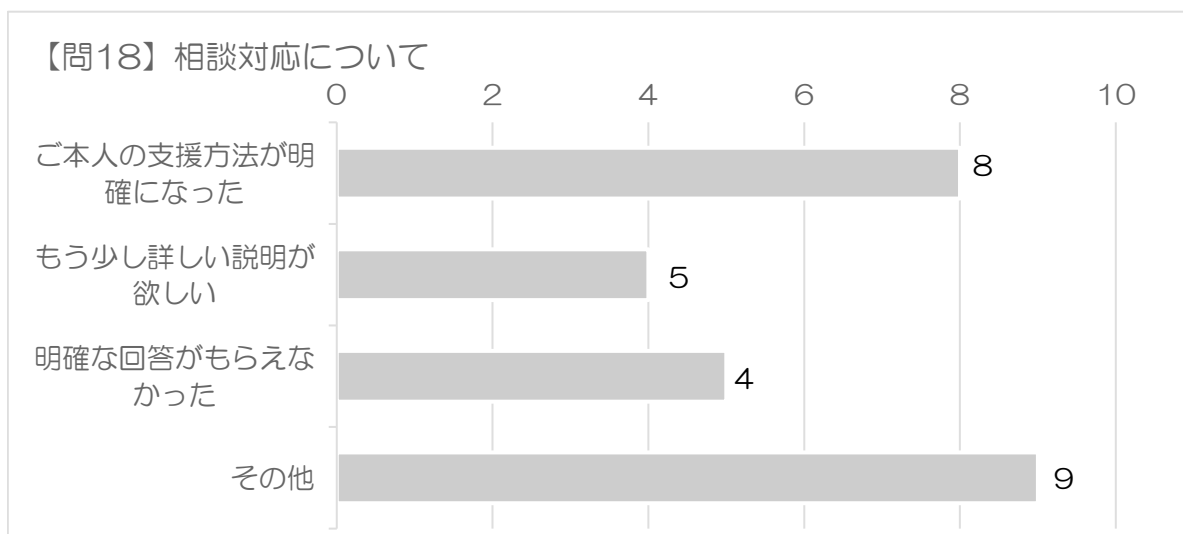
【問17】 真庭市社協に法人後見について相談したことがありますか。

ある	24	22.2 %
ない	84	77.8 %
	108	100.0 %



【問18】 問17で「ある」と回答された方に伺います。相談対応について教えてください。

ご本人の支援方法が明確になった	8	30.8 %
もう少し詳しい説明が欲しい	4	15.4 %
明確な回答がもらえなかった	5	19.2 %
その他	9	34.6 %
	26	100.0 %



(その他)

- 満足している (2)
- 満足している (適切な対応をして頂きました)
- 満足している (対応して下さった)
- 社協の法人後見につながらなかった
- 満足している (行っていることを質問し、答えてもらった)
- 検討会議は行っていただいたが、困難ケースであり、社協で受けることが適当ではないとの回答であった (私の記憶では)
- 保留になっている

### 【問17】 【問18】 についての分析

真庭市社協に法人後見の利用を「相談した事がある」は22.2%であり、「相談したことがない」が77.8%であった。また、法人後見について相談した際に相談者側が受けた感想として、「本人の支援が明確になった」が30.8%、「もう少し詳しい説明が欲しい」「明確な回答がもらえなかった」という回答が34.6%であった。専門職に対して、分かりやすい丁寧な説明や職員の事業理解などが必要である。

### 課題に感じている事

- ご本人が納得して了承されるまで、ていねいな説明をしてもらってもとても時間がかかり、そのあいだに認知症がすすんで自分で契約できなくなることがある。「通帳を持っていかれる」と抵抗感を持たれる。
- ご本人、ご家族の同意がなかなか得られない。
- 制度について、自分自身の知識が不足している。
- 身上監護の役割と市（生保担当者や保健師）が大きく担う事もある。一緒に支援していく立場ではあるが、どこまで後見人の方に関わってもらえるのか悩む。
- 生活背景を含め、支援が困難な対象者の方の成年後見制度の利用がなかなか進まない。
- 精神障がい者の方の後見が見つかりにくい。困難事例については後見が見つかりにくい。
- 支援者間で利用について同じ捉え方で利用者さんに伝えないと伝え方によっては拒否につながることもあるので注意したいです。
- 認知症の相談が多く、金銭管理が困難になっている場合が多い。頼れる親族が不在の人が今後も増える可能性が高く、相談対応のマンパワー不足に不安がある。
- 制度利用がゴールではありませんが、まずは受任者不足に困ります。また、制度利用できてもその後のていねいな関わりが必要な為、マンパワー不足を感じます。
- 真庭市に権利擁護センターが設置されたら、現在のように診断書の準備や成年後見人の候補者を探さなくても良いのではと思っています。1人に対応する時間がかかりかかり、大変苦労しています。
- 申請～利用まで時間がかかる。主治医との温度差（必要性がどうか）
- 身寄りのない高齢者が多く、その人が認知症等になった時の申し立て支援がとても大変です。
- 後見人さんと利用者さんとの間でトラブルがおきることがあり、ケース会議をしていました。
- 本人になかなか必要性についての話が聞いてもらえない。
- 困りのある方だが、受け入れて下さるところがいなくて、困ることがあった。
- 制度が難しく、本人の理解が得られにくい。金銭管理を他者にまかせる事への抵抗が強い。
- 申請書類として必要な主治医の意見書を書いてもらうための受診を拒否され、話が進まない。

- ・自分自身十分な理解ができていない為、必要と思われるが勧めることができない。
- ・成年後見制度に該当するかの判断が難しい。経済状況の把握が難しい。
- ・ハードルが高いイメージがある。金額面で不明なことが多い。
- ・必要と思われる方に限ってお金や通帳への執着が強く、なかなか利用につながる事が難しいように感じます。
- ・診断書の記載は可能であるが、他の準備する書類や精神鑑定などのつなががスムーズに行かないことがある。
- ・家族状況が複雑な方等、家族の把握・理解していただくまでに時間がかかったり、利用決定までに色々な機関との連携が必要不可欠だと感じている。

その他ご意見等ございましたら記入ください。

- ・市内の後見人の数が少なく、困難ケースの相談をする機関がない。岡山県内で後見人の相談をしても「身近なところで後見をしてもらってほしい」と資源が少ないのが課題に感じる。
- ・権利擁護センターの設置をお願いしたいです。
- ・専門資格を有する後見人担当が増えると大変ありがたいです。
- ・入院中の方でも引落ができない家族が都合で対応できないような方で日援が利用できるとうありがたい。（施設入所しないといけないような方）
- ・日常生活自立支援事業が広く使われていれば使い易くなるかも。

#### 【全体としての考察】

成年後見制度の理解について、専門職には制度周知されている一方、利用相談は本人の家族からが多く、地域への事業周知の場が必要である。

また専門職が社協に法人後見の問合せを行った際に、「もう少し詳しい説明が欲しい」、「明確な回答がもらえなかった」という回答が多く、職員の丁寧な相談対応とより一層の事業理解が必要であることが分かった。今後は、社協内外で事業理解を深める場が必要である。

また、意見として「困難ケースを相談する機関がない」、「1人に対応する時間がかかりかかり、大変苦勞している」「権利擁護センターの設置をお願いしたい」など支援者の負担軽減の為にも真庭市に対し、中核機関の必要性について引き続き提言する必要がある。

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑪

対象 令和2年度訪問入浴介護利用者

R2.10月 実施

アンケート送付 18件

アンケート回収 15件 83.3%

①サービスの利用について、職員から丁寧に分かりやすく説明がありましたか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



②職員のあいさつ・言葉づかい・礼儀・態度はいかがですか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



③職員の身だしなみに清潔感がありますか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



④入浴時間や湯温、洗髪や身体の洗い方等に満足していますか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



⑤入浴はゆっくり楽しめていますか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



⑥入浴時にはプライバシーに配慮した方法ができていますか。

満足	14
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	1



⑦訪問入浴時、利用者様宅の家具や備品を傷つけないように安全に配慮されていますか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



⑧職員の介助方法は安全にできていますか。

満足	14
やや満足	1
やや不満	0
不満	0
未回答	0



⑨体調管理や皮膚状態の確認がきちんとできていますか。

満足	14
やや満足	1
やや不満	0
不満	0
未回答	0



⑩職員は親身になって話を聞いてくれますか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



⑪苦情や意見を言った時、職員は適切に対応していますか。

満足	13
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	2



⑫職員は、ご利用者や個人の情報に関する守秘義務を遵守していますか。

満足	14
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	1



⑬訪問入浴介護の利用に満足していますか。

満足	15
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	0



訪問入浴介護 ご自由にご意見・ご感想等をお書きください。

感謝しかありません。
いつも良くしていただきありがとうございます。
いつもお世話になります。その日その時の状態を知らせて下さり早い対応ができて体力も劣っていると思うのですが治りも早いように思います。家族が気が付かない事も多くて本当にたすかっております。これからもよろしくお願いします。
いつもお世話になりありがとうございます。天候の悪い日には恐縮しております。訪問入浴のおかげで居宅介護が長く続いております。
訪問入浴介護がなければ家庭介護が困難になると考えております。大変ありがたいサービスで本人家族ともどもできる限りサービスを利用継続したいと思っております。
いつも親切に優しい声かけをして下さりとてもうれしく思っています。疲労感のないよう手際よく、また3名の職員さんのチームワークにいつも感動しています。
大変よくして下さい満足しています。
大変助かっています。職員さんの体調を心配します。(特に夏場)
在宅介護で訪問入浴は最良の介護です。入浴ができる事は大変ありがとうございます。本人はもとより家族は心より感謝です。
いつも優しく丁寧に入浴して下さいありがとうございます。これからも宜しくお願いします。
自分の部屋で入浴できることに満足と喜びを感じております。本当にありがとうございます。

**【考察】**

市内唯一のサービス事業所であるため、効率良く訪問しなければならない。  
3人1組での訪問であるので、お互いに声をかけあい、また補いながら連携しサービスの提供ができています。人材の確保と資質の向上が必要である。

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑫

対象 令和2年度通所介護利用者

R2.10月 実施

アンケート送付 42件

アンケート回収 31件 73.8%

① 職員のあいさつ・言葉づかい・礼儀・態度はいかがですか

満足	29
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	2



② 送迎中は安心して快適にすごせますか

満足	28
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	3



③ 食事はおいしく楽しめますか

満足	22
やや満足	5
やや不満	1
不満	0
未回答	3



④ 施設内やお風呂・トイレはきちんと清掃してありますか

満足	25
やや満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	4



⑤ 入浴方法・排泄時 介助の仕方はいかがですか

満足	24
やや満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	5



⑥ 入浴はゆっくり楽しめていますか

満足	27
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	4



⑦ 入浴時や排泄時にはプライバシーは配慮されていますか

満足	27
やや満足	0
やや不満	0
不満	0
未回答	4





⑧ レクリエーションの内容や種類には満足していますか

満足	23
やや満足	5
やや不満	0
不満	0
未回答	3



⑨ レクリエーションは機能の維持向上に役立っていると思いますか

満足	22
やや満足	6
やや不満	1
不満	0
未回答	2



⑩ 職員は体調や健康に気を配ってくれていますか

満足	28
やや満足	1
やや不満	0
不満	0
未回答	2



⑪ デイサービスに通うのが楽しみですか

満足	24
やや満足	4
やや不満	0
不満	0
未回答	3



⑫ 職員に聞きたいことなど気軽に話せますか

満足	26
やや満足	1
やや不満	0
不満	0
未回答	4



⑬ 苦情や意見を言った時、職員は適切に対応していますか

満足	24
やや満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	5



⑭ 職員はご利用者や個人の情報に関する守秘義務を遵守していますか

満足	27
やや満足	1
やや不満	0
不満	0
未回答	3



⑮ 通所介護の利用に満足していますか

満足	26
やや満足	2
やや不満	0
不満	0
未回答	3



デイサービスでしてみたいこと・してもらいたいこと等ご自由にご意見・ご感想等をお書きください。

マンゾク
施設内が一部不良 改良要す？
いつもスタッフの皆さまに優しく丁寧に接していただきありがとうございます。お世話になりだしてから、認知症の方も進行していないようで、前より調子が良くなっているようです。皆さまには感謝しております。これからもどうぞ宜しくお願い致します。
特にありません。現状で満足しています。
何もない。
パズルを楽しみにしている。みなさんとのふれあいが楽しみ。
何時も良くしてくださるので、特に希望はありません。
いつもお世話になっています。有難うございます。これからよろしくお願い致します。寒くなりますとお昼の汁物は暖かい方が良いです。これは私個人としてのわがままでしょうか？ すみません。よろしくお願い致します。
デイサービスを楽しみにしております。今迄通りで結構です。今後共よろしくお願い致します。
いつもありがとうございます。
みなさん優しい人達で、すごく感謝して楽しみに来させていただいています。長い間お世話になって、私はいつも感謝です。ありがとうございます。よろしく願いします。いつも一番風呂に入れてもらっています。

【考察】

温泉という特性を持つ通所介護施設として、デイサービスでの活動や入浴がとても助かるという声を頂いているが、それに甘んじることなく、より多くの人に楽しんでもらえるサービス内容の充実化を図りたい。自宅での生活を少しでも長く続けられるよう、身体能力及び生活動作機能の維持に役立つ活動の工夫を行わなければならない。

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑬

対象 令和2年度訪問介護利用者

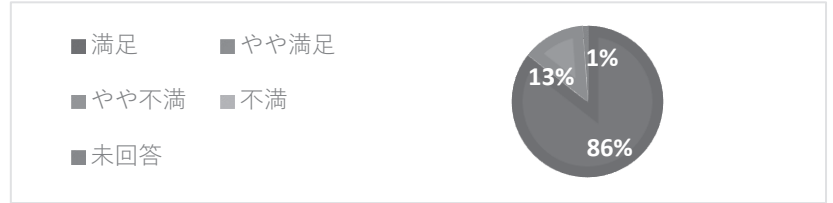
R2.10月 実施

アンケート送付 103件

アンケート回収 90件 87.3%

① ヘルパーの利用について、職員から丁寧にわかりやすく説明がありましたか。

満足	77
やや満足	12
やや不満	0
不満	0
未回答	1



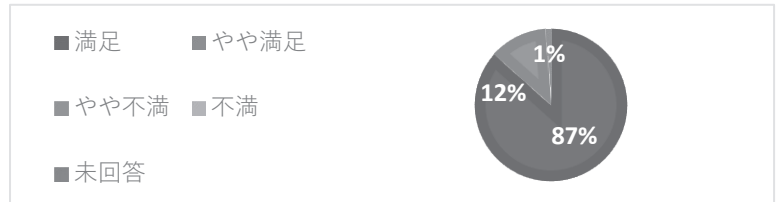
② 訪問介護計画書はご利用者の日常生活全般の状況及び、希望を踏まえ作成されていますか。

満足	74
やや満足	15
やや不満	1
不満	0
未回答	0



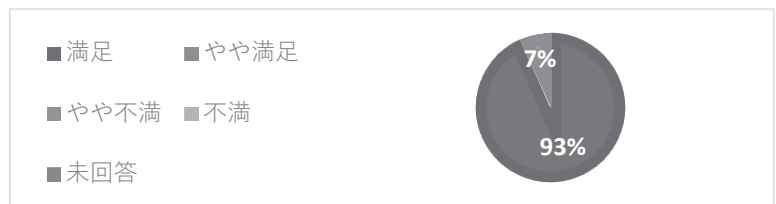
③ 訪問時間(来る時間・帰る時間)を守っていますか。

満足	78
やや満足	11
やや不満	1
不満	0
未回答	0



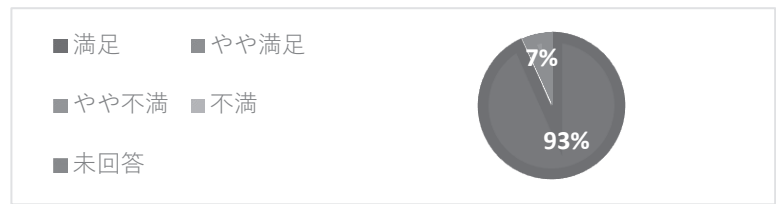
④ サービス提供時間中は的確な動きをしていますか。

満足	84
やや満足	6
やや不満	0
不満	0
未回答	0



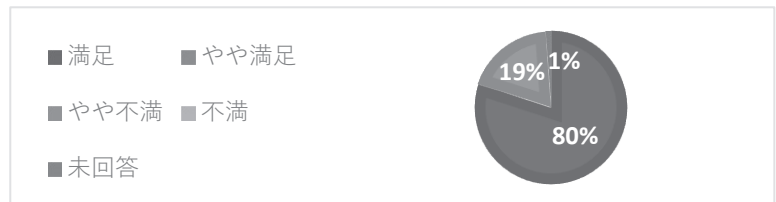
⑤ 言葉づかい、服装、その他エチケットに配慮していると思いますか。

満足	84
やや満足	6
やや不満	0
不満	0
未回答	0



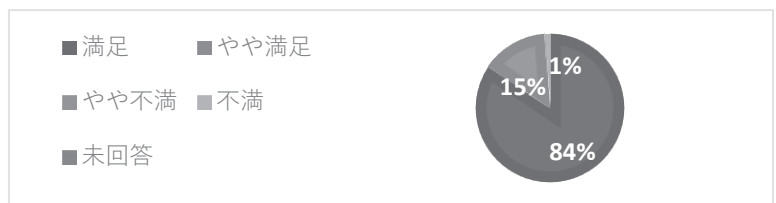
⑥ サービスの質(ヘルパーの技術)はいかがですか。

満足	72
やや満足	17
やや不満	0
不満	0
未回答	1



⑦ ご利用者やご家族の希望に沿った支援が行われていますか。

満足	76
やや満足	13
やや不満	0
不満	1
未回答	0



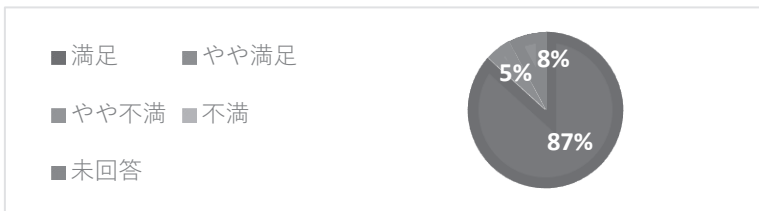
⑧ ご利用者や家族の思いを汲み取って支援していると思いますか。

満足	70
やや満足	14
やや不満	1
不満	0
未回答	5



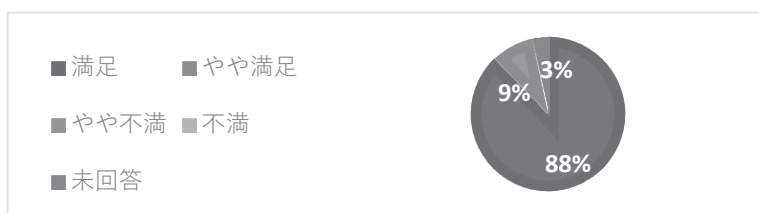
⑨ 掃除機や洗濯機などの家電製品や家具、食器など丁寧に取扱っていますか。

満足	78
やや満足	5
やや不満	0
不満	0
未回答	7



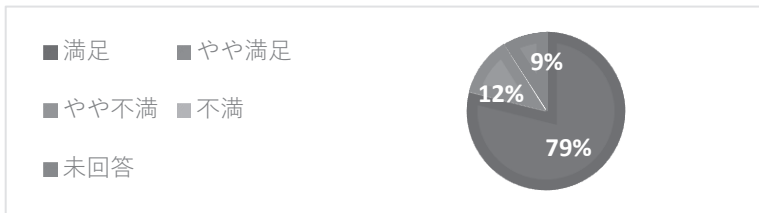
⑩ ヘルパーは家の物を使って、元の場所にきちんと戻して後片付けもきちんと行っていますか。

満足	79
やや満足	8
やや不満	0
不満	0
未回答	3



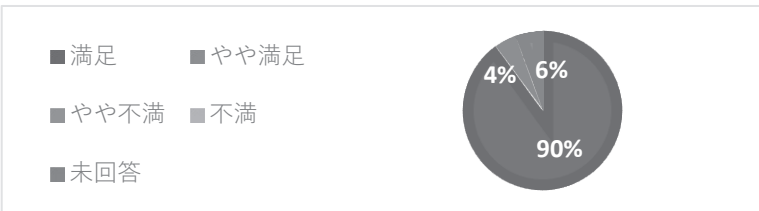
⑪ ヘルパーは介護の相談にのり、助言をしてくれますか。

満足	71
やや満足	11
やや不満	0
不満	0
未回答	8



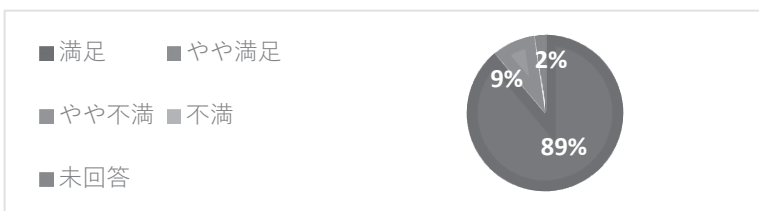
⑫ 職員はもご利用者や個人の情報に関する守秘義務を遵守していますか。

満足	81
やや満足	4
やや不満	0
不満	0
未回答	5



⑬ ヘルパーの利用に満足していますか。

満足	80
やや満足	8
やや不満	0
不満	0
未回答	2



ご自由にご意見・ご感想等をお書きください。

<p>この制度には助かり感謝しています。歳をとり楽しみも少なくなり晩酌は唯一の楽しみです。よろしくお願いします。</p>
<p>いつもどなたも気持ちよく接して下さって本当にありがたく思っています。これからも長くお手伝い下さるとありがたいです。</p>
<p>ヘルパーさんに来て頂くと私がうれしくなって一時間の時を有意義に満足しております。時にはヘルパーさんの手をとめる程私がしゃべるので迷惑をかけているのではと思う凶りです。本当にありがとうございます。</p>
<p>何時もお世話になり感謝しております。ありがとうございます。これからもよろしくお願い申し上げます。</p>
<p>ヘルパーさんに助けてもらって今の生活が送れています。楽しくお話しでき感謝感謝です。何も言うことありません。</p>
<p>同じ仕事でも人によって色々です。でも最近は思った事を口に出し、煙たがられる事も多いと思います。がわかってくださる方も多いと思います。</p>
<p>サービスには十分満足しています。耳が聞こえ難くなっていて聞こえてなくても返事をします。また適切な服装管理が難しくなっていますので、宜しくお願い致します。</p>
<p>よくしてくれるのはありがたい。もっと長い時間お願いしたい。</p>
<p>ヘルパーが来ることとおお助かりです。感謝しています。</p>
<p>個人差があるので…。でも比較的どののかたも良くしてくれ助かってます。</p>
<p>何もご苦労様です。心から感謝いたします。</p>
<p>大変お世話になっております。特に両ひざに人工関節を入れておるので風呂のそうじは助かっております。ヘルパーさんのこられた日の入浴は気持ち良いです。どのヘルパーさんも時間いっぱい対応していただいております。ありがとうございます。</p>
<p>男がする簡単な調理なのでヘルパーさんがしてくれるのはおいしい。家内が作って食べていたのを思い出します。ありがとう御座います。</p>
<p>ヘルパー来るのいつも待っています!</p>
<p>毎回体をきれいにしてもらって本人も家族も満足しています。</p>
<p>ヘルパーの皆様はそれぞれのやり方でベストをつくして下さい、「まあ、ここにこんな工夫をしてくださっているわ。」と帰られてから気づく事がしばしばあります。ありがとうございます。</p>
<p>自分が出来ない事をして頂いているので大変感謝しています。だんだん自分で出来なくなるのでお世話をおかけすることが多くなるとは思いますが宜しくお願い致します。</p>
<p>お世話になっています。感謝しています。</p>
<p>①いつの時点の話ですか。③延長になるも不満も言わずありがとう。⑧人により差があります。ま、いつもありがとう、これからも宜しく。</p>
<p>特にありません。</p>

<p>本人の認知度は幸いにして横ばいですが食事に関してはわがままで嫌いなものは食べません(理由をあれこれ付けて)。ヘルパーさんは色々考えて調理して下さってますが残飯がしばしばで大変心苦しく思っています。栄養等に配慮して下さっていますが、ごく簡単な品で柔らかな物を同じ品で結構ですので色々気にかけて下さる事無く対応して頂ければ十分ですので宜しくお願い致します。</p>
<p>1時間で味噌汁 掃除してもらい、私も足がわるくヘルパーさん来てもらえる日をたのしみに待っています。</p>
<p>いつも大変お世話になってありがとうございます。母はしっかりしているように見えるかも知れませんが「今の事をすぐ忘れてしまう」といつも言っています。忘れないようにメモする事を伝えていますが中々大変のようです。ご迷惑を透けている事でしょうが、今後共どうぞよろしくお願い致します。コロナで私しか家に帰って来られなくて色々お世話をかけています。</p>
<p>なし。</p>
<p>いつもありがとうございます。又よろしくおねがいします。</p>
<p>感謝しています。</p>
<p>親切に対応して下さい大変喜んでいます。</p>
<p>嫁のほうでもヘルパーを利用していますが、ごはんの炊き方や洗い物の方法を自分が教えても全くきかないので、教えてあげて欲しい。話をいろいろ聞いてもらってとても満足している。</p>
<p>来てくれるのをあてにして待っています。</p>
<p>いつもお世話になっていて良くしていただいているので満足です。お買物もお世話をかけていますが大変助かっております。ありがとうございます。</p>
<p>時間が1時間に限られているので仕方がない部分がある。良い人ばかりなのでとても満足しています。</p>

**【考察】**

ほぼ一人での訪問であるため、利用者側から見ればいろいろなヘルパーが訪問することによって差があることに気づかれる。一方ヘルパーはきちんとできていると思っており、気づかない部分がある。どのヘルパーが訪問しても同等のサービスが提供できるよう資質の向上が必要である。

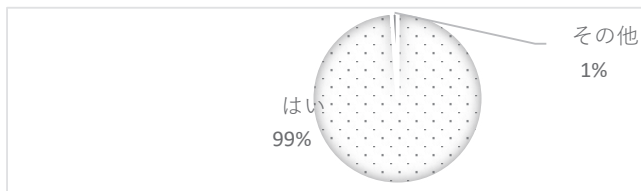
■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑭

対象 令和3年度介護支援サービス利用者  
(南事業所)

令和3年9月  
対象 103件 アンケート回収 91件

①ケアマネジャーの態度や言葉づかいは丁寧ですか。

はい	90
いいえ	0
その他	1

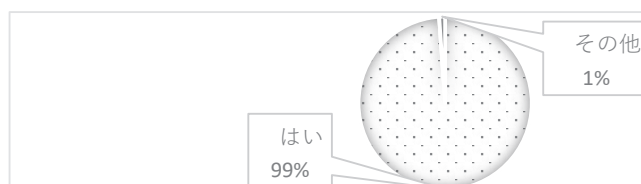


【備考欄】

- ・とても丁寧です
- ・親切丁寧で良いです
- ・とても助かり安心です。感謝感謝です
- ・ハッキリと大きな声で言ってくれるので耳が遠い者としては有難いです
- ・耳が遠いので大きな声でゆっくりハッキリと聞き取り易く話して下さる
- ・やさしく対応していただけてます
- ・きちんと敬語を使用され不快を感じることはないです
- ・明るい方なのでいつも元気をいただいています。利用者も声をかけてもらうと、いつもは見せない表情になります
- ・本人や家族に対し親しみ易い話をして下さりいろいろ相談しやすいです
- ・はきはきとした言葉づかいで大きな声で聞きやすい
- ・ふつう

②介護サービスの利用にあたり、居宅サービス計画書(ケアプラン)の本人や家族の意向は希望に沿った内容になっていますか。

はい	90
いいえ	0
その他	1

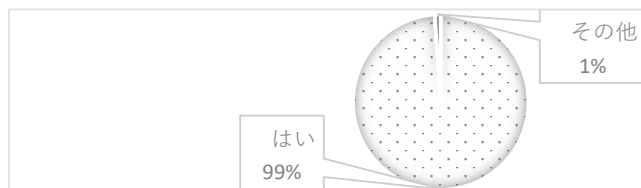


【備考欄】

- ・率先してアドバイスをくれます
- ・家族の都合を聞いてプランを作成して下さる
- ・本人及び家族の意向を受け入れてもらっています
- ・よく途中で変更を頼んだり迷惑をかけていますがすぐ対応して助かっています

③居宅サービス計画書(ケアプラン)の説明は、分かりやすかったですか。

はい	90
いいえ	0
その他	1

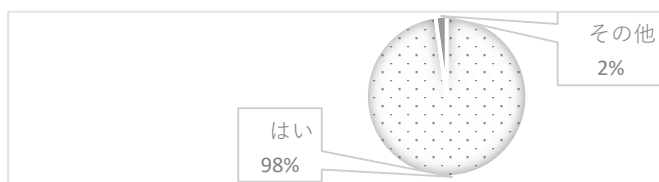


【備考欄】

- ・理解できました
- ・丁寧に説明され質問にもきちんと対応してくれています

④ケアマネジャーは本人や家族の生活をきちんと把握して対応してくれていると感じますか。

はい	89
いいえ	0
その他	2

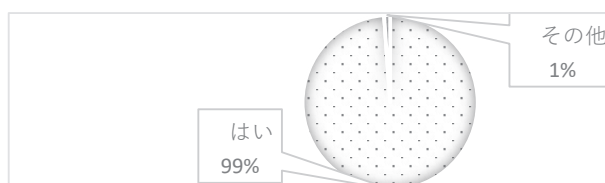


【備考欄】

- ・退院後のケアホームについても相談にのってくれて解らないことについても教えてくださった
- ・毎回本人の状態をきちんと観察され家族の話もよく聞いてくれます
- ・いつも色々と相談にのって下さり感謝しています。担当して頂いて長いので信頼できています。把握してくださっていると思います
- ・本人がいつも来られると嬉しそうにたくさん話せる様子で元気が出ます
- ・家で猫を3匹飼っているのでサッシ戸を開けないようにして下さい。度々猫が外へ出るので（なかなか捕まえられないので）2~3日行方不明となり困っています
- ・年寄りの余計な話を嫌がらず聞いて対応してくださりありがとうございます
- ・ふつう

⑤サービスを利用することで自宅での生活は過ごしやすくなりましたか。

はい	90
いいえ	0
その他	1



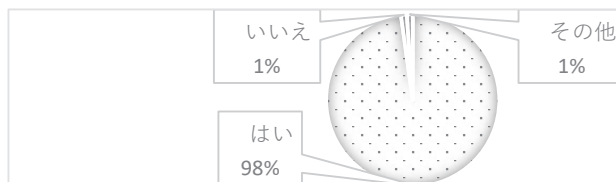
【備考欄】

- ・非常に過ごし易い
- ・少しずつどうも悪くなりつつあるので心配はあります
- ・目がはなせないのでショートステイやデイサービスなど見守りをしてもらえるだけでもありがたいです。さみしがりなので本人に合う施設をご紹介いただいています
- ・農業をされており介護が行き届かないので話し相手になってくださることと健康状態に合った調理が大変助かります
- ・デイ・ショート等で本人不在の時は家族がリフレッシュできたり本人の環境整備ができます
- ・大変助かっています。スロープを使用するようになってから家の中での移動時（歩行時）杖を使わず歩行できるようになりました
- ・本人より家族が困った時にいろんな提案をして下さり助かっています
- ・利用を始めて日が浅いのではっきり言えないが喜んで利用しているようなので良かったと思う
- ・お風呂が一番助かります



⑥わからないことや困ったときに、ケアマネジャーに相談しやすいですか。

はい	89
いいえ	1
その他	1

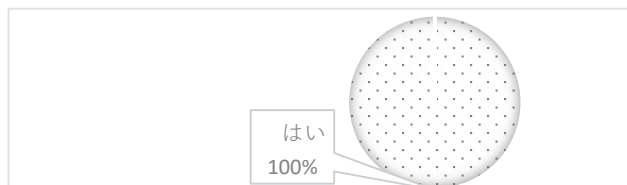


【備考欄】

- ・良く相談・連絡できていると思います
- ・ものすごくいい相談しやすいです
- ・相談しやすい気さくな性格の方でこちらからも話し易い
- ・何を聞いても丁寧に対応してもらえるので相談しやすい関係です
- ・いつも気軽に「相談などありませんか」と声をかけてくださいます
- ・細かい事まで答えて下さり助かります
- ・何でも聞いてもらいます
- ・ふつう
- ・ヘルパーに相談している

⑦ケアマネジャーは相談したことにすぐに対応してくれますか。

はい	91
いいえ	0
その他	0

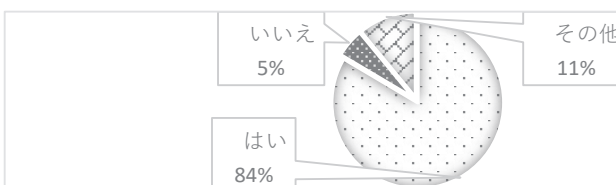


【備考欄】

- ・速い対応してくれてると思います
- ・今のケアマネジャーさんに又頼みます
- ・当日もしくは翌日には返事をくれて対応して下さる
- ・関係機関へ連絡が早くこちらの段取りもしやすく助かります
- ・その度対応して頂いています
- ・すぐ対応してくださり助かります
- ・すぐに対応して下さり助かります

⑧現在利用している居宅介護支援事業所を友人や知人に紹介したいと思いますか。

はい	76
いいえ	5
その他	10



【備考欄】

- ・状況が私とは違います
- ・いつでも紹介したいと思います
- ・わかりません
- ・紹介して欲しいと求められれば
- ・是非すすめたいと思っています
- ・現在近所や知り合いにいませんが利用したい人がいたら是非紹介したいと思います  
その節はよろしくお願いします。
- ・母の友人たちに話したりしています
- ・自分の事で精一杯で話せない
- ・いろいろあります。でも考えています

#### 自由記述(上記以外のご意見等)

- ・特に意見などはないです。時に無理を言う事があるかもですが対応して頂いているので助かっています。
- ・いつも良くしていただいて感謝しております。できる事は自分でしてもらおうと声かけしていますが、自らする意欲がなくなってきたので食事等に時間がかかり、私一人では対応ができなくなっています。着替え等もなかなか進まず紙パンツ等も替えずに過ごしていて困っています。
- ・いつも大変お世話になっております。すべての項目において大満足しております。
- ・よく気にかけてもらっています。今の所本人も自分の事がまずまず出来ているので良いと思っています。これからもお世話になる事が沢山あると思いますが宜しくお願いします。
- ・同一居宅事業所でもケアマネジャーさんの資質には個人差があると思いますが、うちの担当のケアマネジャーさんはこちらの意向及び状態把握が素早いので、家族として安心感があり、又家族の日程調整がしやすいので助かっています。
- ・いつも御世話になりありがとうございます。希望として担当ケアマネジャーをずっとお願いします。気難しい利用者ですがケアマネジャーさんには笑顔をみせ何でも話しています。私も助かっています。よろしく願い致します。
- ・大変良く介護支援をして頂き感謝しております。
- ・広い範囲(地域)でいろいろなサービスを考えて下さり家族も助かります。
- ・ケアマネジャーさんはよくして下さいます。
- ・いろいろお世話になりたいへんありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。
- ・ケアマネジャーさんはよく気を付けて下さいます。色々と相談しやすいです。帰る時は手を握って帰って下さいます。
- ・良く良く色々と大事にして下さいます。
- ・いつもご面倒なことをお願いして、しっかり対応していただいて心より感謝しています。
- ・色々なサービスを教えてもらえて助かっています。母の入院の時にも病院に来て下さって心強かったです。
- ・ケアマネジャーさんには主人がいつも大変お世話になっております。(私事)仕事に行っている関係上不在のため訪問日になかなかお逢いできないのですが、今後共よろしく願いいたします。
- ・困った事があれば相談しやすいし、すぐ対応してくれて色々意見してくださったり、相談にのってくれるので助かります。
- ・今までの所、別に何も問題はありませぬ。非常に良く対応していただいております。
- ・ケアマネジャーの方は親切・丁寧に納得できる説明して下さいますので、本当に有難く感謝の気持ちです。デイサービスの責任者方、本当に良くして頂いています。本当に有難く感謝の気持ちでいっぱいです。

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑮

対象 令和3年度介護支援サービス利用者  
(北事業所)

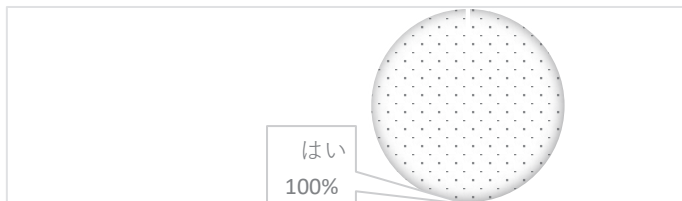
令和3年9月  
対象 83件 アンケート回収 72件

①ケアマネジャーの態度や言葉づかいは丁寧ですか。

はい	72
いいえ	0
その他	0

【備考欄】

- ・優しくよく気遣ってくれます
- ・元気があって良いと思います
- ・程ほど良い方言でとても感じがいいです
- ・はい

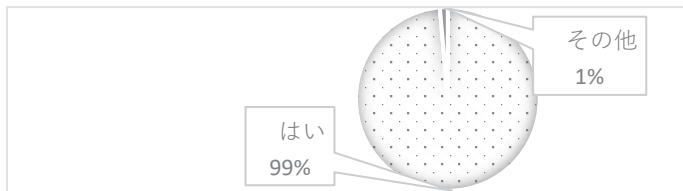


②介護サービスの利用にあたり、居宅サービス計画書(ケアプラン)の本人や家族の意向は希望に沿った内容になっていますか。

はい	71
いいえ	0
その他	1

【備考欄】

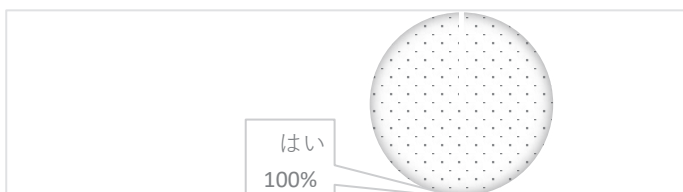
- ・何回か希望を出してちゃんと本人の希望通りにしてもらっています
- ・まあまあ



③居宅サービス計画書(ケアプラン)の説明は、分かりやすかったですか。

はい	72
いいえ	0
その他	0

【備考欄】



④ケアマネジャーは本人や家族の生活をきちんと把握して対応してくれていると感じますか。

はい	72
いいえ	0
その他	0

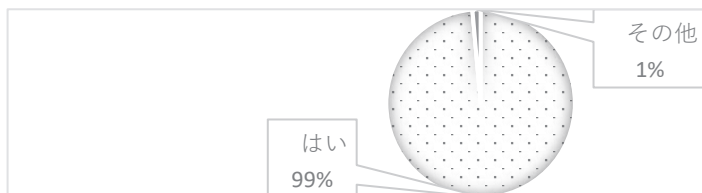
【備考欄】

- ・対応が早く良いと思います。
- ・いろいろあった事やその時の状況などよく聞いて心配して下さっています
- ・入退院のたびに本人の体力筋力が衰え、その都度電話・家の方にも来て下さりきちんと対応して下さいます
- ・たまにお願い事をした時介護サービス事業所への対応が早いのでありがたいです。担当者会議も家族の日程を優先してくれるのでありがたいです



⑤サービスを利用することで自宅での生活は過ごしやすくなりましたか。

はい	71
いいえ	0
その他	1

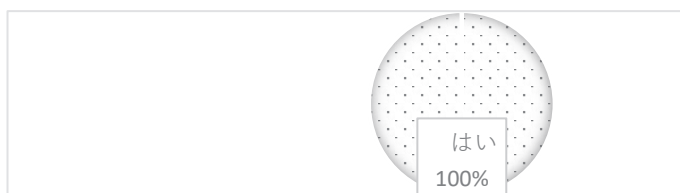


【備考欄】

- ・ 過ごしやすくなりました
- ・ 本人は自覚していないようですが、子ども達は大変助けていただいていると思います
- ・ 週2回の利用でお風呂に入れてもらっている所以自宅の入浴の負担が軽くなりました
- ・ 大変助かっています。家族の者も通院など出来るようになりました
- ・ 訪問看護のサービスで介護者も助かっています
- ・ メリハリはできているが、朝が弱く行き難い日が多々ある
- ・ 少しは良くなりました
- ・ 玄関の昇降から始まり福祉用具を使用する事で母の動きが保てています

⑥わからないことや困ったときに、ケアマネジャーに相談しやすいですか。

はい	72
いいえ	0
その他	0



【備考欄】

- ・ ひまわりさんでは言いにくいこともケアマネジャーさんには言えるようで、次はいつ頃来てもらえるかなあ〜と来られるのを楽しみにしています
- ・ とても相談しやすいです
- ・ 何かあったらすぐお願いいつも良くしてもらっています
- ・ 相談出来ると思います
- ・ 何でも相談しやすいです
- ・ 相談はしやすいですがわからないことがわかりません

⑦ケアマネジャーは相談したことにすぐに対応してくれますか。

はい	72
いいえ	0
その他	0

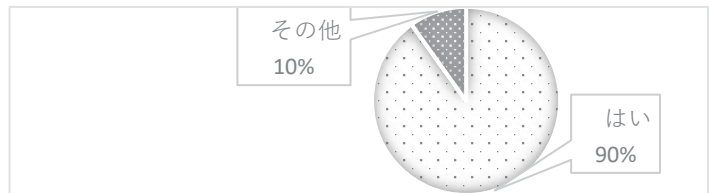


【備考欄】

- ・ すぐ対応してくれます
- ・ 相談したことはひまわりさんに伝わっていて改善されています
- ・ 手すりとかすぐに対応していただきました

⑧現在利用している居宅介護支援事業所を友人や知人に紹介したいと思いませんか。

はい	64
いいえ	0
その他	7



【備考欄】

- ・従業員の方全員方とても親切でやさしいし物腰も柔らかいので気持ち良く利用させてもらっている事をいろんな人に話しています
- ・他の施設のことが分からない。利用している事業所は満足しています。
- ・友人知人にはよく事業内容についてはなしています（地域外）
- ・しょうかいして良いものか悪いものかよくわかりません
- ・わかりません
- ・必要な方がおられたら紹介したい
- ・近所の方皆さん元気ですので
- ・友人に紹介しました。ご両親と離れて暮らしていて「私のケアマネさんは～だよ」と話すと、すぐに同じケアマネさんにしたそうです。良くしてもらっているとありがたがっていました

## 自由記述(上記以外のご意見等)

- ・陽だまりに行かせているおかげで母の状態が安定していると思います。楽しんで行っています。ありがとうございます。
- ・じっくり話を聞いて下さり毎回感謝しています。ありがとうございます。
- ・ケアマネジャーさんにいつもお世話になっております。どんな事でも対応していただき大変心強く助けていただいております。これからも宜しくお願い致します。
- ・来られた時にいつもお茶を出すかどうか迷います。何回か出したことがあるのですが、トイレに行きたくなるので本当に結構ですといわれたのでそれ以降出していないのですが母はいつも出した方がいいんじゃないかと言っています。
- ・急なお願いにも対応していただきありがとうございます。良くしていただいております。男3人暮らしていて、事業所利用で私も兄も助かっています。今後ともよろしく願いいたします。
- ・要介護者との生活は家族にとってストレスを感じる事が沢山あります。かわいそうだと思いますが言い争いになってしまいます。介護支援で助けられています。その都度リセットできて「お帰り」と快く迎えることができます。これからもよろしくお願い致します。
- ・色々な面で大変満足しております。介護生活を続けて行くうえで本人も家族も助かっています。
- ・介護支援サービスには本当に良くしてもらっています。デイサービスから帰宅した時には毎回楽しかったと明るい表情になって帰ってきていました。が、母が骨折して入院した時を境に食欲が落ち自分の足で歩く事も出来なくなり、それでも退院となりましたがデイサービスはとても利用できる状態ではなく、医療の対象になるからとショートステイも利用不可能。家族の不安はとても大きなものでした。幸い再入院することができましたが、あのまま家での介護であればどうなっていたのか。介護はできても看護はできません。そういうときは何か良い方法があれば家族も本人も助かるのではと思いました。
- ・在宅介護の場合昼間より夜（5時以降～夜明）が不安材料が多いのですが（急変等）訪問看護のお陰で（24時間対応）安心感が得られ、気持ちも楽になりました。
- ・即対応していただきありがたく思っています。
- ・別に申し上げることはありません。
- ・いつも大変お世話頂き本当にありがとうございます。とても相談しやすく丁寧に対応していただけますのでとても心強いです。これからもお手数をおかけしますが宜しく願い申し上げます。
- ・ショートステイの夜、ナースコール等の音で眠りにくいのが気になるようです。
- ・たいへん良くして頂いています。
- ・大変満足しています。
- ・利用者に対してこまめに話かけて頂けて会話が弾みます。サービスを利用する事で本人も元気を保つことができます。続けて利用できることを願います。
- ・色々とお迷惑おかけしました。

- ・4月から訪問看護・往診・福祉用具・訪問入浴と体力は少しずつ下がってきていますが、その状態に合う計画をたててもらって何とか家で介護できています。各担当者の方々もとても親切に接してくださり感謝しています。
- ・ショートステイを利用する事で家族も安心して生活をする事ができています。いつもお世話になりありがとうございます。
- ・話易く親切に何でも教えて下さり心強く思っています。
- ・ケアマネジャーさんは本当によくして下さいています。いつも迷惑ばかりかけています。ありがとうございます。
- ・ケアマネさんにはいつも本人や家族のことまで気にかけていただきありがたく思っています。相談事に対して常にも素早い対応をしていただき希望通りのサービス利用させていただくことによって在宅可能の生活を送ることができ、本人が自宅で過ごしやすく家族も安心して見守ることができ本当に感謝しています。ありがとうございます。
- ・今後ともよろしく願います。
- ・いつもありがとうございます。
- ・現在の満足度は大変お気使いが感じられて申し訳ない位感謝しております。ありがとうございます。
- ・今後ともどうぞよろしく願ひ致します。

#### 【考察】

訪問して本人の様子を伺い、家族からも日常の変化や困っている事等を聞き取り、適切なアセスメントを行い、住み慣れた自宅で自立した生活が継続できるように支援していくことが必要である。そのためには本人や家族とより良い信頼関係を築けるように、相談技術の能力を高めていかなければならない。また本人や家族と関わっている病院等関係機関やサービス事業所とも連携を図り進めて行くことが必要である。

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑩

特別養護老人ホームやすらぎ

対象者 R3.6.1～R3.8.31に当施設(ショート含む)利用の方及びその家族

送付数 特養 16 ショート 11 計 27

回収 23 回収率 85%

① ご利用者は職員から大切にされていると思いますか？

思う	やや思う	あまり思わない	思わない	無記入
22	1	0	0	0

【ご意見】 96% 4% 0% 0% 0%

・遠く離れていますので何かとお世話していただきとても感謝しております。いつもお電話で丁寧に説明して頂いたり報告して頂いてありがたく思います。

・大変お世話になっていると認識いたしております。

② 職員の接遇(言葉遣い、対応)や身だしなみについて満足していますか？

満足	やや満足	やや不満	不満	無記入
21	2	0	0	0

【ご意見】 91% 9% 0% 0% 0%

・言葉遣い、対応は満足しています。送迎状況(道路・坂)悪くてもサンダルでの送迎はどんなかなと感じたことがあります。

③ 職員はご利用者及びご家族とコミュニケーションがとれていますか？

とれている	ややとれている	あまりとれていない	とれていない	無記入
20	1	0	0	2

【ご意見】 87% 4% 0% 0% 9%

・病院受診する際は受診前の連絡と受診後の報告をきちんとしてくださいます。施設での生活を尋ねる時も丁寧に教えて下さいます。

・満足しております。

④ この施設を利用して良かったと思いますか？

思う	やや思う	あまり思わない	思わない	無記入
20	1	0	0	2

【ご意見】 87% 4% 0% 0% 9%



⑤ 利用して感じたことや施設に対するご意見、ご要望など何でもご記入ください。

・いつも丁寧に対応して頂きありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

---

・コロナで大変ななか、色々とお世話して下さいありがとうございます。

---

・利用開始時は「家に居たい」「行きたくない」とよく言っていましたが今では「行って来るから」と嫌がることはありません。皆さんの対応が良いからと感謝しています。本人も家族も「ありがたい」「助かる」という気持ちです。ありがとうございます。今後ともよろしくお願ひします。

---

・介護なんてとても大変ことなのにいくらお仕事とは言え本当に良くして下さい感謝しありません。お世話になりっぱなしでありがとうございます。今後とも宜しくお願ひ致します。

---

・一日でも早い対面での面会を願っています。

---

・本人がショート利用する事を楽しみにしていて嫌がることなく行くので安心しています。また、利用して帰った日は心身ともにしっかりしているので、ショートでの生活が刺激になっていると思います。家で排泄など確認することを嫌がるのでショートに任せきりですが、職員の方も快くして下さいるので介護の負担が少なく、気負うことなく過ごせるので助かっています。介護度も重くなるどころか良くなっているようで、本当に職員の方には感謝しています。

---

・やすらぎさんは施設の中が老人施設独特のにおいが無く母も快適に過ごせていると思います。コロナ禍で面会になかなか行けませんがこれからも宜しくお願ひ致します。

---

・いつもお世話いただきありがとうございます。

---

・夜、呼び出し音等で眠れないことがある。

---

・大変良くしていただいていると思っています。今は月に1回会えているがいつも顔色よく満足そうです。感謝しております。

---

【考察】

入所者、ご家族が安心安全に過ごせるよう重度化予防に努める。接遇、介護・看護技術などの質の向上を図りその人らしく楽しみを持って生活できるようにサービスを提供する必要がある。

居宅介護支援事業所、他サービス事業所、他施設と連携を図りスムーズにサービスが提供できるよう努める必要がある。また、日常生活や地域交流を通じて外部の方とご利用者との交流機会を持っていただけるよう支援に努める。

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑰

特別養護老人ホームやすらぎ

対象者17件 取引業者、清掃作業や食事運搬にいられた方、短期入所ご利用者の担当ケアマネ、やすらぎ運営推進委員

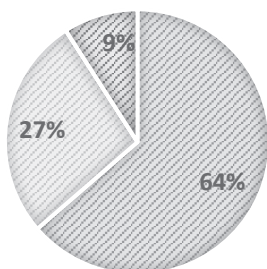
アンケート回収 11件

アンケート実施期間: R3.7月～R3.9月末

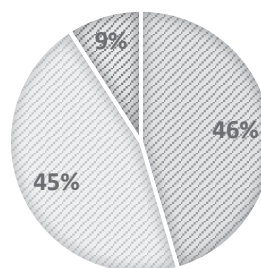
		良い	おおむね良い	もう少し	悪い	記載なし
1 雰囲気	① 職員の挨拶	7	3	0	0	1
	② 職員の身だしなみ、表情	5	5	0	0	1
	③ 利用者の表情	6	4	0	0	1
	④ 廊下、居室などの清潔さ	7	3	0	0	1
【自由記入】	<p>・挨拶がとても良くできていて職種の違う職員に感謝の気持ち等良く表現されていて感心する。気軽に声を掛けて下さる。</p> <p>・利用者の身体状況に合わせて車椅子、ベッド等に保護するための付属品を付け体に傷をつけないように注意されている。細心の注意をはらって介護されていて感心しています。</p> <p>・明るい声で良く挨拶ができています。雰囲気も明るく職員間の連携も良くできています。</p>					

■ 良い ■ おおむね良い ■ もう少し ■ 悪い ■ 記載なし

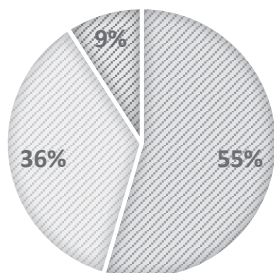
① 職員の挨拶



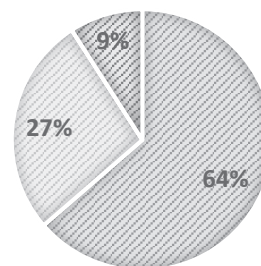
② 職員の身だしなみ、表情



③ 利用者の表情

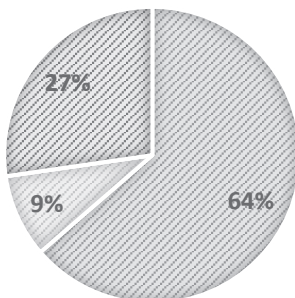


④ 廊下、居室などの清潔さ

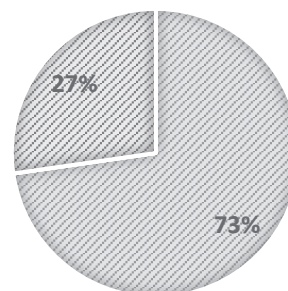


		良い	おおむね 良い	もう 少し	悪い	記載 なし
2 利用者への 対応	① 利用者の身体状況に合わせて介助している	7	1	0	0	3
	② プライバシーを保護している	8	0	0	0	3
	③ 異臭の防止に努めている	7	1	0	0	3
	④ 利用者への言葉使い	4	4	0	0	3
	⑤ 運営に関する掲示物が掲示できている	7	1	0	0	3
【自由記入】	<p>・毎日の引継ぎ、ミーティングができています。大きな声で理解するように話している。</p> <p>・声掛け介助ができています</p> <p>・コロナ対策も徹底されており、環境衛生にも留意されている。利用者様の異変や変化にも迅速、的確に対応されている印象。</p>					

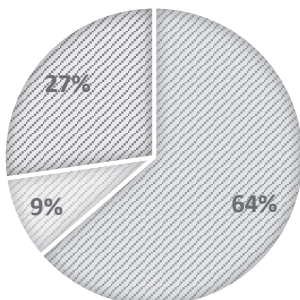
①利用者の身体状況に  
合わせている



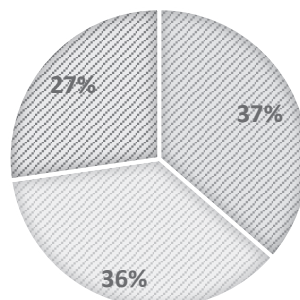
②プライバシーを  
保護している



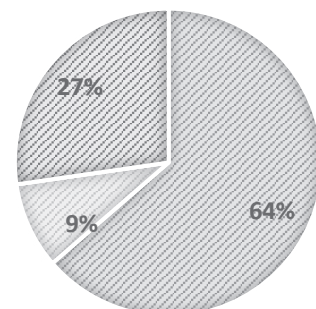
③異臭の防止に  
努めている



④利用者への  
言葉使い



⑤運営に関する掲示物  
が掲示できている



### 3 その他

<p>【やすらぎのイメージ、思うこと等 何でもご記入ください】</p>
<p>・ コロナ禍で大変だと思いますができる範囲で対応されていると思います。職員のはきはきした声も元気があつて良いと思います。</p>
<p>・ 離床や異臭対策が良くできています。</p>
<p>・ 感染対策がしっかりでき、室内が清潔で明るいイメージです。</p>
<p>・ 現在コロナ禍での介護はとても大変だと思います。消毒から換気、マスクの管理等、いつもより多くの仕事が増加しています。その上、自身もマスクを付け、その上にフェースシールドも付けての看護は大変の一言に尽きます。早くコロナが終息し今までのように普通に介護が出来るよう願っています。</p>
<p>・ 家族の疲労軽減に貢献している。やすらぎに入所すれば長生きができる。費用面で助かる。温泉に入れてもらえる。住んでいる近くに施設があるので助かる。</p>
<p>・ 食事介助のエプロンのボタンができていなかったが良くなっている。</p>
<p>・ 在宅に帰ってからのことも考えてくれており、少しでも歩かせてくれているため、レベル低下なく在宅に帰れているのでありがたい。</p>
<p>・ ショートがいっぱいのごが多く、希望日に予約するのが難しい。特に急に希望された時にはほとんど空いていない。</p>
<p>・ 個人を大切に介護してくれている所がありがたいです。</p>
<p>・ 利用者は日々楽しく過ごす事ができる、利用者の家族からの信頼が厚い、このような施設運営を望みます。</p>
<p>・ 来客者（面会者等）、利用者にも親切、丁寧に対応されており利用者様の家族様から感謝と喜びの声を聞くことが何回かありました。</p>

■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑱

対象 令和3年度障害者総合支援利用者

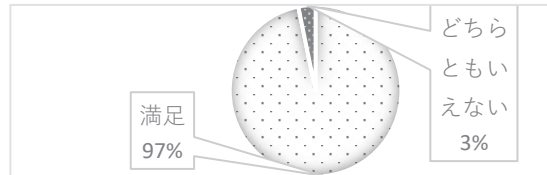
R3. 8月 実施

アンケート対象 34件

アンケート回収 31件

1、時間通りに来て、決められた仕事をきちんとしてくれますか。

満足	30
不満	0
どちらともいえない	1



・掃除をしてもらえて助かっているがヘルパーさんに来てもらわなくても自分でしようと思えばできる

2、安全・安心に配慮した介助をしてしてくれますか。

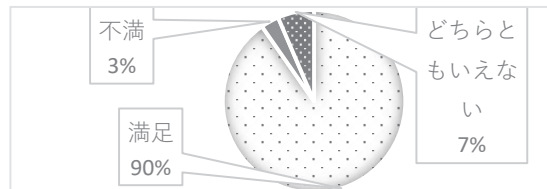
満足	27
不満	0
どちらともいえない	0
回答なし	4



・味付けがヘルパーによりまちまち。(いつも辛い人も…)

3、職員の言葉使いや態度、対応はいかがですか。よく話を聞いてくれますか。

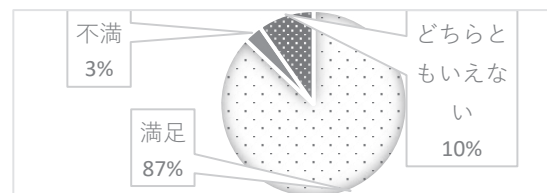
満足	28
不満	1
どちらともいえない	2



・その度に希望を伝えています。

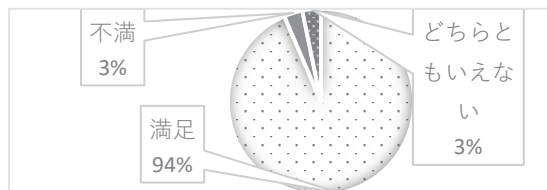
4、あなたやあなたのご家族のことを気遣ってくれますか。

満足	27
不満	1
どちらともいえない	3



5、サービス所要時間に満足されていますか。

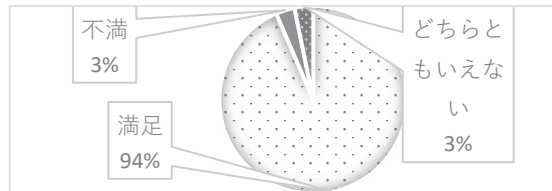
満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



・もう少し早く来てほしい。

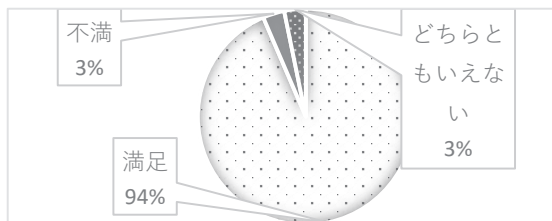
6、ヘルパー個人のやり方や考え方を押しつけるようなことはありませんか。

満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



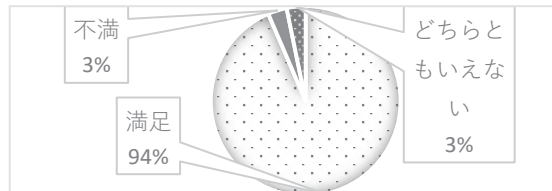
7、支援を受けるようになって、あなたの生活は以前より気持ちが明るくなって安心できる生活になりましたか。

満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



8、不満や要望を事業所に気軽に言うことができますか。

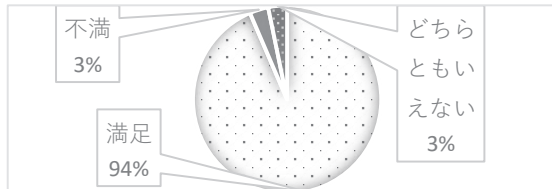
満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



・言う事はできないが、伝える事はできる。

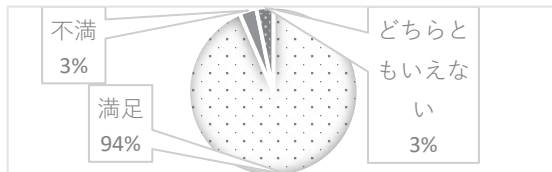
9、事業所は不満や要望をよく聞いて対応してくれますか。

満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



10、サービス内容の買い物に満足されていますか。

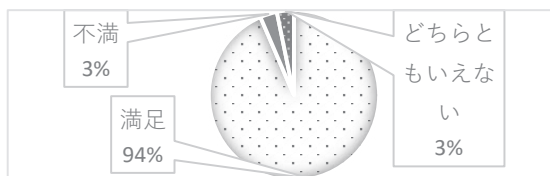
満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



・自分で買物が出来ないのを助かっています。

11、サービス内容の調理に満足されていますか。

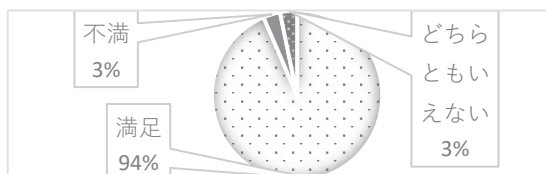
満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



- ・今のところは別はない
- ・自分では色々な料理が出来るようになったと思っている。

12、サービス内容の掃除に満足されていますか。

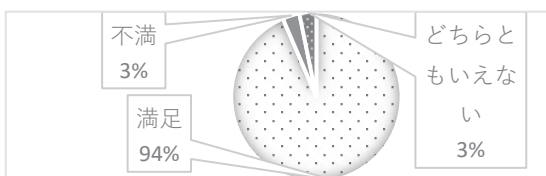
満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



- ・掃除は現在頼んでいない。
- ・掃除してもらえてよかった。

13、サービス内容の入浴介助に満足されていますか。

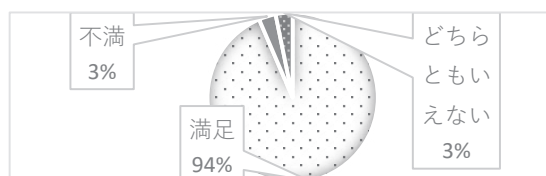
満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



- ・入浴も頼んでいない。

14、職員の言葉使いや態度、対応はいかがですか。よく話を聞いてくれますか。

満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



- ・いろんな話をよくしてくれます。勉強になり私はうれしいです。
- ・別に良くしてもらっているので現在困ったこと等はない。
- ・話しやすい人や話しにくい人がいる。

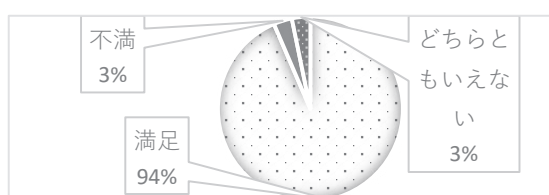
15、困りごとや不安なことは、誰に相談しますか。（複数回答可能）

家族	10
兄弟	8
主治医	3
相談員	3

友達	6
ヘルパー	11
ケアマネ	5
保健師	3
相談する人がいない	3
その他 センターの職員 訪看 ケースワーカー 近所の人2	5

16、その他、思うことがありましたら教えてください。

満足	29
不満	1
どちらともいえない	1



- ・いつもありがとうございます。感謝しています。できれば回数を増やしてください。
- ・訪問していただいている事だけでありがたいと思っています。もう一回増えたら助かりますがなかなか職員の確保が難しいですよね。施設の入所希望は姉の私はありますが本人がどう言うか、無理やり押し込める事にも少々抵抗があります。
- ・よく寝れて良い。
- ・別に今はないです。今は食事の事なので、また変わるような事があれば相談します。
- ・健康でくらししていければ良いと思っています。
- ・急に休む時など、その日の担当者がわかれば直接連絡する事が出来るのに…と思う時がある。昨年月20日をオーバーして負担額を払う事になったが、1日15分程度で4000円にはびっくりしました。いつも負担額もなく使用させていただいているのでとてもありがたいです。
- ・困っている時に助けてもらっている。
- ・お世話になります。自分で調理ができるようになりました。
- ・特になし (3)

【考察】

障がいの特性や対応の仕方等が幅広いので、利用者一人一人に合った支援内容を細かく記載し、同等のサービスが提供できるようにしなければならない。そのため障害の理解や介護技術の向上が必要である。また限られた人数での対応となるため、人材の確保が必要である。



■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑱

対象 令和3年度障害者訪問入浴介護利用者

R3.8月 実施

対象1件 アンケート回収 1件

1、職員のあいさつ・言葉づかい・態度はいかがですか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

2、職員の身だしなみに清潔感がありますか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

3、入浴時にはプライバシーに配慮した方法でできていますか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

4、訪問入浴サービスが行っている入浴時間、湯温に満足されていますか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

5、訪問入浴サービスが行っている洗髪、身体の洗い方など満足されていますか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

6、利用者様の家具や備品を傷つけないように安全に配慮されていますか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

7、入浴はゆっくり楽しめていますか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

8、体調管理や皮膚状態の確認がきちんとできていますか。

満足	1
不満	0
どちらともいえない	0

9、訪問入浴サービスで改善してほしい点がありましたら教えてください。

特にありません。

【考察】

対象者が介護保険への移行や施設サービスの利用や入所により、人数及び回数が減っている。現在利用している方には満足をしていただいているが、引き続き安全安心のサービス提供のため資質の向上が必要である。

## ■第4次地域福祉活動計画にかかるアンケート ⑳

対象 居宅介護支援事業所及び地域支援センター利用者及び家族

令和3年10月

アンケート対象54件 回収39件

### 1 現在、真庭市社協の利用している介護事業所を教えてください。

訪問南	27
訪問北	7
入浴南	12
通所	3
短期	1
利用していない	4

### 2 真庭市社協のサービスを選んだ理由を教えてください。

地域内にないから	18
他がいっぱいだから	6
本人・家族の希望	11
連絡等できやすい	19
その他	2

### 3 真庭市社協が提供している介護サービス内容についての声を教えてください。

#### 【良い点】

- ・訪問介護では日曜、祝日でも訪問してもらえる。
- ・訪問入浴がないので、利用者さんに喜ばれている。
- ・訪問介護は手早くおいしい料理を提供して下さる。
- ・柔軟性や気転を利かせた対応をして下さる。
- ・日曜、祝日、お盆、年末年始などもできる限り対応して下さる。(訪問介護) 困難事例や難しい対応なども引き受けて下さる。(訪問介護) 雰囲気、対応がいい。
- ・日曜、祭日にも訪問してもらえる所。
- ・訪問介護について、臨機応変に対応して下さいるのでありがたいと思っている。
- ・他の事業所にはないサービスを提供してくれている。
- ・ヘルパーさんにお世話になっています。利用者様の変化をタイムリーにご連絡くださり、感謝しています。
- ・連絡、相談が早い。
- ・訪問介護のヘルパーさんがとても良くしてくれる。特に落合地区の責任者が同じ視点で支援して頂け、チームとして組む時大変ありがたい。
- ・本人様やご家族の様子、経過等をとても細やかに連絡して下さる。
- ・相談や問い合わせがしやすい。
- ・ヘルパーさんに良くしてもらって助かると聞きます。
- ・利用者の声に耳を傾けて対応してくれている。
- ・支援してもらい負担軽減につながっている。
- ・無理なことをお願いすることが多いが、相談がしやすい。
- ・変化や気になる点など連絡して下さる。
- ・急な時間変更をお願いしたが、気持ちよく応じてもらった。独居の利用者がヘルパーの訪問時に話をするのをとても楽しみにしている。
- ・デイサービスきららで親切にもらえる。やすらぎで良くしてもらえてありがたい。
- ・色々な方を柔軟に対応して下さいます。

- ・相談しやすく、対応もとても良い。
- ・連絡・相談がしやすい介護。
- ・細かく情報提供してもらえる。
- ・特になし。
- ・連絡・相談しやすい。ある程度柔軟に対応していただける。
- ・依頼に対し、できる限り調整して対応して下さる。支援員（ヘルパー）が多い。
- ・細かい連絡・連携がとりやすい。
- ・職員に対して相談しやすい。
- ・ケアマネジャーさんがとても頑張っていると思います。困難事例も早く対応してくれ、心強い。ヘルパーさんも毎日市民の為に頑張っておられると思う。
- ・よく気が付いて、細めな対応に助かっています。
- ・てきぱき動いてくださる（ヘルパー）。
- ・社協の方は話しやすく親切にしてくれる。

### 【改善してほしい点】

- ・訪問入浴では週1回の利用なので、週2回利用できるようにしてもらいたい。
- ・祝日、盆、年末年始等も可能な限り利用したい。
- ・訪問介護で登録の方とかおられるので、情報共有をお願いしたい。
- ・要支援の方の訪問介護について、祝日でお休みになった場合の振り替えをお願いしたい。
- ・訪問介護について、登録ヘルパーさんに伝えた事が事務所へ伝わっていないことがあります。
- ・2年ほど前から訪問入浴の新規の依頼を数回させていただきましたが、なかなかお願いできる枠がなく残念です。
- ・訪問入浴が使いたいが、予約が一杯と聞き、どうにかならないかと思います。
- ・訪問入浴のニーズがあるが、いっぱい定期利用が難しいこと。
- ・ケアマネジャーを通さず、直接家族に伝えられる事に対応して頂けるとありがたいです。皮膚トラブルがあって受診を行ったほうがよさそうな時、マスクや下着、衣類の準備や購入など。
- ・生活援助では、技量に差があると聞きます。
- ・連携を密にしてもらいたい。
- ・希望の曜日、時間帯への対応をしてほしい。
- ・時々掃除が雑なことがある。
- ・介護員不足で空きがない点。
- ・土曜日休み。
- ・特になし。
- ・特にないです。
- ・できれば、土・日・祝日休みなく対応してほしい。
- ・地域格差がある。
- ・掃除支援、足元の悪い独居、月に1回でもふき掃除をしてもらえないかと希望される人がある。
- ・名ばかりの事業が多いように思う。しくみや担い手がないのに、とりあえずしていますのような宣伝は不要。地域助けあい事業の利用の為に、担当者と時間をわざわざ作って面接しても、地域に支援者がいないからと後で断られた。社協費を未払いだったので、払ったうえで断られ、意味が分からなかった。
- ・介護員が働きやすくしてあげたら利用者にも良い影響があると思います。（十分な介護人員の確保など）。

#### 4 コロナ禍において、ご利用者に生じた新たな課題や生活面・精神面での変化を差し支えない範囲で教えてください。

- ・本人、家族とも新型コロナウイルス感染拡大予防のため往来を控えており、日常生活や受診等にも支障をきたしている。
- ・ニュース等の影響を過剰に反応され、サービスの利用を控える方がいる。
- ・独居・高齢者世帯で家族の帰省ができにくくなったため、買い物や受診介助などにも影響が出た。
- ・他県在住の家族が年末年始に帰省できず、利用者は不安になっておられる。
- ・介護サービスを利用することで在宅生活が維持できている利用者が多い中、流行地域からの家族の帰省の問題でサービスが入らなくなるのは大きいダメージです。
- ・市外の方との往来を制限されるため、独居の方など定期的に市外からご家族が援助に来て下さっていたのが出来なくなり、その分ご近所の方、ヘルパーさん、CMIに負担が増えたかと思えます。
- ・入院すると面会ができないので家族の不安が強い。退院前カンファレンスを行ってもらえないのでニーズがつかみにくく、サービス計画書作成に苦慮している。
- ・ご家族が真庭市外の方でも問題なく対応して頂いているので、特に課題等感じることはありません。
- ・御家族が流行地から帰省するなど、感染防止対策について、利用しているサービス事業所により対応もまちまちだったりするので連絡調整が負担に感じる。サービス利用を自粛された場合、代替サービスがないので、介護者に負担がかかる。
- ・思うように外出できない。
- ・いつ終息するか、いつまでこの生活が続くのかと不安。
- ・感染地域からの来訪を遠慮していただいていたので、いろいろな面でストレスがたまっていたと思う。
- ・入院した場合、家族とも会うことができず、様子も確認ができない。
- ・県外在住の家族の支援を受けられなくなってしまったが、連休や祝日にもヘルパーが訪問してくれてありがたく思っている。家族と会えず寂しい気持ちをヘルパーの訪問により癒してもらっている。
- ・時期、帰省による利用自粛で、帰省もなく落ち込んでいた方がいた。
- ・運動不足から転倒、骨折入院→重度化。
- ・経済的困窮　・精神(うつ、うつ状態)　・認知症等々重複問題→重度化。
- ・高齢者の集うイベントがなくなり外出の機会がない。笑ったり、動いたり、悩みを打ち明ける場面の消失。
- ・外出をする機会が減った。他人と会話することも無くなり元気がない。
- ・外出控え、自己自粛で、認知機能低下(物忘れ)、下肢筋力低下→転倒、骨折。
- ・機能低下、体力低下。
- ・県外から家族が帰省したら、しばらく利用できない時期があった時に、代替のサービスがない等、困りました。
- ・市外居住の家族支援が行いにくくなった。本人・支援者共に会えないことで不安が増す。
- ・家族(市外)の帰省ができなくなり(支援も減り)、本人の気力低下につながった。(介護保険の申請も増えたように思う)。
- ・遠くの家族より近くの知人や親せき、支援者という感じになり、地域力が問われたように感じました。
- ・家族の帰省ができなかったり、帰省することでサービス停止にならないかと控えたりで、家族関係が希薄になっていくのが心配。
- ・子供の帰省が少なくなり支援も減少、孤独感がある。趣味の会やイベントなどが中止になり出かける所がなく閉じこもり傾向。

5 真庭市社協が行っている地域福祉事業や活動を知っていますか。

1	地区社協	27
2	地域助けあい事業	30
3	ふれあい・いきいきサロン	31
4	福祉委員活動	20
5	ボランティアセンター	18
6	福祉車両貸出	38
7	福祉機器貸出	37
8	日常生活自立支援	33
9	法人後見	27
10	生活福祉資金貸付	14
11	福祉学習支援	5
12	福祉座談会	7
13	福祉巡回相談	8
14	配食サービス	17

6 地域福祉事業・活動で良いところ、気になるところ、また改善したほうが良いところを教えてください

- ・地域福祉事業・活動を色々しているが、地域住民には知らない事業が多いのではないかな。
- ・配食サービスのお弁当メニューの偏り。
- ・社協の活動内容を改めて教えていただきたい。(1,4,5,12,13)。
- ・周知が必要。
- ・介護サービスを利用していたら助けあい事業が利用できない等の縛りをなくしてほしい。  
個人情報に配慮しながら、見守りマップで把握していることを横のつながりで共有できれば、より強固な見守りになるのでは。
- ・ふれあいきいきサロンを楽しみにされている方が多いので、今後も継続と、地域差がなく市全体に増えてほしいと思う。
- ・特に思いつきません。
- ・昔からの事業の為、地域のことをよく理解しているし、地域の方も頼りにしている。もう少し情報を頂きたい。情報交換の場があればよい。
- ・日常生活に寄り添い、必要なサービスを安価で提供してもらえらる。
- ・どんなことをしているのか、事業・活動についてもう少しアピールしてもらいたい。
- ・よく知らない事業がある。制度や名称が変わり、理解できていない。
- ・人と人、世代間をつなぐことができるのは社協のサロン活動です。ますますの拡充をして欲しい。
- ・地域助けあい事業、制約があり使えなかった。ない所もあった。
- ・なし。
- ・特にないです。
- ・(7)福祉車両貸出し・台数が少ない。車いす対応車両のある支所に限られる。
- ・住民に対して広報活動ができています。
- ・北・南の事業所や、各支所で活動や事業内容に違いが多く、統一性がない。
- ・多くの事業があり何かしらにつながりやすいので、頼りにさせていただいています。

## 7 介護支援専門員の立場から、必要であると思う地域サービスを教えてください。

- ・介護用品支給事業で特殊寝台、3モーターが必要と思われる事があります。
- ・移送サービス。
- ・移送サービス、見守り支援、ゴミ出し。
- ・土・日・祝日・年末年始に利用できる訪問介護。
- ・介護保険のサービスで補えないこと、地域の実情に合ったゴミ出しの支援、病院受診時の付き添い。
- ・移動、買い物の支援。
- ・移送サービスを充実してもらいたい。運転手さんにヘルパーの資格を取ってもらうなど、利用者の支援ができるようになってもらいたい。  
災害時の避難プラン作成にも協力していただきたい。
- ・家から出られない方もいるので、自宅へ訪問してくれるサービスはどうか。10分でも話をしてもらったり聞いてもらえると、孤独や孤立感がなくなる。  
認知症の介護をしていて、一人にさせられないからと家で二人ずっと一緒にいるケースがあり、少しでも地域の方との交流や支援がないかと思いました。
- ・移乗動作など軽介助がしてもらえる移送サービス。
- ・地域で支援を要する方の見守り。
- ・必要に応じて適切な機関へつなぐことができるネットワークづくり。
- ・ゴミ出し、買い物、移手段、配食など生活課題に対応したサービス。
- ・(良かったこと)福祉車両(軽自動車)の貸し出し・・・御家族も軽自動車だと使いやすく、車いすでの外出が困る方によくご案内させていただきました。
- ・川上、八束、中和の配食サービスの提供曜日を一緒にして欲しい。・気軽に見守りなど頼める人が欲しい。(独居の方の見守りなど)
- ・見守りと移送(特に病院受診介助)。
- ・介護者が受診するなど数時間だけ家を空ける際に、一緒に留守番してもらえると助かります。(デイを利用していない方)。
- ・訪問介護の空きがない。
- ・移送サービスの充実。サロンをもっと増やしていただければと思います。
- ・シルバー人材センターの掃除・片付けや付添支援。
- ・訪問介護の利用希望が多い。
- ・独居高齢者、高齢者世帯への定期訪問。
- ・インフォーマルサービスを見つけるのに悩むことが多いので、ちょっとした手助けや話し相手など、有償でもよいので担い手が増えればありがたいです。
- ・ゴミ処理が適切にできない方への支援サービス(シルバー人材等) 可燃ゴミ、不用品等も処理していないとゴミ屋敷になってしまう。除雪支援サービス 通院や買物等の移動支援サービス。

■第4次地域福祉活動計画にかかるヒアリング ②

対象 5 回答 5

調査対象	地域助けあい事業利用登録者
------	---------------

問1 現在利用していない理由を教えてください。(複数回答可)

	項目	回答数
①	家族の協力がある(時々帰ってくる)	1
②	近所の手伝い・手助けがある	1
③	定期的に協力してくれる人がいる	1
④	現在自分でできるから	1
⑤	他のサービスを利用している	2
⑥	その他	3
	計	9

●『その他』の特記内容・

- ・福祉委員の協力あり。
- ・娘が定期的に支援してくれる。
- ・元気で自分でしている。

分析

有料サービスを利用していない理由には、第三者による支援のある方、将来を考え登録をしている方で、現在は日常生活が自立している状況にある事が分かった。

問2 その他で、サービス内容以外で解決してもらいたい困りごとがありますか？

(複数回答可)

	項目	回答数
①	定期訪問	0
②	ゴミの分別	0
③	ゴミ出し	0
④	買い物代行、同行	0
⑤	注文等のお手伝い	0
⑥	電球交換など	0
⑦	ある(具体的に)	0
⑧	ない	3
	計	3



問3 今後も登録しサービスを利用したいと思いませんか。

	項目	回答数
①	利用したい	0
②	利用しない	0
③	わからない	3
④	無回答	2
	計	5

問4 社会福祉協議会についてご意見をお聞かせください。

・記載なし。

考察

地域助けあい事業の登録者は市全体で5名。その内、実際に有料サービスを利用した事がある方は1名。まったく利用をしたことがない方は4名であった。利用した事のない方4名の内3名は、第3者の支援や親族支援がある為、助けあい事業の必要性が無い状況にあった。1名は日常生活は自立している状況であるが、独居者のため将来的に事業が必要な状況があるかもしれないという方であった。

助けあい会議を充実させ、ニーズ把握の強化や、福祉活動専門員による気になる世帯へのアウトリーチ活動を徹底し、ニーズ把握活動の充実を図る必要があると考える。

■第4次地域福祉活動計画にかかるヒアリング ②

対象 10

回答 10

調査対象	障がい者・児支援団体
------	------------

問1. 市内で開催される行事等に参加していますか。

1) 団体としていかがですか。

	項目	回答数
①	参加している	8
②	参加していない	2
	計	10

2) どのような行事に参加されていますか。

- ・行政行事（スポーツフェスティバル・福祉フェス）
- ・地域のイベント。
- ・可能な限り参加している。
- ・商品販売と事業所理解を目的に参加している。

問1分析

可能な限り参加している団体が殆どである。イベント参加は利用者に希望を確認し参加している。イベント参加目的は、作業所の商品販売や、作業所・障がいに関する理解を深める事を目的に参加する団体があった。

3) ご利用者の参加状況はいかがですか。

	項目	回答数
①	自発的に参加している	5
②	参加していない	3
③	無回答	2
	計	10

- ・個人参加状況はわからない。（1）
- ・近い所である場合は利用者自身で参加。遠方は職員同行で参加。
- ・日曜開催のイベントは、参加の希望を取っている。  
（日曜は家でゆっくりしたいといわれる利用者があるため）
- ・利用者の中には、アンテナを張っておる人がいる。
- ・イベントに行きたい利用者あり⇒体調に準じて参加
- ・原則作業所が休みの時は、自分で参加（送迎無）スポーツ大会などは送迎あり
- ・本人の意思確認し、参加して楽しむ、仕事として参加両方ある。

#### 問1分析

利用者個人がイベント参加する場合、作業所の送迎はなく各自で参加になるが、中には遠方のイベントへ参加する場合、職員が同行する団体もあった。自主的に参加していない方の理由として、作業所のない日はゆっくりと過ごしたいという傾向が見られた。

問1-2（参加されていない場合）参加していない理由を教えてください。

- ・コロナ禍であり大勢の場所に出ることをためらう。
- ・団体参加については、利用者にイベント内容伝え参加意向確認をとって参加している。個人参加については、作業所に月～金まで通い、土日はゆっくり過ごしたいという理由の方が大半。
- ・個別参加していない方は、保護者が土曜勤務の方が多い。ペリーで企画する行事を保護者の方は活用してくださっている。

#### 問1-2分析

作業所に通っている方は土日はゆっくりと過ごしたいという傾向が見られた。就学児童関係の方は、通いの場が企画する土日のイベントを活用することができ、個人的な参加は少ない傾向が見られた。

問1-3（参加されていない場合）どのような支援があれば参加できますか。

- ・平日は職員のみとなるため。
- ・本人の気持ちによる不参加が一番の理由だが、本人の行きたいイベントがあった場合、公共交通機関を利用しての参加になり、時間が合わなかったり不便さがある。

#### 問1-3分析

公共交通機関を利用して移動する方は、イベント開催時間に合わせて目的地へ行く場合、開催時間が合わない等、公共交通の利便性が悪い状況がある。事業所開設日のイベント参加については団体支援がしやすいが、中には平日の職員体制に課題があり、利用者の希望に対応できない団体もあった。

問2.必要な情報を得ることができていますか。また、どのような情報が欲しいと思いますか。

#### ●団体として

- ・北房内の他の団体から誘いあり
- ・会の中で情報あるどーなつの会、手をつなぐ親の会などに属しており情報あり。

- ・イベントについては、MIT、パンフレット等で情報を得ている。また、職員が情報を持ち寄っている。
- ・福祉課など関係機関からメールなどで情報ある（現在の情報は充実している）
- ・自立支援協議会、福祉課、岡山県の団体組織に加盟しておりそこから必要な情報を得ることが出来ている。就労支援事業所であるので、就労や仕事に関する情報。
- ・インターネット活用。地域との関りを少しずつ広げ事業協力者の確保や情報の確保をしている。

#### 問2分析

団体運営等に関する情報は行政・自立支援協議会・県組織等から情報提供がある他、団体所属する上部組織に必要な情報に関する問合せができる関係が構築されている。その他、インターネットを活用する他、活動を通じて広がった人材から情報を得ている団体もあった。

- ご利用者はどのように情報を得ていると思いますか。
  - ・ほたるっこさんから、ダムで開催のマルシェなど情報いただいた
  - ・在学中は学校から連絡帳等使用し状況がわかりやすいが、卒業すると情報が入らない。スポーツ大会等入りづらい。
  - ・職員から
  - ・広報誌など早い情報収集している友人と情報交換、スマホなど活用の方もいる
  - ・スマホで入手している。本人と関係のよい人（近所の支援者・親族・支援センターの相談員等）
  - ・インターネット、保護者同士

#### 問2分析

本人に関心のある事は、主にインターネット活用、関りのある職員や関係性の良い方との情報交換で必要な情報を得ていた。就学中の子どもを抱える保護者は学校からの情報が中心であり、卒業後に入ってくる情報が極端に減り不安を抱える方がおられる事が分かった。

- ご利用者が特技や趣味等を披露する場があったらよいと思いますか。それはどのような場ですか。
  - ・会のクリスマス会などでは披露している。
  - ・大勢の場ではむずかしい。
  - ・理解していない方に見てもらおうと、本人たちがさらし者になり、つらい。
  - ・一つでも本人ができたこと等上達したことをほめてくれる人ならうれしい。
  - ・皆で笑顔で見守り、障がいを理解している人がいれらうれしい。
  - ・以前年1回の福祉フェスティバルに出店したことがある。
  - ・現在特技を持っている利用者はいないが、福祉フェスティバル等タイミングが会えば利用したい。
  - ・作業所での手芸など趣味バザー・スポーツ・音楽など

- ・利用者が高齢化してきているが、若い世代はデジタルを活用している。アート作品もデジタルになっている。デジタルを活用した物を検討したい。デジタルを活用してひきこもりの方とのつながりが持てる取り組みができないかと思う。
- ・子どもの特性がある為、大きな場ではなく子どもの成功体験が得られる場

#### 問2分析

障がいに関する理解が広く地域に得られていないと感じている状況がうかがえ、その状況で地域住民を巻き込んだ場での発表には抵抗がある団体があった。また、行政が企画するイベントはコロナの為に中止をされているが、多くの事業所で活用されている事が分かった。

問3.ご利用者は普段の生活の中で困ったり不安になることがありますか。ある場合はどのようなことですか。

- ・近所の方（住民）よくして下さる。
- ・振興局も近いので困ったりした場合は相談に行っている。
- ・理解をしてほしい。
- ・在学中は不安なことはなかったが、社会人になってでは違う、不安が大きい。
- ・どーなつの会では理解下さる方がいることで、安心。つながることが大事。若い人の加入がない。
- ・子供を預かってくれるところがあれば外出ができるのだが、制度の壁がある。
- ・また環境が変わるとなじめず、パニックを起こす恐れがある。
- ・今までにも趣味の会等チャレンジしてみたが無理であった。親の同行が必須。
- ・親が今後高齢になり、生活面など心配である。
- ・子供の介護、介助しながらここまで来たので、年金もなく不安が大きい。さらに親の介護も身近に迫ってきたので、より一層不安。
- ・施設や作業所からは、何か問題を起こしたらやめてもらうなどの制約があり、心配と不安の連続。
- ・コロナが一番心配。発達障害を持っている方は、「計画通り物事が進まない」「今まで通りにできない」（イベントや外出等）と特に憂鬱になる。
- ・余暇活動として、外出する際、公共交通機関（まにわくん）の便が少ないこと
- ・（グループホームの入所者）今後のことについて（支援の事など）
- ・B型事業所となり、賃金について、年齢等まちまちだが、意思がはっきりしている
- ・本人は、家族関係や仲間関係などの人間関係

### 問3分析

家族、仲間など人間関係や外出する際の公共交通機関の便が少ないという困りごとの意見があった。その他、発達障害を持つ方はコロナウイルスの影響で計画通りに物事が進まず今まで通りにできない事で憂鬱になられるという意見があった。

保護者からは、在学中は障がい理解のある状況下で不安は無かったが、卒業後子どもが社会人になると環境が変わり不安も大きい状況がある他、子どもの介護で就労できず年金生活のため、自分自身の生活不安や親亡き後の心配があった。

問4 ご利用者は不安や心配な時、誰に相談していると思いますか。

- ・ 支援センターや相談員、保健師に相談しているが、相談支援員の数が不足していると感じる。マンパワー不足だと思う。入所先やワークの方と直接話をすることはない。だから様子がわからない。詳しく聴こうと思っても、反対に子供に何かされたらと思うと、本音が言えない。
- ・ 担当課へ相談するが、担当が変わり1から説明となり疲れる。
- ・ 職員
- ・ 保健師
- ・ 本人と関係性の良い方
- ・ ピタゴラスグループ内で24時間の相談窓口を設け、電話やメール対応をしている。ピタゴラス内の専門職スタッフが相談対応。

### 問4分析

関係の良い方、保健師や事業所の職員に相談をする状況がある反面、相談支援員不足や入所先、事業所に直接本音が言えない状況もある事が分かった。事業所中には24時間の相談窓口として、電話やメール対応を実施している事業所があった。

問5 最後に、どのようなサービスや支援があればよいと思いますか。

- ご利用者から生活の困りごとの相談を受けることがありますか。

	項目	回答数
①	ある	10
②	ない	0
		10

- 「ある」と回答された団体に伺います。どのような相談内容ですか。当てはまるものにすべて☑してください。（複数回答可）

	項目	回答数
①	医療	3
②	福祉サービス	3
③	金銭	4
④	教育	3
⑤	その他	8
	計	21

### 問5分析

生活の困りごとについては、関係の良い方、保健師や事業所の職員に相談をする状況がある反面、相談支援員不足や入所先、事業所に直接本音が言えない状況もある事が分かった。事業所の中には24時間の相談窓口として、電話やメール対応を実施している所があった。

- 「ない」と回答された団体に伺います。利用者が心配ごと等の相談先を把握している場合はお教えてください。

	項目	回答数
①	保健師	0
②	民生委員	0
③	同じ利用者の保護者	0
④	地域生活支援センター	0
⑤	病院の相談員	0
⑥	その他	0
	計	0

- 貴団体が活動するうえで必要な支援がありますか。

	項目	回答数
①	ある	9
②	ない	0
		9

- 「ある」場合は具体的にどこからどんな支援があれば良いですか。
  - ・自分たちで送迎をしている
  - ・相談など保健師が対応下さる
  - ・地域の中で子供が大きく育つ環境必要
  - ・土・日は休み
  - ・施設に入ってから、食事など規則的になったのか、肥満が解消した。
  - ・NPOこうけんがあるがこれ以上件数は増やせない
  - ・日援事業、後見事業
  - ・地域には、この事業を必要としている人がおられるので、よろしく願いしたい。
  - ・利用者が参加できるイベント
  - ・休日の余暇活動につながる〇〇教室のようなもの（日曜の昼間参加しやすい場所で）
  - ・専門の相談員ほしい
  - ・支援センター
  - ・機関相談支援センター
  - ・気軽に話したい
  - ・地元のらくらく祭など
  - ・スタッフの確保、資金
  - ・子ども達の特性を地域に理解してもらうため、地域イベントに参加をしている。事業所と連携をして関わられるイベントや団体の情報が欲しい。

#### 問5分析

生活の困りごとについては、関係の良い方、保健師や事業所の職員に相談をする状況がある反面、相談支援員不足や入所先、事業所に気軽に相談をしにくい状況もある事が分かった。障がいを持つ子供が地域の中で育つ環境を求める意見があった。その他、社協が実施している日常生活自立支援事業、法人後見事業を必要としているという意見があった。

- 「ない」場合はその理由をお聞かせください。

・ 回答なし

#### 考察

所属団体を通じてイベント参加できる環境にあるが、公共交通機関を利用して個人参加する場合は、イベント開催時間に目的地に行くまでに調整が難しい状況にあり、社会参加活動の場を求める声がある。

当事者の方は関係の良い方に相談を行っている状況であるが、家族（保護者等）は地域の障がい理解の不足、親亡き後の生活や子どもの介護により就労がままならなかった為、年金が少なく現状の生活に大きな不安を抱えている方があった。気軽に安心して相談できる場、専門職による相談窓口が求められている。地域の障がい理解を深め、子どもが地域の中で育つ環境の必要性、障がいのある方や家族が安心して充実した地域生活を送るための取り組みが必要である。



■第4次地域福祉活動計画にかかるヒアリング ㊸

貸出業務に対する社協各支所専門員への聞き取り

対象 9 回答 9

北房	ベッドや車いすなど手入れをして返してくれる人は少ない。車いすやベッドについて専門的知識があるわけではないので、貸し出していい状況の物が判断がつかず不安な面がある。
落合	急な貸出依頼などで業務が止まることがある。事業所を通じて連絡が入ることも多く、調整が煩雑。貸し出していいものか状態が判断できない。
久世	急な貸し出しの際には負担感を感じる。様子がまだ分からない。
勝山	ベッドの貸し出し倉庫と支所が離れており、貸出にも掃除にも手間がかかる。また、重たい為一人でなかなか対応ができない。他支所（久世）のベッドも置いており、掃除や返却時の対応が必要。本当に貸し出しができるものであるのかわからないまま置いているものも多いが、要綱に記載されている為、専門員会議等で内容を精査してほしい（移動用バー、ナーセントパット、歩行器など）。電動ベッドなど、専門業者に状態を見てもらいたい。
美甘	貸し出し件数が多くない為、業務的負担感はあまりない。 （車イスの空気入れくらい）
湯原	貸出前か返却時に物品清掃。日常的な整備もある。「寄贈などの物品を低廉で貸し出し」、そこを加味して借りてもらっていると思っている。他市町村でも実施している事業であるので、今後も継続が望ましいと思う。長期貸し出しとなっている方が多く、貸出対象として適切か状況確認ができていないように思われる。
中和	定期的に整備、清掃している為業務的負担感は多くない。清掃をして返却があることはあまりない。
八束	掃除をして返却のあるものはほとんどない。掃除は負担。現在八束に在庫が無い為、貸出対応は湯原支所に依頼（湯原が負担となっているかもしれない）。貸出機器を専門業者に確認してもらった方が安心。
川上	保管スペースがあまりなく、希望者に湯原支所へ行ってもらっている。車いすやポータブルトイレなど処分が必要なものも置いてある。掃除はするが、元々が手入れのいきとどいていないものではない。業者に確認してもらいたい希望はある。
その他	清掃や整備で時間がかかる事はあるが、貸し出しの実績が少ない。長期貸し出しとなっている方も多く、状況把握ができていないように思われる。丁寧に状況把握をするようになればその業務に手が回ることも予想される。今後については、ベッドなどを更新・購入するのではなく、市内の社協保有分を把握し、分配していくことになるのではないかと。

【分析・考察】

ほとんどの支所がベッドや車いす等の貸出物品の整備、掃除に負担感を抱えていると回答している。状態が貸出可能かわからないとの声もあり、定期的な業者のメンテナンスが必要であると考えられる。また、専門員会議等で貸出物品を精査し、整理する必要があると感じる。状態が悪いものは処分し、助成等活用し、各支所更新していく必要がある。長期貸出で、状況把握ができていないものは連絡・アウトリーチ等で確認していく必要がある。

## 第4次地域福祉活動計画策定にかかるヒアリング ②

### 困窮世帯に関する聞き取り（真庭市福祉課）

【問1】過去3年間の家計相談・総合相談の「契約件数」、「相談件数」を教えてください。

【家計相談】

相談件数（R2年度 0件・R1（H31）年度 0件・H30年度 0件）  
契約件数（R2年度 9件・R1（H31）年度 5件・H30年度 0件）

【総合相談】

相談件数（R2年度 111件・R1（H31）年度 79件・H30年度 53件）  
契約件数（R2年度 49件・R1（H31）年度 7件・H30年度 6件）

【問2】問1の契約の件数の内訳を教えてください。

- 単身高齢者世帯（4件）    高齢者夫婦世帯（1件）  
高齢者以外の夫婦世帯（1件）  
母子世帯（1件）        父子世帯（0件）        障がい者世帯（1件）  
単身男性世帯（高齢以外）（7件）    単身女性世帯（高齢以外）（4件）  
夫婦と子の世帯（13件）    三世帯同居世帯（3件）    その他（12件）

【問3】上記世帯の生活が困窮した背景として、該当するものを全て選んでください。

- 一時的に出費が重なった    ■失業した    病気になった  
ギャンブル    離婚した    ■お金のやりくりができない  
相談するところがない    就職するための資格・学歴がない  
■その他（外国籍、障がい疑い、債務、就職定着困難）

【問4】生活困窮者世帯について、関わりや支援を進める際に、他の機関等と連携（相談、つなぎを含む）することがありますか。

行政の保健担当、保護担当、真庭地域生活支援センター、保健所、発達障害者支援センター、病院、社協

グレーゾーンの方、困窮している為、お金が稼げるか。現在、一般就労が難しい。現在一般就労か作業所しかなく、地域の方と関われる中間の就労がない。ジョブコーチの利用も必要。

【問5】生活困窮者世帯から受けた相談にはどのようなものがありますか（複数回答可）。

- 生活費がない    ■健康・病気のこと    ■精神的不安  
■近所との人間関係    ■家族不和について    ■仕事が見つからない  
■介護について    ■借金や負債について    ■ひきこもりについて  
■障がいについて    虐待について    ■その他（外国籍）

【問6】生活困窮者世帯の関わりや支援をおこなう中で、生活再建したケースはどのようなものがありますか。

- ・就職が決定し、収入増加
- ・障害者手帳を取得し、作業所へ通所開始

【問7】生活困窮者世帯の関わりや支援をおこなう中で、貴職、貴団体・貴機関が困っていることや課題はありますか。

■ある                      □ない



・就労経験が少ない相談者が多い為、本人の苦手な事を理解してくれる就労先へつなぎたいが、そのようなところが少ない。

【問8】真庭市内の生活困窮者世帯に必要と思われる支援として、該当するものを全て選んでください。

- 資金の貸付                      ■食品の提供                      □子どもの学習支援
- 短期の宿泊施設                      □就労支援・就労体験の場                      □生活用品の提供
- 炊き出し・子ども食堂                      □子供の学校生活用品の提供（制服など）
- その他（                      ）

※食品の提供が必要な方について、各地域で受け取ることができるスポットを置くなど、身近な場所で迅速に対応できる体制づくりが必要。

生活困窮者支援についてご意見等ございましたらご記入ください。

真庭市社会福祉協議会の緊急小口資金について、最低限の貸付額+ $\alpha$ （生活費）があるとありがたい。

#### 【考察】

新型コロナウイルス感染症の影響により相談・契約件数が増加しているが、その他の要因として8050、9060など、就労せず親の年金で生活しているような課題を抱えた世帯も見受けられる。就労支援によるアプローチを試みるも、無職や就労経験の少ない人が多く、なかなか就職には結びつかない現状である。

生活困窮の原因としては、元々貧困に近い人やグレーゾーンの対象者が多く、立て直しができないケース、債務整理が必要なケースなどが挙げられる。コロナの影響による生活福祉資金の特例貸付に該当しない生活困窮者の中には、緊急的な支援を必要とするケースもあることから、自立相談支援機関との連携を強化しながら、真庭市社協の緊急小口資金などを活用した迅速な対応が必要である。また、食品の提供等が必要なケースについては、各支所にフードバンクの窓口を設置するなど、対象者がより身近な場所で継続的な支援を受けられる体制づくりが必要である。

## 第4次地域福祉活動計画策定にかかるヒアリング ②⑤

対象 8 回答 8

調査対象

子育て支援ボランティア

- 1、活動をしていくうえで(会を運営していくうえで)、課題や困っていることはどのようなことがありますか。
- ・ コロナ禍での開館について、他の子育て支援団体がどのような対応をされているのか気になりながら、感染予防に努めながら運営している。  
コロナ禍でも開館していると来館者が喜ばれている。集いの場の必要性を改めて感じた。
  - ・ コロナにより参加者が減少。2～3歳の時期に多くの人とふれあうことが成長にとって大切だが、交流が難しくなっている。
  - ・ スタッフがいない。
  - ・ 子育ての為の拠点が少ない。
  - ・ 子育てについて無関心すぎる。子育て世代が少ないため、少数で声をあげても具体的な支援に繋がらない。声が反映されない。
  - ・ 子育てしにくい地域になっている。
  - ・ 資金や人材の不足
  - ・ 相談があった場合、地域資源や社会資源が分からない
  - ・ 常設して活動できる場がない
  - ・ 利用者の減少
  - ・ ゆっくり子育てを楽しむ親子が減っているように感じる。保育園に入園するという選択肢、入園せず自分で育てたいという選択肢、色々選べるという事を伝えたい。その為にも子育て支援拠点が必要。
  - ・ 1歳未満児の託児を希望されることが多いが、自分の団体では対応していない。他団体を紹介するが、自分の団体で対応できない事に葛藤がある

### 問1 分析

支援者は、コロナ禍で感染予防に配慮した集いの運営方法への悩みや参加者の減少、交流の難しさを抱えている。  
また、スタッフ不足やスタッフの高齢化、イベント行事開催時の資金(食材費)不足の課題がある。  
子育ての為の拠点が少なく、拠点施設がない地域がある。

2、活動するうえでの課題を解決する工夫をしている点を教えてください。

- ・ 他団体の案内チラシを参考にしたり、来館者から情報を得てイベント企画をすることもある。
- ・ 愛育委員(託児)や栄養委員(おやつ作り)の協力を得ている。
- ・ 子育て世帯へ情報が届くよう案内チラシを久世地域内に回覧している。
- ・ 子育てに関する相談については、健康推進課や保健師につないでいる。
- ・ 子育てをしている間の親子の居場所になるよう、親子への関わりに配慮している。
- ・ 自分のできる範囲で活動している。
- ・ 子育てしやすい地域づくりは、真庭市が行うべきこと。
- ・ スタッフが未就園児の保護者に声掛けをするが、その情報が得られにくい
- ・ 参加するお母さんたちがスタッフになり、運営を行っている
- ・ 資金は社協の補助金を利用し、最小限のもののみ購入している
- ・ 利用者と仲良くする事で、親同士の情報交換の中で誘ってもらう
- ・ 子育て支援課、健康推進課、保健師に相談する
- ・ 親子の話を聞いて、お母さんが希望する生き方の応援ができる様工夫している

#### 問2 分析

団体間の情報交換や他団体のチラシを参考にし、市役所に相談するなどし、活動上の課題を解決している。

スタッフ不足や情報発信・提供に関しては、子育て当事者がスタッフになり活動の提案や参加呼びかけている団体があった。また、愛育委員、栄養委員など地域の協力を得て活動している団体もある一方で地域の協力が得られず支援を求めている団体もあった。

団体は、子育て世帯への声かけや案内チラシ作成などにより、情報発信・提供の工夫をしているが、より一層のPRの必要性を感じている。

3、子育て支援者からみて、子育て中の親子が抱える困りごととはどのようなことがありますか。

- ・ 他市から転居された方から小学校下校時の見守り隊(自宅まで)など、他市にあったサービスが真庭にもあるのか相談がある。
- ・ 保育園への入園(1歳児)待機の為、職場復帰ができない。
- ・ 4月からの職場復帰で、保育園のならば保育も4月からである為、核家族やサポート体制がないと困る。放課後児童クラブは、定員があり同居世帯は預けられないこともある。
- ・ 仕事を持つ世帯へのサポート体制が必要。
- ・ つどいの場に出て来られる方は、子育てに積極的な方が多い。ここまで来ていただけるような工夫が必要と思っている。

- ・ 母親が病気になってしまった時に家事等（特に食事の確保）に困る人が多いのではないかと。家事支援や配食サービスがあったら良いと思う。
- ・ 少しでいいから子どもと離れる時間が必要
- ・ 大人とコミュニケーションをとる事が必要。少なくなると孤立感を感じる
- ・ 動きの活発な年齢になると、広いスペースが必要になる
- ・ 何でも相談できるような友達作りができ、心が楽になってくれれば良い
- ・ 遊びの場として公園や児童館が欲しい
- ・ 第一子の子育て中だと相談する人が周りにいない

### 問3 分析

保育園入園待機の解消や放課後児童クラブ利用希望者の利用、一時預かり（一歳未満）など、子育て世帯へのサポート体制充実が必要とされている。母親の病気中の家事支援や配食サービスの希望がある。

- 4、他団体との交流や情報交換、研修などの必要性について、ご意見をお聞かせください。
- ・ 多団体との交流や情報交換会に参加すると活動に広がりが出る為、あった方が良い。
  - ・ 市の子育て支援課が招集した会の情報交換がきっかけとなり、中和つどいの広場で体操の講師を務めた。
  - ・ 研修の機会はあまりなく、コロナ禍で特に少ない為、実践に役立つ研修（レクリエーションのスキルアップや活動実践報告など）が良い。
  - ・ 自分はいくまでもボランティアであり、活動可能な時間も限られている。研修等があっても参加出来ない。
  - ・ 他団体と交流や情報交換する事で、参考になる事を得ることができる
  - ・ 自己肯定感や非認知能力などの勉強、子育て中の親に伝えたいことが共有できればいい
  - ・ 運営していくうえでのアイデアをいただける
  - ・ 子育て専門の資格が取れる研修があれば参加したいが県南での開催では参加しにくい
  - ・ 子育て支援団体情報交換会の開催地を各拠点でして欲しい

### 問4 分析

他団体との交流や情報交換会により団体間の繋がり、活動内容に活かすことができ情報交換会や実践に役立ちスキルアップできる研修が必要とされている。

5、安心して子育てできる地域づくりのために、どのような支援が必要と思われますか。

- ・ 親子で何回も来館されるうちに距離が近づいて子育ての悩みなども聞けるようになる。
- ・ 子育ての悩みを自分から話しても良い、相談しても良い思える環境づくり
- ・ 来館者は、遠くから嫁いでこられたお母さんが多い。情報を届ける事が必要。
- ・ サロンでは親子が楽しいと思える事をやっていきたい。
- ・ 子育てをしていく中で、集いの場で知り合いができ、楽しく子育てができることを広めたい。
- ・ 退職した60歳代くらいの方に協力して欲しい。特別なことではなく、本の読み聞かせなど、子育てを経験している方は多くおられるはず。
- ・ 子育てに無関心な人が多いが、協力してもらえるようになって欲しい。
- ・ 若い母親も関わってはいけないと距離をとるようになってしまう。
- ・ 子育て支援拠点は子育て世代だけが集う場所ではなく、幼児から高齢者まで地域のつどいの場にする必要があると思うので作っていきたいと思う
- ・ 人材と資金、活動の場が必要
- ・ 一時預かりなど困った時の対応
- ・ 保健師との連携、情報の共有
- ・ 子育て世帯を孤立させない。Iターンや高齢者との交流がない世帯は子育てが困難で早く縁に預けるようになる。集いの場がお子さんとの時間、自分の時間を楽しいと思ってもらえる空間をつくる。

#### 問5 分析

地域住民が子育て支援に関心を持ち、あらゆる世代が交流でき、子育て世帯が楽しく子育てができる地域づくりの為の支援が求められている。

6、社協へ求める支援を教えてください。

- ・ サロンでは、来館者是对応できるが、出向くことは出来ない為、社協に地域の中で「楽しく子育てできる場がある」と知らせてもらい、居場所に繋がるきっかけ作り、一歩踏み出せるように繋いで欲しい。
- ・ イベント開催の回数を増やして欲しい。  
サロンの助成金で講師を呼ぶことが出来るのは年3回までだが、回数を増やして欲しい。他団体は保育士OBなどがスタッフをされているが、自分はそういった経験はない。月1回くらいは外部の方に来てもらいたい。
- ・ アウトリーチ時やデイ利用者等へ子育て世帯へのつどいの広場の周知をしてもらいたい
- ・ 社協ができるサポートの周知。こちらから聞かないと分からない
- ・ 助成金の食費に関する制限を緩くして欲しい
- ・ 子育て経験がある人やイベントをしてくれる人材
- ・ クリスマスプレゼントや食費への支援
- ・ 子育てをしている親や子供に対する支援

その他

- ・ 長期休暇中、小学生は午後1時以降に来館可としている。この夏は、コロナでプールも無かったことから、小学生の過ごし方はどうなのか気になった。

問6 分析

子育て世代に社協活動や社協が子育て支援をしていることが周知されていない。  
社協の団体への関わりや活動資金（食材費や講師謝金）の支援充実を求めている団体がある。  
地域へのつどいの場の周知、子育て世帯へアウトリーチ活動などによる情報発信・提供を望まれている。



## 考察

つどいの場の担い手不足の課題や情報発信方法について、子育て当事者の協力を得て共に各団体で創意工夫して活動していることが読み取れる。

また、市内の活動団体間の情報交換会や交流は、団体間の繋がり作り、活動のアイデアを得るなど、相互に活動の活性化に役立っており、必要とされていることが考察できる。

地域住民の子育て支援への関心が希薄であるとの結果については、地域住民へ子育て支援に理解と関心を促す働きかけ、交流できる機会づくりや支援の呼びかけの機会が少なく、不足していることが一要因であると考察できる。

社協が地区社協やふれあいいいききサロン活動など、身近な場所で推進している福祉活動と子育て支援活動を結びつけ、子育て世帯や市民へ支援活動の情報を発信し、参加や支援を呼び掛けることや地域ぐるみで子育てを応援する必要性について周知することが、子育てしやすい地域づくり、子育て世代が社協活動を知ることにも繋がると考察できる。

一時預かり（1歳未満児）や配食サービスの希望については、現状とニーズ把握ができていない為、調査が必要と考える。